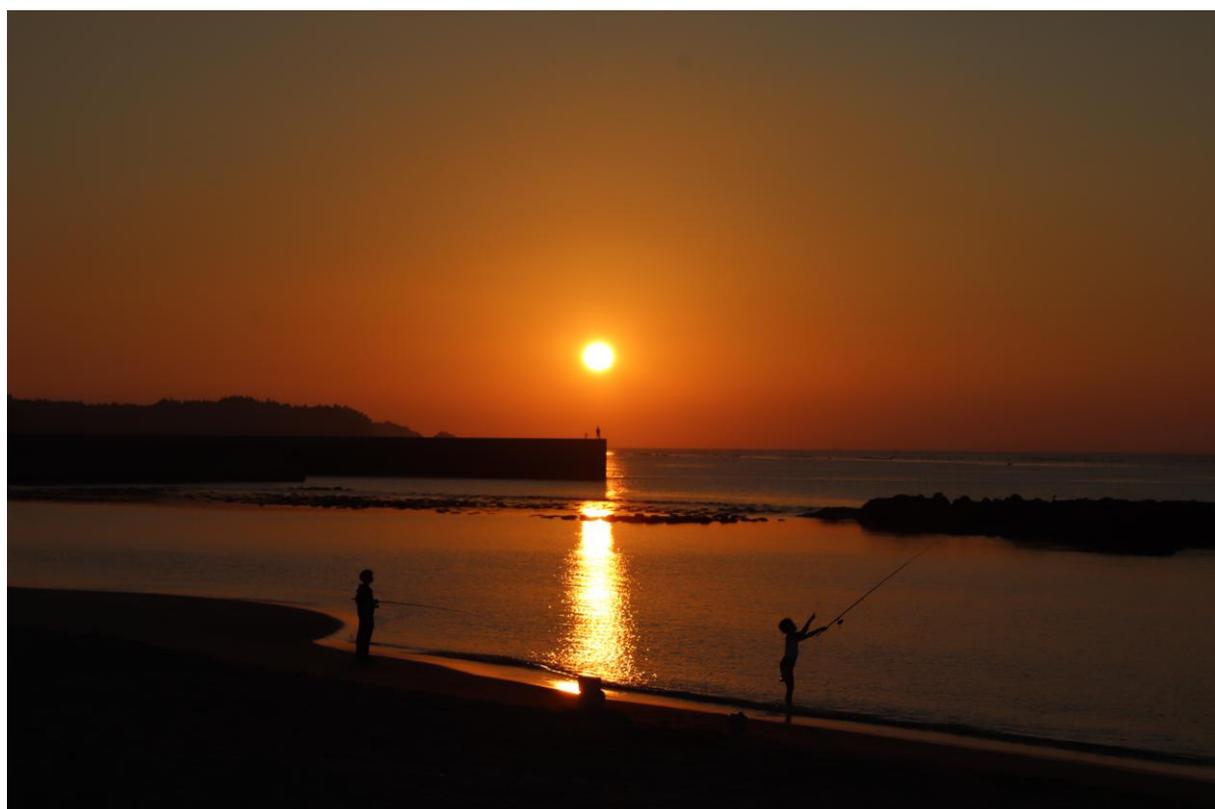


# 消 防 年 報

令 和 6 年 版



第9回気仙沼・南三陸フォトコンテスト 「海辺の夜明け」 首藤久義氏

気仙沼・本吉地域広域行政事務組合消防本部  
(令和7年刊行)

# は し が き

この消防年報は、気仙沼・本吉地域広域行政事務組合の消防事情を広く紹介するとともに、消防行政の資料として活用するために当組合の現勢並びに令和6年中の消防業務の実態を収録したものです。

本書により消防の実態をご理解いただき、より一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

令和7年8月

気仙沼・本吉地域広域行政事務組合消防本部

# 目 次

沿 革	1
圏域管内図，位置及び管内情勢	15
組合組織図	16
庁舎，待機宿舎の位置	17
総 務	
予 算	
令和7年度当初歳入歳出予算	18・19
令和7年度（当初）組合消防費にかかる性質別歳出の財源内訳	20
令和7年度（当初）構成市町の一般会計と消防予算	20
令和6年度（決算）構成市町負担金負担割合	20
決 算	
令和6年度歳入歳出決算	21・22
職 員	
配 置 状 況	23
階級別勤続年数	24
階級別年齢	25
年齢構成図	26
学校等教育状況	27
資格取得状況	28
予 防	
防 火 対 象 物	
消防法第17条対象物数	29
用途別消防用設備等の設置状況	30
用途別予防査察状況	31
用途別中高層建築物の現況	32
防火管理者を要する対象物	33
建 築 同 意 事 務	34
危 険 物	
危 険 物 施 設	35
危険物施設の予防査察実施状況	36
危険物事務処理件数	37
民間防火組織	
危険物安全協会結成状況	38
女性防火クラブ結成状況	38

防火管理者協会結成状況	38
幼年消防クラブ結成状況	39
少年消防クラブ結成状況	39

## 警 防

### 消 防 車 両

消防車両等の配置状況	40
消防車両等の配置現況	41
消防力の整備指針と現有	
消防本部・署所の人員	42
署所及び動力消防ポンプの基準と現有	43

### 消 防 水 利

管内水利状況	44
--------	----

## 通 信

通信施設の現況	45
119番受信件数	46・47
通信系統図	48

## 気 象

気象統計	49
気象情報等受信件数	50

## 管内消防団

組織機構図	51・52
組 織	53
階級別消防団員数	53
年齢別消防団員数	53
在職年数別消防団員数	54
消防団員報酬	54
消防施設の現況	54

## 火災・救急・救助統計

### 火 災 統 計

火災件数及び損害額の推移	55
火災発生状況（署所別）	56・57
〃    （覚知別）	57
〃    （月 別）	58・59
月別火災発生状況	60
曜日別火災発生状況	61

時間別火災発生状況	61
原因別火災発生状況・損害額	62
建物用途別火災発生状況（火元）	63

#### 救 急 統 計

救急概況	64
事故種別活動状況	65
署所別事故別活動状況	66
署所別救急活動状況	67
月別出動件数	68
時間別出動件数	69
曜日別搬送人員	70
年齢区分・傷病程度別搬送人員	71
年齢区分別搬送人員	72
医療機関別搬送人員	73
覚知別出動状況，不搬送理由，診療科目別搬送状況，その他の統計	74
救急活動の推移	75

#### 救 助 統 計

事故種別救助活動状況	76
救助活動の推移	77

#### 防災センター

防災センターの概要	78
月別・地域別利用状況	79
月別・曜日別利用状況	80
利用者別状況	81
主な備蓄品	81

# 沿 革

昭和46年 7月21日	宮城県知事から広域市町村圏の指定受ける。
8月 2日	気仙沼・本吉地域広域行政事務組合設立。
昭和47年 4月 1日	気仙沼・本吉地域広域行政事務組合消防本部発足。
”	初代消防長に加藤留七就任。
”	広域消防職員として前気仙沼市消防本部職員 55 人任用，18 人新規採用。(消防職員定数 155 人)
4月10日	宮城県より危険物規制事務を引き継ぐ。
4月15日	消防常備化市町村の指定(郡内5町)を受ける。
8月 4日	消防職員 16 人採用。
12月 1日	広域消防の業務開始。(1本部，2消防署，1分署，4出張所)
12月 4日	消防職員 15 人採用。
12月20日	志津川消防署庁舎落成。
12月25日	志津川消防署津山出張所庁舎落成。
昭和48年 1月 7日	気仙沼消防署本吉分署庁舎落成。
1月18日	志津川消防署歌津出張所庁舎落成。
1月24日	広域消防間の相互応援協定締結。(石巻，塩釜，登米，大崎の各広域消防本部)
1月25日	気仙沼消防署唐桑出張所庁舎落成。
1月30日	管内各消防無線固定局開局。
1月31日	広域消防開庁祝賀会開催。
3月15日	気仙沼消防署に救急自動車配置。
3月23日	広域消防間の相互応援協定締結。(岩手県両磐地区，陸前高田市の各消防本部)
3月25日	(財)日本自動車工業会から救急自動車の寄贈を受け，気仙沼消防署に配置。
4月 2日	消防職員 21 人採用。
4月24日	気仙沼本吉地区危険物安全協会結成。
6月20日	救急業務市町村の指定(郡内5町)を受ける。
7月19日	干害対策本部設置。
8月 2日	消防職員 14 人採用。
8月23日	志津川消防署に消防ポンプ自動車配置。
10月 1日	気仙沼海上保安署と業務協定締結。
昭和49年 3月 2日	消防職員(船舶職員) 3 人採用。
3月31日	気仙沼消防署「望楼」勤務を廃止。(昭和12年建設，昭和60年撤去)
4月 4日	消防職員 10 人採用。
4月16日	気仙沼消防署臨港出張所落成。
”	消防艇「あさぎり」配置。
7月30日	第1回消防職員技術大会実施。(以後毎年実施)
12月 5日	志津川町防火管理者協会結成。
昭和50年 3月14日	気仙沼市で市民消防学校を開催。

昭和50年 6月 2日	消防職員 1 人採用。
6月10日	昭和 50 年度宮城県総合防災訓練を気仙沼市 内の脇地区において実施。
7月 1日	消防職員 1 人採用。
9月11日	(財)日本損害保険協会から消防ポンプ自動車の寄贈を受け、気仙沼消防署に配置。
10月 1日	第 2 代消防長に村上栄就任。
11月13日	「第 8 なか丸」歌津沖で転覆事故。気仙沼港に曳航、人命捜索救助活動を実施。
昭和51年 3月23日	志津川町で町民消防学校を開催。
6月 8日	消防本部庁舎増築落成。
8月20日	本吉町防火管理者協会結成。
12月 2日	気仙沼市大島地区に駐在員 2 人派遣。
12月10日	本吉町で町民消防学校を開催。
12月18日	唐桑町で町民消防学校を開催。
昭和52年 2月 1日	消防音楽隊結成。(隊員 25 人)
3月11日	歌津町で町民消防学校を開催。
3月19日	津山町で町民消防学校を開催。
3月30日	気仙沼信用金庫から救助工作車の寄贈を受け、気仙沼消防署に配置。
4月11日	津山町防火管理者協会結成。
10月28日	気仙沼消防署、志津川消防署に作業車更新配置。
11月 2日	気仙沼消防署に指令車更新配置。
11月12日	唐桑町防火管理者協会結成。
11月19日	気仙沼市大島地区で市民消防学校を開催。
昭和53年 4月 1日	消防職員 3 人採用。
4月 3日	消防本部、志津川消防署の消防救急通信指令装置が完成。
6月12日	宮城県沖地震。
7月27日	第 7 回全国消防救助技術大会(千葉市)に、水中検索の部で高崎秀敏消防士出場。
12月 1日	広域行政事務組合が理事制に移行。
昭和54年 3月20日	本吉町で同時大規模林野火災発生。(12ha・5 ha) 管内消防団、登米広域消防本部及び両磐広域消防本部の応援を受ける。
4月 6日	気仙沼消防署大島出張所庁舎落成。
4月20日	消防本部に指令車更新配置。
4月26日	昭和 54 年度宮城県林野火災防ぎょ訓練を歌津町田東山において実施。
6月16日	唐桑町で少年消防クラブ結成。
12月13日	気仙沼・本吉地域広域行政事務組合職員互助会発足。
12月25日	(有)気仙沼モーターズから人員搬送車の寄贈を受け、消防本部に配置。
12月26日	気仙沼消防署に消防ポンプ自動車更新配置。
〃	気仙沼消防署に屈折梯子車配置。
昭和55年 5月29日	第 3 回全国消防職員意見発表大会(東京都)において、錦部照夫消防士長最優秀賞受賞。
6月 1日	志津川町、歌津町及び津山町消防職員待機宿舎落成。
6月10日	消防本部に査察車更新配置。

昭和55年 8月28日	(財)日本船舶振興会から救急自動車の寄贈を受け、気仙沼消防署に配置。
9月 1日	昭和 55 年度宮城県総合防災訓練を気仙沼市館山地区で実施。
9月18日	気仙沼消防署唐桑出張所、志津川消防署歌津出張所及び津山出張所に防火広報車配置。
10月 1日	第3代消防長に畠山誠就任。
11月21日	歌津町防火管理者協会結成。
12月19日	気仙沼消防署南出張所に消防ポンプ自動車更新配置。
12月27日	宮城県知事から空中消火用資機材の保管を委託され、志津川消防署で管理。
昭和56年 1月10日	(財)日本船舶振興会から防火広報車の寄贈を受け、消防本部に配置。
4月 1日	消防職員 4 人採用。
6月 4日	歌津町で幼年消防クラブ結成。
8月11日	気仙沼本吉地区婦人防火クラブ連合会結成。(1市5町)
11月30日	気仙沼消防署本吉分署に査察車、志津川消防署に指令車更新配置。
12月14日	(社)日本損害保険協会から救急自動車の寄贈を受け、志津川消防署津山出張所に配置。
昭和57年 2月25日	唐桑町消防職員待機宿舎落成。
3月17日	気仙沼消防署本吉分署に救急自動車更新配置。
3月19日	気仙沼消防署に消防ポンプ自動車配置。
4月 1日	第4代消防長に川合昭伍就任。
”	消防職員 3 人採用。
4月11日	気仙沼市魚市場に係留中の「第 11 豊洋号」(ブンヤン号)において、アンモニアガス噴出事故発生。死者 8 人、負傷者 6 人。 この救助活動に従事した職員及び団体の功績に対し、(財)宮城県消防協会長から「功労章」、(財)日本消防協会長から「現場功労章」、宮城県知事から「顕彰状」、消防庁長官から「功績章」が授与され、内閣総理大臣から当消防本部に対して昭和 58 年度「防災功労章」が授与された。
6月10日	気仙沼市で幼年消防クラブ結成。
7月12日	津山町で幼年消防クラブ結成。
7月30日	第 25 回宮城県消防操法大会を気仙沼市で開催。
8月24日	(財)日本消防協会から緊急用ろ水器が寄贈され、気仙沼消防署と志津川消防署に配置。
9月 9日	「救急の日」制定。
12月 1日	気仙沼消防署に照明電源車配置。
昭和58年 1月30日	志津川消防署に救急自動車更新配置。
3月 9日	志津川町で幼年消防クラブ結成。
3月30日	本吉町消防職員待機宿舎落成。
4月 1日	警防課に通信担当者 2 人配置。
6月 2日	第 6 回全国消防職員意見発表大会(京都府)において、芳賀保宏消防士優秀賞受賞。
昭和59年 3月16日	宮城県知事から「林野火災特別地域」の指定を受ける。
4月 1日	消防職員 3 人採用。
7月10日	宮城県防災気仙沼消防無線局を開局。
7月20日	本吉町で少年消防クラブ結成。

昭和59年12月 4日	本吉町で幼年消防クラブ結成。
昭和60年 2月 8日	志津川消防署に水槽付消防ポンプ自動車配置。
2月15日	異常気象（厳冬による消防水利確保困難）のため「火災警報」発令。
3月12日	気仙沼消防署本吉分署に水槽付消防ポンプ自動車配置。
4月 1日	消防職員 3人採用。
6月 1日	宮城県防災気仙沼消防無線局にファクシミリ開通。
8月 1日	消防衛生管理規程制定。
8月19日	異常渇水のため消防対策本部設置。（9月2日まで継続）
8月23日	第14回全国消防救助技術大会（広島市）において、伊藤大志消防士「ロープ登はんの部」入賞。
8月26日	財日本損害保険協会から化学消防ポンプ自動車の寄贈を受け、気仙沼消防署に配置。
10月 8日	第32回全国消防長会警防委員会を気仙沼市で開催。
11月25日	産業医（猪苗代勇医師）嘱託。
11月27日	第1回「火災予防キャンペーン」実施。（以後毎年実施）
12月18日	国道45号線安波山トンネル開通に伴う関係機関合同総合訓練。（以後隔年実施）
昭和61年 1月 6日	消防出初式に「梯子乗り」登場。
3月 8日	「消防表彰式」創設。（以後毎年実施）
3月10日	財日本自動車工業会から救急自動車の寄贈を受け、気仙沼消防署に配置。
3月27日	志津川消防署歌津出張所、津山出張所に消防ポンプ自動車更新配置。
4月 1日	消防職員 2人採用。
8月 5日	台風10号くずれの低気圧により、宮城県全域で大雨洪水による被害多発。
10月16日	気仙沼市で「幼年消防フェア」開催。
11月27日	気仙沼消防署唐桑出張所、志津川消防署歌津出張所に広報車更新配置。
”	広域組合消防計画書策定。
昭和62年 3月18日	気仙沼消防署に指令車更新配置。
3月26日	「火災警報」発令。
5月15日	異常渇水のため消防対策本部設置。
5月28日	第10回全国消防職員意見発表大会（横浜市）において、佐藤武敏消防士長優秀賞受賞。
8月 1日	広域組合消防安全管理規程制定。
8月12日	第30回宮城県消防操法大会を志津川町で開催。
9月 1日	財日本船舶振興会から救急自動車の寄贈を受け、気仙沼消防署に配置。
10月23日	気仙沼消防署、志津川消防署に作業車更新配置。
11月 9日	「119番の日」制定。
11月17日	株アーバンから防災指揮車の寄贈を受け、消防本部に配置。
12月19日	危険物安全協会創立30周年記念式典開催。
昭和63年 4月 1日	東京消防庁への研修派遣制度導入。（計8人派遣）
6月 4日	気仙沼市で少年消防クラブ結成。
8月19日	第17回全国消防救助技術大会（横浜市）において、伊藤大志消防士「ロープブリッジ渡過の部」入賞。

昭和63年10月 7日	志津川消防署津山出張所に広報車を更新配置。
平成元年 1月29日	4週6休実施。
2月21日	宮城県共済農業協同組合連合会から救急自動車の寄贈を受け、気仙沼消防署に配置。
4月18日	平成元年度宮城県林野火災防ぎょ訓練を気仙沼市 太田放牧地において実施。
8月 8日	(有)気仙沼モータースへの車両整備技術取得研修派遣制度導入。(計8人派遣)
12月25日	唐桑町で幼年消防クラブ結成。
平成 2年 2月21日	広域組合の休日定める条例制定。
3月29日	消防訓練塔落成。
3月31日	消防職員高齢化対策で職員2人退職。(4月1日付で気仙沼市へ身分移管)
4月 1日	消防職員3人採用。
4月26日	第13回全国消防長会東北支部意見発表大会(新潟市)において、森淳一消防士長優秀賞受賞。
5月17日	第41回全国消防長会警防委員会を気仙沼市で開催。
7月 6日	第15回宮城県消防救助技術指導会を気仙沼市で開催。
8月24日	第19回全国消防救助技術大会(広島市)において、志津川消防署隊 大森透消防副士長、伊藤大志、阿部権吾、昆野誠消防士「ロープブリッジ救出の部」入賞。
9月 1日	9.1宮城県総合防災訓練を志津川町で開催。
平成 3年 2月25日	消防本部に人員輸送車配置。
”	人員輸送車運行管理要綱制定。
3月31日	消防職員高齢化対策で職員1人退職。(4月1日付で気仙沼市へ身分移管)
4月 1日	第5代消防長に若杉市郎就任。
”	消防職員2人採用。
”	(財)日本消防協会へ職員1人研修派遣。
8月28日	第20回全国消防救助技術大会(大阪府)において、伊藤大志消防士「ロープブリッジ渡過の部」入賞。
9月 9日	カメイ(株)から広報車の寄贈を受け、消防本部に配置。
10月 1日	消防職員高齢化対策で職員1人広域組合に研修派遣。
”	宮城県防災航空隊に職員1人派遣。
12月 9日	気仙沼消防署、本吉分署、志津川消防署、津山出張所に救急応急処置範囲の拡大に伴う9点セットを配置。
平成 4年 3月21日	岩手県東磐井郡室根村地内の大川にタンクローリー横転、重油流出により「大川油流出事故対策本部」を設置、消防職・団員及び自衛隊(第22普通科連隊)が災害復旧活動に従事。(4月14日対策本部解散) また、3月24日から3日間、広域消防相互応援協定に基づき、大崎広域消防本部、塩釜地区消防本部、両磐地区消防本部からのタンク車による応援を受けた。
3月31日	志津川消防署に指令車、気仙沼消防署本吉分署に査察車更新配置。
”	消防職員高齢化対策で職員4人退職。(4月1日付で広域組合、唐桑町、本吉町、津山町へ身分移管)
4月 1日	消防職員4人採用。
”	宮城県広域航空消防応援協定締結。

平成 4年 8月28日	第 21 回全国消防救助技術大会（千葉市）において、伊藤大志消防士「ロープブリッジ渡過の部」入賞。
9月 4日	財日本防火協会より防火広報車の寄贈を受け、消防本部に配置。
10月21日	第 8 回全国婦人消防操法大会（横浜市）において、津山町婦人消防隊準優勝。
10月30日	広域組合設立、広域消防発足 20 周年記念式典挙行。 浅野大三郎消防庁長官が記念講演。
平成 5年 2月 1日	4 週 8 休実施。
2月 8日	気仙沼三菱自動車販売㈱より連絡広報車の寄贈を受け、気仙沼消防署大島出張所に配置。
3月31日	消防職員高齢化対策で職員 1 人退職。（4 月 1 日付で志津川町へ身分移管）
4月 1日	消防職員 1 人採用。
”	消防職員定数を 187 人に改正。
4月18日	津山町で大規模林野火災発生（10ha 焼失）管内消防団の応援を受ける。
10月 1日	気仙沼消防署唐桑出張所に救急自動車（2 B 型）配置。
10月26日	消防本部、気仙沼消防署、広域防災センター新庁舎落成。
平成 6年 1月31日	気仙沼消防署南出張所廃止。
2月 1日	消防本部、気仙沼消防署新庁舎で業務開始。
”	消防緊急通信指令施設開通式。（119 番統合）
”	気仙沼・本吉広域防災センター条例施行。
”	気仙沼・本吉広域防災センター職員辞令交付。（全員併任発令）
”	気仙沼消防署南町出張所設置（臨港出張所併合）職員 8 人配置。
2月28日	消防緊急通信指令施設（Ⅱ型）完成。
3月23日	気仙沼消防署に高規格救急自動車配置。
3月29日	消防本部・気仙沼消防署・広域防災センター新庁舎落成式。
4月 1日	消防職員 7 人採用。
”	警防課内に通信指令室勤務 6 人を配置、2 部制とした。
”	「気仙沼・本吉広域防災センター」オープン。
4月17日	唐桑町漁火パーク「登山リフトカー」暴走事故。負傷者 31 人。
5月25日	救急救命士国家試験（1 人）合格。（以降毎年度養成）
8月12日	異常湧水による消防対策本部設置。（8 月 22 日まで）
9月30日	財日本損害保険協会から救助工作車の寄贈を受け、気仙沼消防署に配置。
10月27日	第 50 回全国消防長会警防委員会を気仙沼市で開催。
11月13日	広域防災センター入館者 10, 000 人達成。
平成 7年 2月 1日	地震津波災害警防計画作成。
3月20日	気仙沼消防署南町出張所に消防ポンプ自動車更新配置。
4月 1日	消防本部に通信指令室を設け室長及び通信情報係・通信管理係を置き、消防署に救急係・救助係を配置し、分署に警防係・予防係を配置。
”	消防職員 8 人採用。
5月 9日	旅客船「くろさき」岸壁衝突事故。負傷者 149 人。
7月14日	広域防災センター入館者 20, 000 人達成。

平成 7年 8月22日	当消防本部が緊急援助隊救急部隊に登録される。
8月25日	第 24 回全国消防救助技術大会（北九州市）において、志津川消防署隊 大森透、佐藤宗一、菅原健治消防士長、阿部権吾、小山敏光消防士「引揚救助の部」入賞。
12月 1日	宮城県共済農業協同組合連合会から救急自動車の寄贈を受け、歌津出張所に配置。
12月15日	気仙沼消防署大島出張所に消防ポンプ自動車更新配置。
平成 8年 4月 1日	第 6 代消防長に熊谷昭一就任。
”	消防職員 7 人採用。
5月26日	広域防災センター入館者 30,000 人達成。
10月11日	消防職員委員会規則公布。
12月11日	第 1 回消防職員委員会開催。（以後毎年開催）
12月19日	第 1 回緊急消防援助隊北海道・東北ブロック合同訓練参加。（仙台市 20 日まで）
平成 9年 1月 8日	志津川消防署に災害対応特殊救急自動車配置。
2月 3日	気仙沼消防署待機宿舍移転落成。
2月16日	広域防災センター入館者 40,000 人達成。
2月28日	気仙沼消防署臨港出張所廃止。
4月 1日	第 7 代消防長に藤原博就任。
”	消防職員 6 人採用。
”	給与振込開始。
7月25日	志津川消防署歌津出張所の広報車更新、多機能型広報車配置。
平成10年 2月 8日	広域防災センター入館者 50,000 人達成。
3月 1日	自動車電話・携帯電話 119 番受付業務開始。
3月16日	気仙沼消防署に小型動力ポンプ付水槽車配置。
4月 1日	消防職員 6 人採用。
”	通信指令室に 9 人配置。
6月15日	志津川消防署津山出張所に多機能型消防広報車配置。
12月 7日	広域防災センター入館者 60,000 人達成。
12月22日	気仙沼消防署大島出張所に救急自動車（2 B 型）配置。
平成11年 1月25日	気仙沼消防署に消防ポンプ自動車（CD-Ⅱ型）配置。
4月 1日	消防職員 5 人採用。
”	消防職員定数を 197 人に改正。
5月13日	第 59 回全国消防長会警防委員会を気仙沼市で開催。
11月12日	志津川消防署に資機材搬送車配置。
12月10日	志津川消防署津山出張所に高規格救急自動車配置。
12月31日	コンピュータ西暦 2000 年問題に伴う警戒。
平成12年 2月 1日	年間訓練計画に基づく水難救助訓練開始。
3月10日	高速消防救急艇「あさぎり」就航。（19t）
3月15日	志津川消防署歌津出張所新庁舎落成。
3月23日	広域防災センター入館者 70,000 人達成。
4月 1日	消防職員 5 人採用。

平成12年 4月 1日	権限移譲事務の開始。(煙火消費の許可事務, 建設用びょう打ち銃用空砲許可事務, 液化石油ガスの設備工事に関する事務)
4月27日	気仙沼消防署本吉分署に高規格救急自動車配置。
7月 7日	気仙沼消防署唐桑出張所に消防ポンプ自動車 (CD-I型) 配置。
7月25日	第 41 回宮城県消防操法大会を歌津町で開催。
平成13年 3月31日	広域防災センター入館者 80,000 人達成。
4月 1日	消防職員 6 人採用。
”	宮城県内航空消防応援協定締結。
”	防災・消防ヘリコプター24 時間運航開始。
”	広域消防水難救助隊発足。(潜waters資格者 18 人)
9月20日	「宮城県沖地震長期評価」の発表に伴い, 地震・津波対策検討委員会設置。
11月21日	気仙沼・本吉地域広域テロ対策特別本部の設置。化学防護服を気仙沼消防署, 本吉分署, 志津川消防署に配備。
12月18日	気仙沼消防署南町出張所に高規格救急自動車配置。
平成14年 4月 1日	第8代消防長に菊田清一就任。
”	消防職員 5 人採用。
4月17日	平成 14 年度宮城県林野火災防ぎょ訓練を本吉町小泉地区において実施。
5月 8日	広域防災センター入館者 90,000 人達成。
10月 1日	高速消防救急艇あさぎり大島係留開始。
10月 9日	組合設立, 広域消防発足 30 周年記念式典挙行。
12月10日	志津川消防署歌津出張所に消防ポンプ自動車 (CD-I型) 配置。
12月13日	志津川消防署に水槽付消防ポンプ自動車 (I-A型) 配置。
”	気仙沼消防署本吉分署に水槽付消防ポンプ自動車 (I-A型) 配置。
平成15年 2月26日	(社)気仙沼市シルバー人材センターから指揮車の寄贈を受け, 消防本部に配置。
3月11日	気仙沼地域メディカルコントロール協議会設立。
3月26日	気仙沼消防署唐桑出張所に高規格救急自動車配置。
4月 1日	消防職員 3 人採用。
”	通信指令室を通信指令課に改め3部体制 (職員 10 人) とした。
5月14日	広域防災センター入館者 100,000 人達成。
5月26日	三陸南地震。管内で震度 5 強観測。
6月 4日	地震津波災害活動計画作成。
7月26日	宮城県北部連続地震。 7月 28 日から 2 日間, 延べ人員 6 人を鹿島台町に派遣し, タンク車による応援活動を実施。 この応援活動に対し, 消防庁長官から当消防本部に「功労章」が授与された。
8月26日	宮城県消防協会本吉支部の事務局所在地及び業務が, 宮城県気仙沼地方振興センターから消防本部へ移管。
10月 1日	地震津波安全対策担当配置。
10月23日	第 68 回全国消防長会警防委員会を気仙沼市で開催。
11月19日	気仙沼消防署に消防ポンプ自動車 (BD-I型) 配置。

平成15年12月 8日	志津川消防署津山出張所に消防ポンプ自動車（CD-I型）配置。
平成16年 4月 1日	消防職員 3人採用。
4月28日	第27回全国消防長会東北支部意見発表大会（新潟市）において、阿部利彦消防士が優秀賞受賞。
9月 1日	平成16年度9.1宮城県総合防災訓練を気仙沼市階上地区において実施。
”	緊急通報FAX受信運用開始。
9月30日	広域防災センター入館者110,000人達成。
平成17年 2月23日	当消防本部初の「気管挿管認定」救急救命士誕生。
3月31日	登米市（4月1日）への身分移管に伴う職員10人退職。 広域市町村合併に伴う志津川消防署津山出張所の消防業務事務引継及び閉庁式を実施。
4月 1日	津山町が組合を脱退し、1市4町で組合再編。
5月28日	気仙沼港において塩釜海上保安部「巡視船くりこま」潜水隊との合同潜水訓練実施。
8月16日	8.16宮城県沖地震。管内で震度5弱観測。
10月 1日	志津川町・歌津町が合併し「南三陸町」となり、1市3町で組合再編。 志津川消防署から南三陸消防署へ名称変更。
12月 2日	南三陸消防署歌津出張所に高規格救急自動車配置。
平成18年 2月 8日	南三陸消防署に消防ポンプ自動車（CD-I型）配置。
2月13日	広域防災センター入館者120,000人達成。
3月 1日	谷村明信氏から潜水用資機材7式の寄贈を受けた。
3月 3日	気仙沼消防署に災害対応特殊はしご付消防ポンプ自動車配置。
3月31日	気仙沼市、唐桑町が合併し「気仙沼市」となり、1市2町で組合再編。
4月 1日	消防職員 8人採用。
9月24日	気仙沼湾に係留中のカツオ船（FRP製）から火災発生、約12時間にわたり消火活動実施。
10月 6日	宮城県消防職員野球大会決勝大会が南三陸町歌津「平成の森」で行われ、当消防本部が優勝。
10月17日	当広域管内初の「薬剤（エピネフリン）投与の実施に係る認定」救急救命士誕生。
11月 1日	気仙沼ライオンズクラブから自動体外式除細動器（AED）1台の寄贈を受け、防災センターに配置。
12月26日	気仙沼消防署に水難救助車配置。
平成19年 1月24日	気仙沼消防署本吉分署に消防ポンプ自動車（CD-I型）配置。
3月28日	宮城県防潮水門遠隔操作システムの操作装置が南三陸消防署に設置され運用開始。
4月 1日	第9代消防長に菅原武人就任。
”	消防職員 7人採用。
5月23日	平成19年度大規模津波防災総合訓練（国土交通省主催）が、気仙沼市をメイン会場に実施。
7月 3日	広域防災センター入館者130,000人達成。
平成20年 2月 6日	毎年4月15日から5月14日までを行楽期の火災予防月間とした。
4月 1日	第10代消防長に齋藤一善就任。
”	消防職員 4人採用。

平成20年 4月 1日	各署所に地震津波安全対策担当配置。
5月22日	第7回全国消防長会警防防災委員会を気仙沼市で開催。
6月14日	平成20年岩手・宮城内陸地震。 宮城県広域消防相互応援協定に基づく応援要請により、6月15日から6月23日まで9日間、延べ63人を栗原市に派遣。
7月24日	岩手県沿岸北部を震源とする地震。管内で震度5強観測。
7月28日	気仙沼消防署に資機材搬送車配置。
7月29日	南三陸消防署に指令車、気仙沼消防署本吉分署に査察車配置。
11月10日	災害情報等の電子メールでの配信開始。
平成21年 1月 9日	広域防災センター入館者140,000人達成。
3月24日	宮城県防潮水門遠隔操作システムの操作装置が防災センターに設置され運用開始。
4月 1日	第11代消防長に千葉章一就任。
〃	消防職員9人採用。(うち救急救命士1人)
9月 1日	気仙沼市、本吉町が合併し「気仙沼市」となり、1市1町で組合再編。 事務組合規約を変更、理事会制から管理者制へ移行。
12月28日	気仙沼消防署、南三陸消防署の高規格救急自動車更新配置。
平成22年 3月24日	新人職員人材育成実施計画作成。
4月 1日	出張所に係を配置。
〃	消防職員7人採用。
6月 9日	広域防災センター入館者150,000人達成。
12月 8日	気仙沼消防署に災害対応特殊化学消防ポンプ自動車Ⅱ型配置。
平成23年 3月11日	東北地方太平洋沖地震 管内で震度6弱観測 マグニチュード9.0。 国内観測史上最大級の地震、名称は「東日本大震災」。 消防職員10人殉職。 庁舎被害：津波により全壊(南三陸消防署、歌津出張所)・全損(南町出張所)。 地震による庁舎敷地地盤の沈下、擁壁亀裂(唐桑出張所)。 車両等被害：火災及び津波により被災(消防艇1艇、指揮車2台、資機材搬送車1台)。 緊急消防援助隊応援部隊数：1,141部隊、4,317人。
4月 1日	消防職員13人採用。
〃	嘱託員制度を導入。
9月25日	東日本大震災 組合消防職員殉職者合同慰霊祭を実施。
11月 9日	東日本大震災の活動に従事した功績に対し、総務大臣表彰が授与された。
平成24年 2月28日	気仙沼消防署南町出張所に消防ポンプ自動車(CD-I型)配置。
〃	台湾 洪氏から消防ポンプ自動車(CD-I型)の寄贈を受け、南三陸消防署に配置。
3月21日	気仙沼消防署大島出張所に広報車配置。
〃	南三陸消防署に指揮車及び資機材搬送車配置。
4月 1日	消防職員14人採用。
〃	再任用制度を導入。
6月23日	広域防災センター入館者160,000人達成。

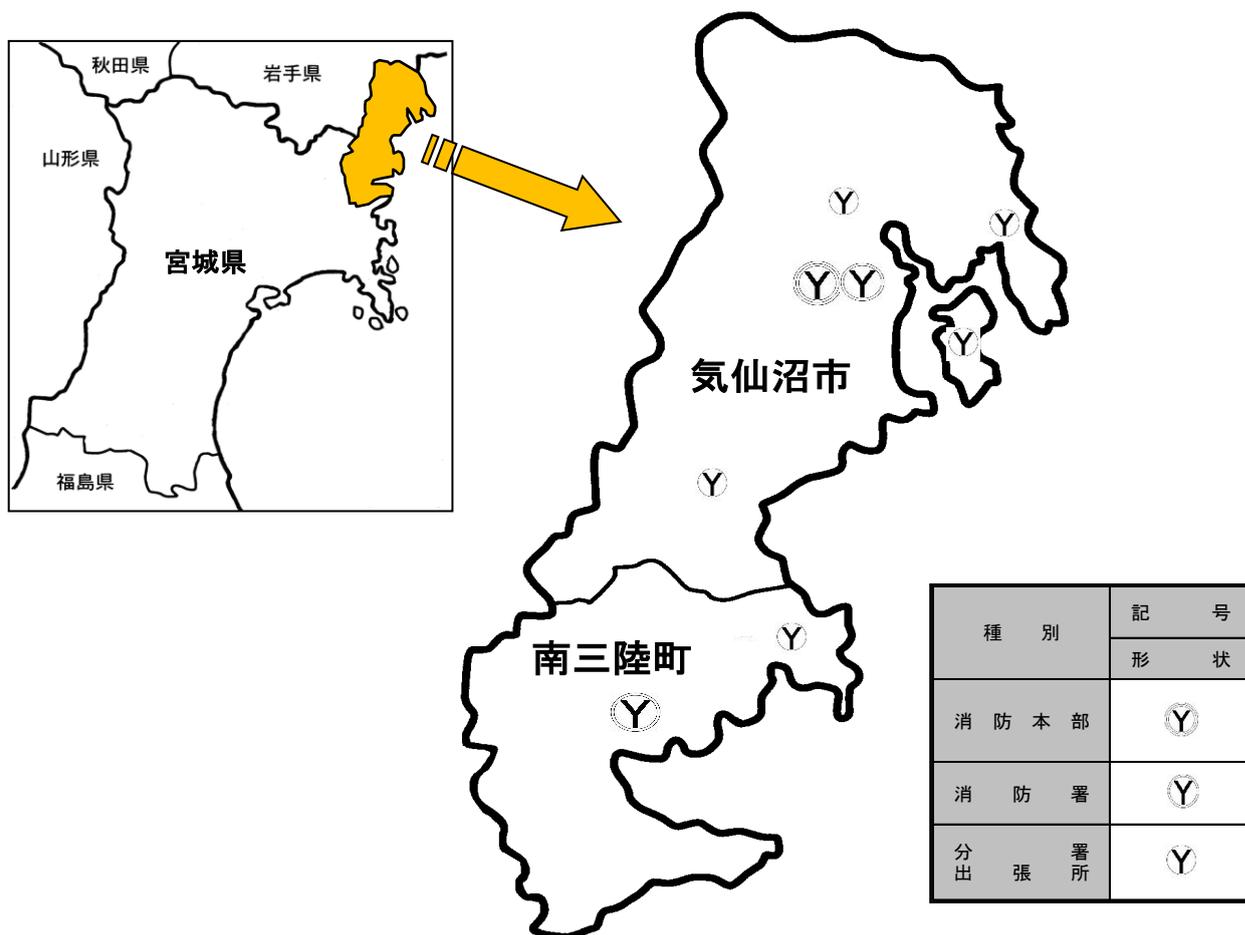
平成24年 9月 1日	東日本大震災の活動に従事した功績に対し、防災功労者内閣総理大臣表彰が授与された。
平成25年 2月18日	J A南三陸・J A共済連宮城「地域の安全・安心プロジェクト」により、高規格救急自動車の寄贈を受け、気仙沼消防署本吉分署に配置。
3月18日	前田道路株式会社から消防ポンプ自動車（CD-I型）の寄贈を受け、気仙沼消防署南町出張所に配置。
3月27日	消防救急艇「あさぎり」竣工式。
4月 1日	第12代消防長に及川淳之助就任。
〃	消防職員10人採用。
〃	消防指令センター及び消防救急デジタル・アナログ無線施設運用開始。
〃	南三陸消防署及び南三陸消防署歌津出張所仮設庁舎開庁式。
7月 1日	人事評価制度開始。
6月26日	第36回全国消防職員意見発表の一環として、三浦勝郎消防司令補が東日本大震災被災地消防本部職員意見発表を実施。
12月21日	広域防災センター入館者170,000人達成。
平成26年 3月 3日	東日本大震災での教訓を後世に伝え、今後殉職事故を発生させないことを職員全員が誓い、確認する日として「消防誓いの日」（毎年3月11日）制定。
3月11日	東日本大震災消防職員殉職者慰霊碑、伝承碑建立式。（職員互助会事業）
3月24日	宮城県石油商業協同組合気仙沼支部、本吉支部と災害時における燃料等の供給に関する協定締結。
3月28日	気仙沼消防署に救助工作車（II型）配置。
4月 1日	消防職員12人採用。（うち救急救命士2人）
7月 2日	第39回宮城県消防救助技術指導会において、南三陸消防署隊伊東寛晃、佐々木成紀消防士長、阿部洋輔消防士「ほふく救出の部」優勝。第43回全国消防救助技術大会（千葉市）の出場決定。（広島市大規模土砂災害発生に伴い全国大会中止）
7月22日	天皇皇后両陛下の宮城県内への行幸啓に伴い、管内市町で警備実施。（3日間）
7月31日	気仙沼消防署古町出張所落成式。（8月1日より業務開始） 気仙沼消防署南町出張所から気仙沼消防署古町出張所へ名称変更。
平成27年 1月31日	気仙沼ライオンズクラブから消防活動用広報車2台の寄贈を受け、気仙沼消防署唐桑出張所、南三陸消防署歌津出張所に配置。
3月 7日	気仙沼消防署古町出張所に高規格救急自動車更新配置。
4月 1日	第13代消防長に菅原裕二就任。
〃	消防職員11人採用。（うち救急救命士1人）
7月 1日	広域管内初となる宮城県メディカルコントロール協議会より救急救命士が処置拡大の認定を受け運用開始。
9月28日	アステラス製薬株式会社から高規格救急自動車の寄贈を受け、気仙沼消防署大島出張所に配置。
平成28年 1月 1日	平成27年の火災件数が広域消防発足以降、最小件数を更新。（23件）
1月18日	広域防災センター入館者180,000人達成。

平成28年 4月 1日	消防職員 9 人採用。(うち救急救命士 1 人)
4月18日	第 39 回全国消防長会東北支部意見発表大会(仙台市)において、熊谷崇洋消防士入賞。
6月13日	気仙沼消防署唐桑出張所落成式。(6月1日より業務開始)
8月 1日	当消防本部に双子のイメージキャラクター「かなえ」ちゃん、「みなみ」ちゃん誕生。
8月 3日 ～4日	平成 28 年度少年消防クラブ交流会(全国大会)合同訓練を南三陸町(平成の森)で開催。
8月31日	台風第 10 号に伴う大雨災害により広域消防初の緊急消防援助隊が出動。 8月31日から9月9日の10日間、延べ5隊(救助小隊・消火小隊)25人を岩手県岩泉町に派遣し、安否確認及び捜索活動を実施。
12月21日	気仙沼消防署唐桑出張所に高規格救急自動車更新配置。
平成29年 1月 1日	平成 28 年の火災件数が広域消防発足以降、最小件数を更新。(16 件)
2月 8日	台風第 10 号に伴う大雨災害に緊急消防援助隊を派遣し、活動に従事した功績に対し消防庁長官より賞状が授与された。
3月29日	気仙沼消防署に消防ポンプ自動車(CD-I型)配置。
4月 1日	消防職員 3 人採用。
4月17日	南三陸消防署歌津出張所落成式。(5月1日より業務開始)
5月18日	第 25 回全国消防長会警防防災委員会を気仙沼市で開催。
10月 1日	「消防職員パワーハラスメント防止に関する指針」及び「職場におけるパワーハラスメントの防止に関する要綱」策定。
平成30年 2月 9日	南三陸消防署歌津出張所に高規格救急自動車更新配置。
2月14日	南三陸消防署歌津出張所消防職員待機宿舎を解体撤去。
3月23日	気仙沼消防署唐桑出張所に消防ポンプ自動車(CD-I型)更新配置。
3月29日	広域防災センター入館者 190,000 人達成。
4月 1日	消防職員 3 人採用。
4月25日	第 41 回全国消防長会東北支部意見発表大会(山形市)において、遠藤崇史消防士長入賞。
9月 6日	北海道胆振東部地震により緊急消防援助隊出動。 9月6日から9月11日の6日間、救助小隊・後方支援隊7人を北海道勇払郡厚真町に派遣し、安否確認及び捜索活動を実施。
平成31年 2月 5日	北海道胆振東部地震に伴う災害に緊急消防援助隊を派遣し、活動に従事した功績に対し消防庁長官より賞状が授与された。
3月15日	気仙沼消防署本吉分署に水槽付消防ポンプ自動車(I-A型)更新配置。
4月 1日	消防職員 2 人採用。
令和元年 5月21日	陸前高田市消防本部と三陸縦貫自動車道における消火、救急、救助業務等に関する覚書締結。
8月29日	気仙沼消防署古町出張所に高規格救急自動車更新配置。
9月 2日	南三陸消防署落成式。(8月8日より業務開始)

令和元年 9月10日	東日本大震災消防職員殉職者慰霊碑御魂入供養。(職員互助会事業)
10月13日	台風第19号被害に係る宮城県広域消防相互応援協定に基づく応援要請により、10月13日から10月17日、10月21日の6日間、延べ8隊(消火隊・救急隊)28人を丸森町に派遣。
令和2年 1月15日	消防本部に人員輸送車更新配置。
3月24日	南三陸消防署に水槽付消防ポンプ自動車(I-A型)更新配置。
4月1日	第14代消防長に三浦行博就任。
〃	消防職員4人採用。
5月1日	岩沼市倉庫火災に係る宮城県広域消防相互応援協定に基づく応援要請により、5月1日から5月2日の2日間、延べ2隊(梯子車隊)8人を岩沼市に派遣。
10月14日	消防本部に事務連絡車更新配置。
10月29日	気仙沼消防署、南三陸消防署に高規格救急自動車更新配置。
11月19日	広域防災センター入館者200,000人達成。
令和3年 2月16日	南三陸消防署歌津出張所に消防ポンプ自動車(CD-I型)更新配置。
4月1日	消防職員2人採用。
7月31日	東京2020オリンピック競技大会宮城スタジアム開催消防特別警戒に伴い、消火小隊1隊5人を利府町に派遣。
12月20日	気仙沼消防署古町出張所に広報車配置。
令和4年 1月12日	宮城県東部消防連携・協力推進委員会設置。(石巻, 登米, 気仙沼・本吉消防本部)
4月1日	消防職員2人採用。
5月15日	宮城県林野火災防ぎょ訓練を気仙沼市 渡戸地内 気仙沼市民の森を会場に実施。
10月28日	組合設立, 広域消防発足50周年記念式典挙行。
10月29日	第29回全国消防操法大会ポンプ車の部に気仙沼市消防団第1分団出場。
12月23日	宮城県東部消防通信指令事務協議会調印式において, 管理者が協議書に調印。 (石巻, 登米, 気仙沼・本吉消防本部)
令和5年 4月1日	第15代消防長に戸羽一明就任。
〃	組合職員の定年等に関する条例の一部改正に伴い, 定年延長制度を導入。
〃	宮城県東部消防通信指令事務協議会設置。(石巻, 登米, 気仙沼・本吉消防本部) 推進室(石巻地区消防本部)に職員2人派遣。
11月2日	気仙沼消防署本吉分署に高規格救急自動車更新配置。
令和6年 4月1日	第16代消防長に吉田一元就任。
〃	消防職員1人採用。
5月1日	消防本部に指揮隊を設置。
6月14日	消防救急艇「あさぎり」を塩釜地区消防事務組合へ譲渡。
9月1日	令和6年度宮城県9.1総合防災訓練を南三陸町志津川地区で開催。
令和7年 2月26日	岩手県大船渡市の林野火災へ緊急消防援助隊出動。 2月26日から3月16日までの19日間, 延べ22隊70名(消火小隊, 後方支援小隊)

	を岩手県大船渡市へ派遣し消火活動を実施。
令和 7年 4月 1日	消防職員 4人採用。

# 圏域管内図



## 位 置 及 び 管 内 情 勢

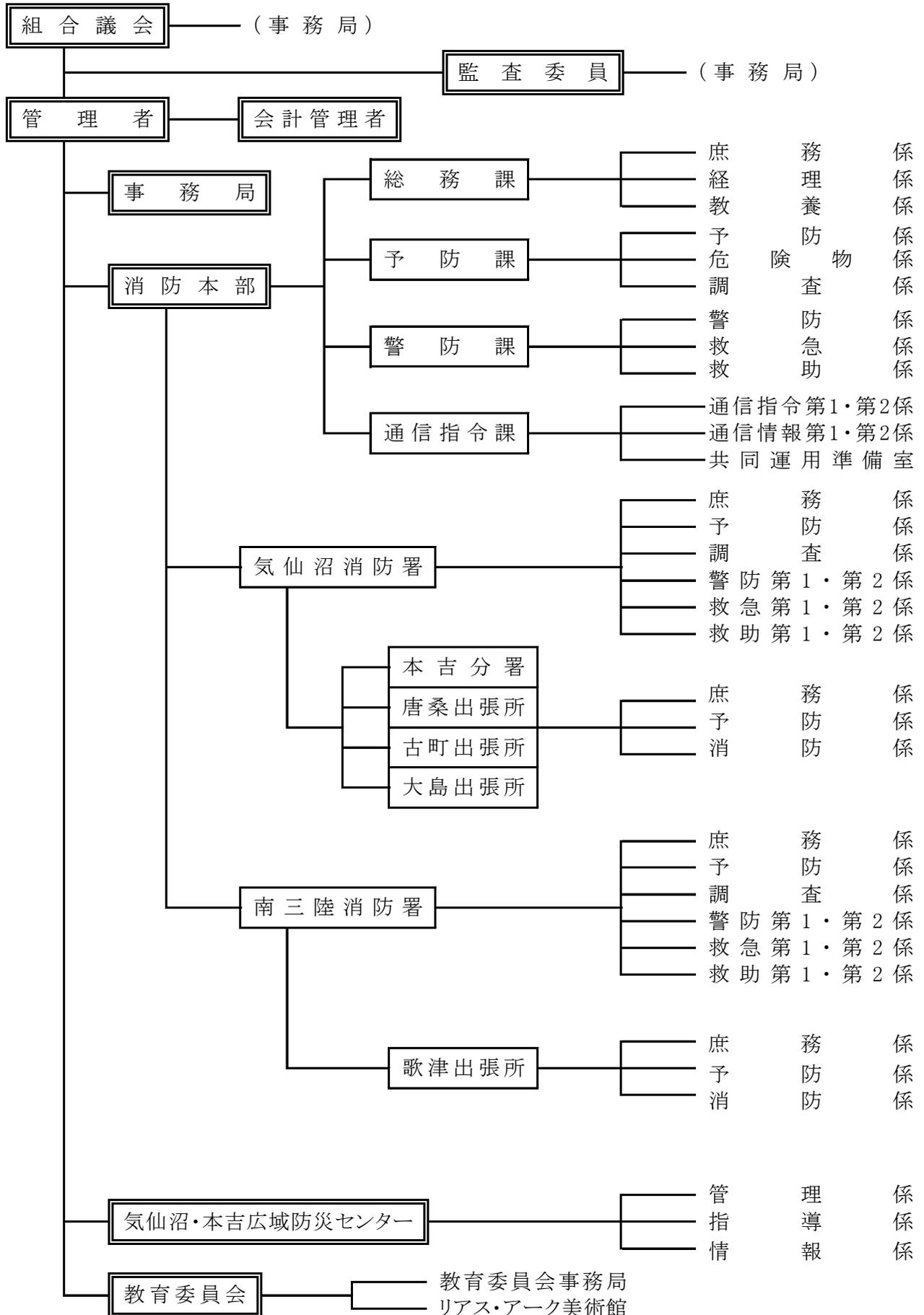
当組合は、気仙沼市と南三陸町の1市1町で構成され、宮城県の最北端に位置し、東は雄大な太平洋に面し、西は北上山系の支脈の稜線で、岩手県や宮城県の内陸市町村と接しています。また、太平洋側は、変化に富んだ美しいリアス式海岸で、三陸復興国立公園に指定され、多くの観光客が訪れています。

(令和7年3月31日現在)

市 町 名	面 積 (km <sup>2</sup> )	世 帯 数 (世帯)	人 口 (人)
気 仙 沼 市	332.44	26,013	55,716
南 三 陸 町	163.40	4,429	11,417
合 計	495.84	30,442	67,133

# 組合組織図

(令和7年4月1日現在)



## 庁 舎 位 置

(令和7年4月1日現在)

本部・署所	所在地	標高 (m)	敷地面積 (㎡)	構造	面積 (㎡)	竣工
消防本部	〒988-0104 気仙沼市赤岩五駄鱈43番地2	24.8	6,255.00	鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ 3階建	建1,700.3 延2,981.4	平5.10
気仙沼消防署						
防災センター						
気仙沼消防署 本吉分署	〒988-0309 気仙沼市本吉町津谷松尾1番地1	15.0	700.80	鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ 2階建	建 208.25 延 314.50	昭48.1
気仙沼消防署 唐桑出張所	〒988-0524 気仙沼市唐桑町只越346番地13	64.0	2,642.50	鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ 平屋建	建 451.47 延 425.25	平28.5
気仙沼消防署 古町出張所	〒988-0077 気仙沼市古町1丁目6番17号	15.7	1,145.67	鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ 2階建	建 340.83 延 580.50	平26.7
気仙沼消防署 大島出張所	〒988-0604 気仙沼市廻館113番地1	36.0	429.40	軽量鉄骨造 一部木造 平屋建	建 153.7 延 150.9	昭54.3 平14.10 (増築)
南三陸消防署	〒986-0727 南三陸町志津川字新井田34番地4	20.0	6,940.05	鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ 平屋建	建 934.89 延 929.98	令元.7
南三陸消防署 歌津出張所	〒988-0423 南三陸町歌津字柘沢28番地1	37.4	1,684.97	鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ 平屋建	建 460.97 延 433.80	平29.3

## 待 機 宿 舎 位 置

(令和7年4月1日現在)

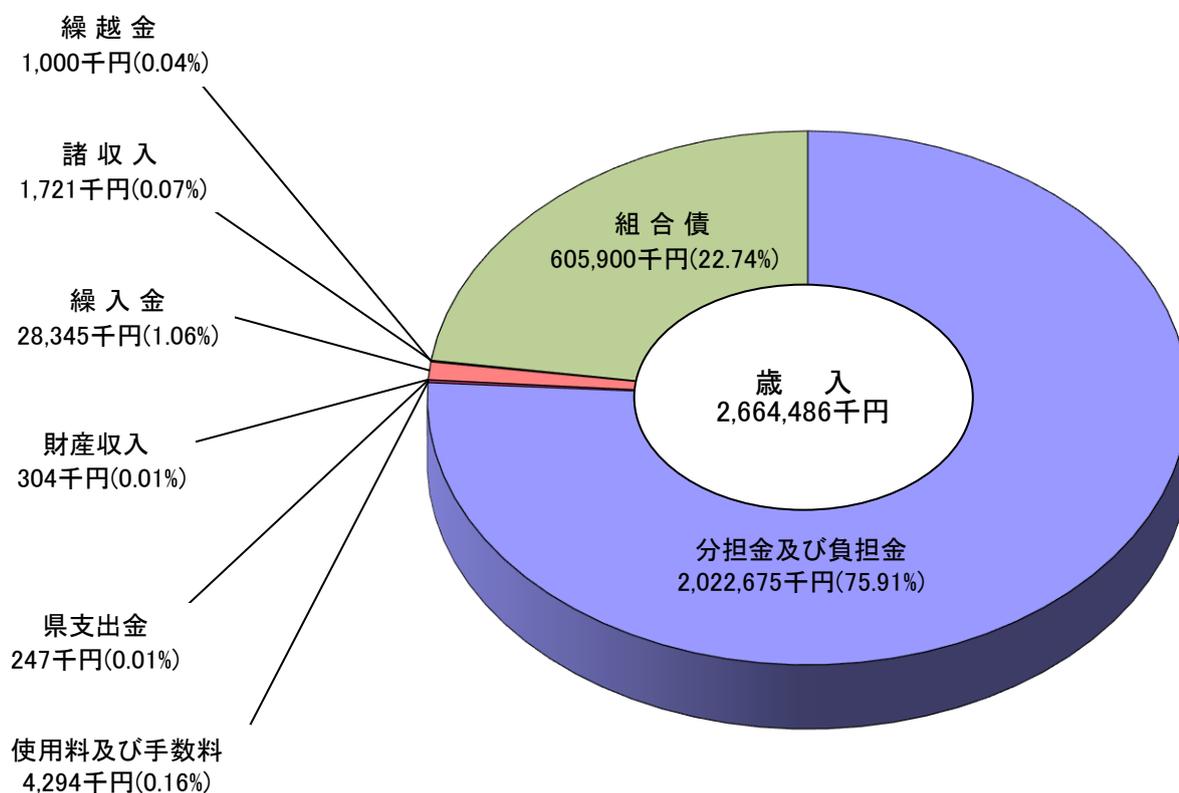
所在地	室数	構造	面積(㎡)	竣工
〒988-0171 気仙沼市赤岩牧沢44番地114	単身用4室	木造1階建	115.93	平9.3
〒988-0535 気仙沼市唐桑町馬場189番地7	世帯用2室	鉄骨耐火構造1階建	99.84	昭57.2
〒988-0309 気仙沼市本吉町津谷松尾68番地9	世帯用2室	鉄骨耐火構造1階建	100.00	昭58.3
〒986-0776 南三陸町志津川字竹川原47番地4	世帯用6室	鉄骨耐火構造2階建	297.61	昭55.3

# 総務



消防本部に指揮隊設置(令和6年5月1日 指揮隊発足式)

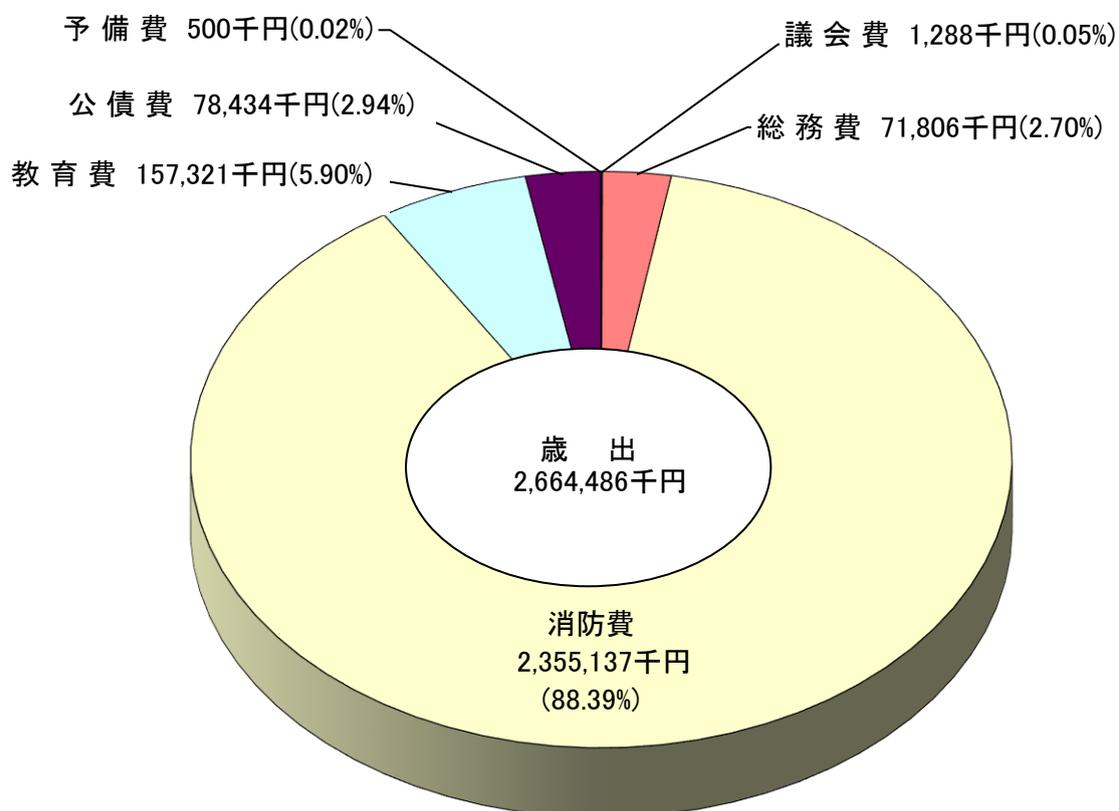
## 令和7年度当初歳入予算



(単位：千円)

科 目	令和7年度予算額	令和6年度当初予算額	比 較
分 担 金 及 び 負 担 金	2,022,675	1,849,889	172,786
使 用 料 及 び 手 数 料	4,294	4,035	259
国 庫 支 出 金	0	0	0
県 支 出 金	247	8,799	△ 8,552
財 産 収 入	304	28	276
繰 入 金	28,345	29,871	△ 1,526
繰 越 金	1,000	1,000	0
諸 収 入	1,721	1,721	0
組 合 債	605,900	538,700	67,200
合 計	2,664,486	2,434,043	230,443

## 令和7年度当初歳出予算



(単位：千円)

科 目	令和7年度予算額	令和6年度予算額	比 較
議 会 費	1,288	1,288	0
総 務 費	71,806	73,587	△ 1,781
消 防 費	2,355,137	2,171,891	183,246
教 育 費	157,321	150,968	6,353
公 債 費	78,434	35,809	42,625
予 備 費	500	500	0
合 計	2,664,486	2,434,043	230,443

令和7年度(当初)組合消防費にかかる性質別歳出の財源内訳

(単位:千円)

区 分	予 算 額	財 源 内 訳			
		負 担 金	国・県支出金	組 合 債	そ の 他
人 件 費	1,544,038	1,542,239	247		1,552
扶 助 費	33,305	33,305			
物 件 費	162,180	151,782			10,398
補 助 費 等	469,553	10,653		458,900	
維 持 補 修 費	2,095	2,095			
普通建設事業費	143,966	7,066		136,900	
災害復旧事業費	0	0			
公 債 費	76,391	76,391			
予 備 費	500	500			
合 計	2,432,028	1,824,031	247	595,800	11,950

令和7年度(当初)構成市町の一般会計と消防予算

(単位:千円)

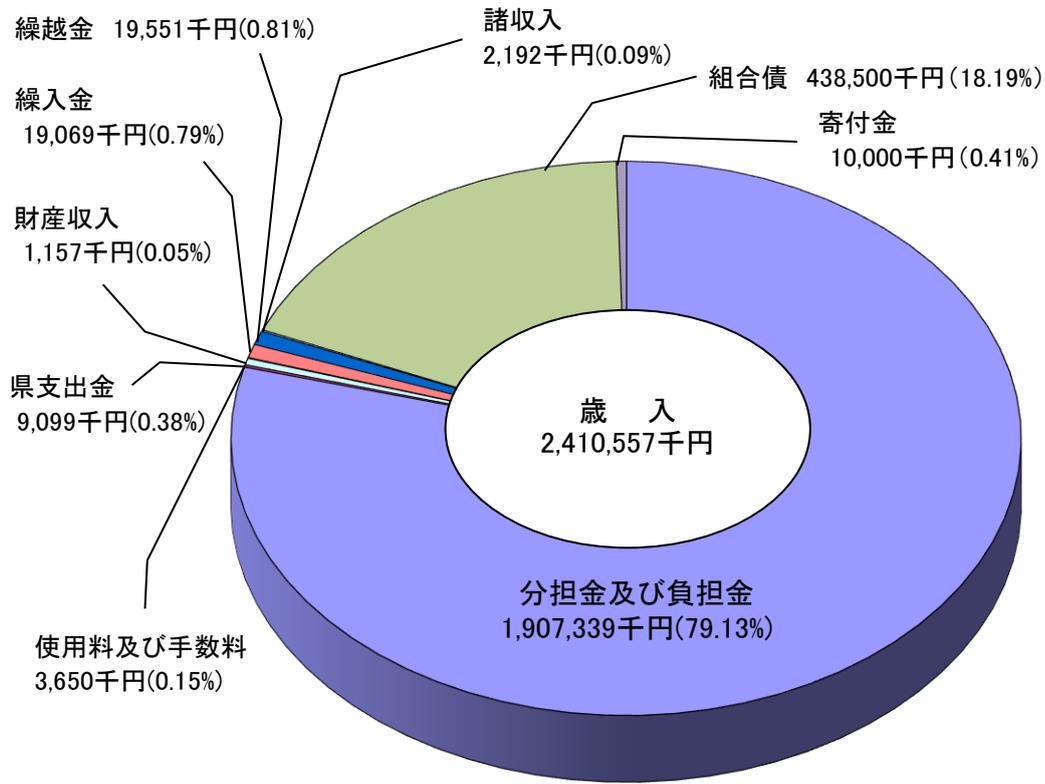
区 分	一 般 会 計 A	消 防 費 B	内 訳			割 合 B/A (%)
			常 備	非 常 備	そ の 他	
気 仙 沼 市	41,582,765	1,692,692	1,377,815	188,128	126,749	4.07
南 三 陸 町	11,700,000	687,500	446,216	50,490	190,794	5.88
合 計	53,282,765	2,380,192	1,824,031	238,618	317,543	4.47

令和6年度(決算)構成市町負担金負担割合

(単位:千円)

区 分	消 防 費 基 準 財 政 需 要 額		消 防 費 負 担 金	
	金 額 (千円)	構 成 比 (%)	金 額 (千円)	構 成 比 (%)
気 仙 沼 市	940,885	74.60	1,288,055	75.22
南 三 陸 町	320,394	25.40	424,351	24.78
合 計	1,261,279	100.00	1,712,406	100.00

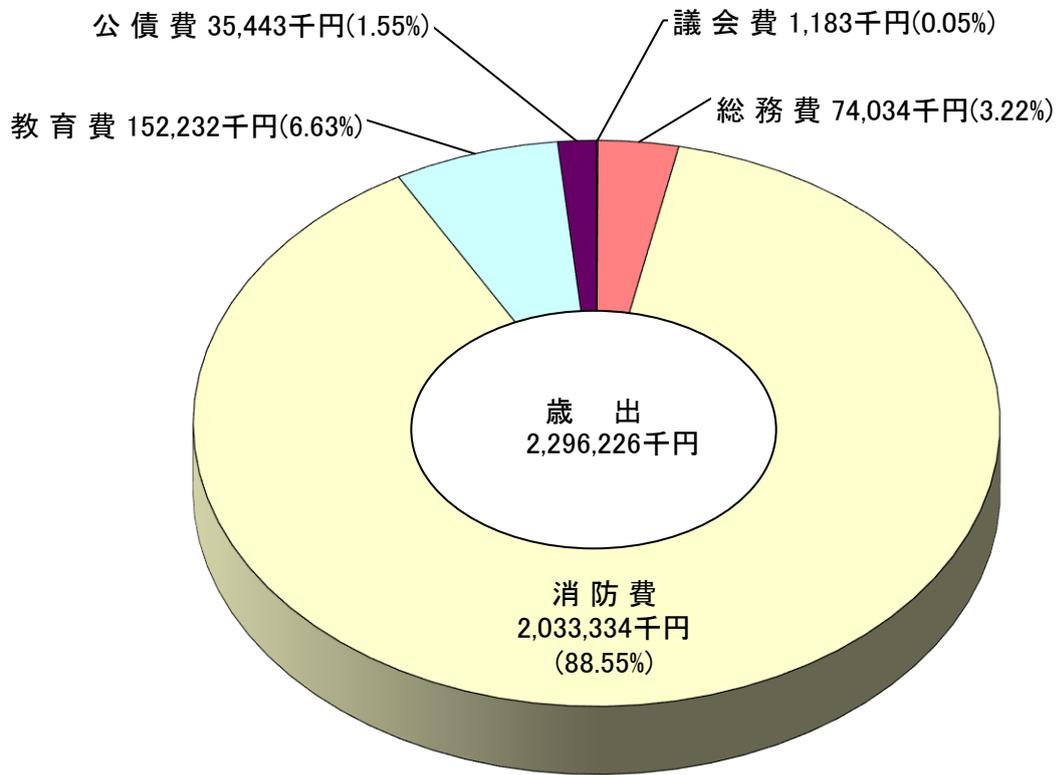
# 令和6年度歳入決算



(単位：千円)

科 目	令和6年度予算額(最終)	令和6年度決算額	比 較
分 担 金 及 び 負 担 金	1,907,339	1,907,339	0
使 用 料 及 び 手 数 料	4,035	3,650	△ 385
国 庫 支 出 金	0	0	0
県 支 出 金	9,098	9,099	1
財 産 収 入	1,180	1,157	△ 23
繰 入 金	21,328	19,069	△ 2,259
繰 越 金	19,551	19,551	0
諸 収 入	1,721	2,192	471
組 合 債	441,800	438,500	△ 3,300
寄 付 金	10,000	10,000	0
合 計	2,416,052	2,410,557	△ 5,495

# 令和6年度歳出決算



(単位：千円)

科目	令和6年度予算額(最終)	令和6年度決算額	比較
議会費	1,288	1,183	105
総務費	77,476	74,034	3,442
消防費	2,142,930	2,033,334	109,596
教育費	158,402	152,232	6,170
公債費	35,456	35,443	13
予備費	500	0	500
合計	2,416,052	2,296,226	119,826

# 消 防 職 員 配 置 状 況

(令和7年4月1日現在)

区 分		合 計	消防監	消 防 司 令 長	消防司令	消 防 司 令 補	消防士長	消防士	事務吏員
消 防 本 部	消 防 長	1	1						
	次 長	1		1					
	総 務 課	11		1	1	5	1	3	
	予 防 課	5		1	1	2	1		
	警 防 課	10		1	6	3			
	通信指令課	13		1	6	2	4		
	小 計	41	1	5	14	12	6	3	
気 仙 沼 消 防 署 管 内	気仙沼消防署	41		2	4	11	12	12	
	本吉分署	19		1	1	7	7	3	
	唐桑出張所	12			1	5	4	2	
	古町出張所	19			1	7	7	4	
	大島出張所	12			1	4	5	2	
	小 計	103		3	8	34	35	23	
南 三 陸 消 防 署 管 内	南三陸消防署	31		2	4	7	9	9	
	歌津出張所	12			1	5	4	2	
	小 計	43		2	5	12	13	11	
合 計		187	1	10	27	58	54	37	

※ 総務課には、宮城県復興・危機管理部消防課1名、宮城県防災航空隊1名、宮城県消防学校初任総合教育入校者3名を含む。

※ 通信指令課には、宮城県東部消防通信指令事務協議会推進室2名の派遣を含む。

# 消防職員階級別勤続年数

(令和7年4月1日現在)

階級 勤続年数	合計	消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防士	事務吏員
平均勤続年数	18.3	41.0	34.5	29.0	21.1	14.4	7.0	
合計	187	1	10	27	58	54	37	
1 年 未 満	4						4	
1 年 以 上	1						1	
2 "								
3 "	2						2	
4 "	2						2	
5 "	4						4	
6 "	2						2	
7 "	3						3	
8 "	3					2	1	
9 "	9					2	7	
10 "	9					3	6	
11 "	12					9	3	
12 "	10				1	8	1	
13 "	11				3	7	1	
14 "	12				4	8		
15 "	7				3	4		
16 "	8				6	2		
17 "	4				3	1		
18 "	6				4	2		
19 "	7				6	1		
20 "								
21 "	2				2			
22 "	3				3			
23 "	4			1	3			
24 "	6			1	5			
25 "	4			1	3			
26 "	5			1	3	1		
27 "	6			3	3			
28 "	6		2	2	1	1		
29 "	6			4	1	1		
30 "	7			6	1			
31 "	7			6		1		
32 "								
33 "	4		2	2				
34 "	2		2					
35 "	2		1		1			
36 "								
37 "								
38 "								
39 "	1		1					
40 "	2		1			1		
41 "	2	1	1					
42 "								
43 "	1				1			
44 "	1				1			
45 "								

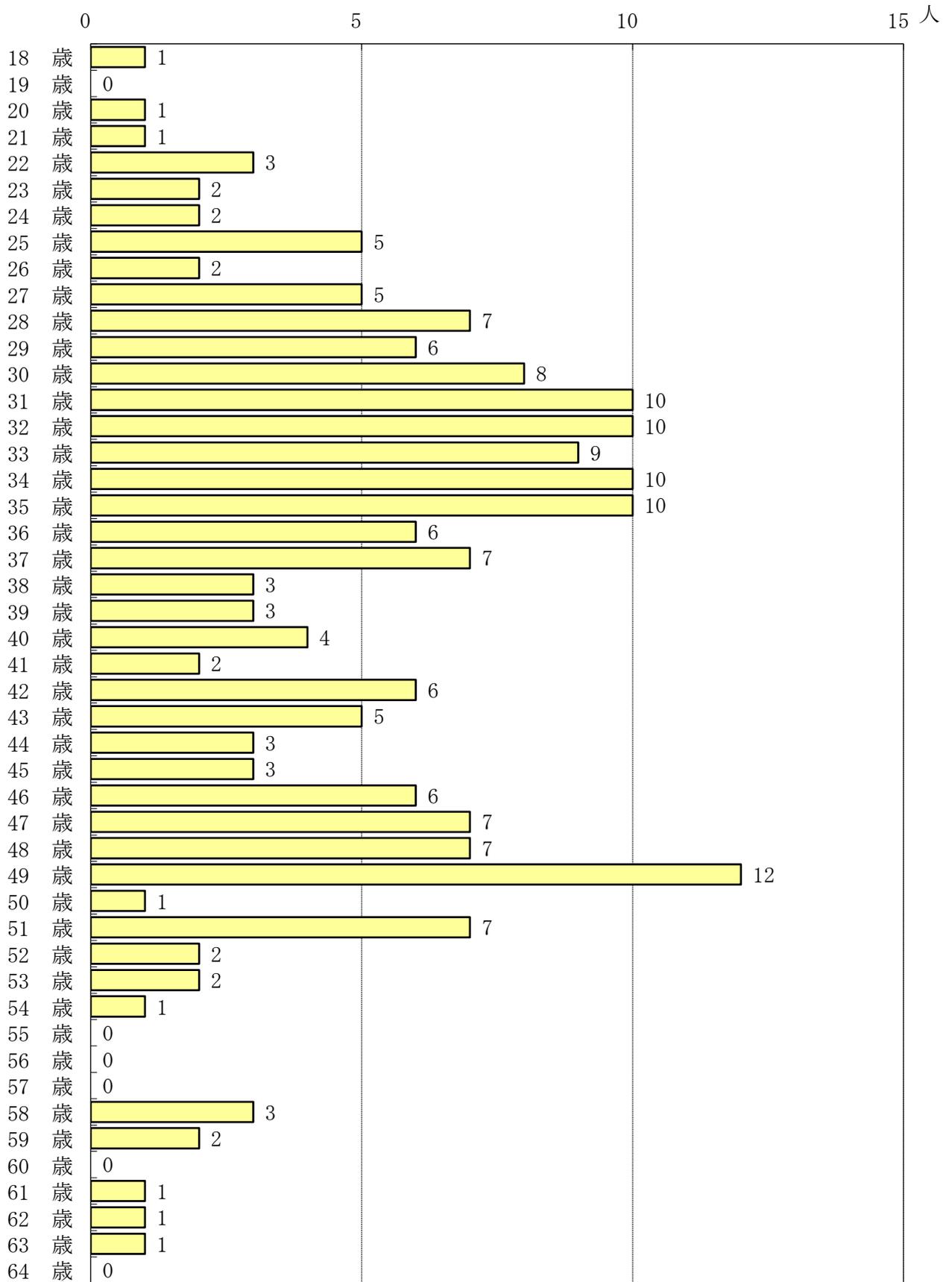
# 消防職員階級別年齢

(令和7年4月1日現在)

階級 年齢	合計	消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防士	事務吏員
平均年齢	37.8	59.0	54.2	48.8	41.0	33.8	27.0	
合計	187	1	10	27	58	54	37	
18歳	1						1	
19歳								
20歳	1						1	
21歳	1						1	
22歳	3						3	
23歳	2						2	
24歳	2						2	
25歳	5						5	
26歳	2					1	1	
27歳	5					2	3	
28歳	7					2	5	
29歳	6					3	3	
30歳	8					6	2	
31歳	10				1	8	1	
32歳	10					6	4	
33歳	9				1	6	2	
34歳	10				5	4	1	
35歳	10				5	5		
36歳	6				4	2		
37歳	7				4	3		
38歳	3				2	1		
39歳	3				3			
40歳	4				4			
41歳	2				2			
42歳	6				6			
43歳	5				5			
44歳	3				3			
45歳	3			1	2			
46歳	6			2	3	1		
47歳	7			3	3	1		
48歳	7			4	2	1		
49歳	12			11		1		
50歳	1			1				
51歳	7		4	3				
52歳	2		1	1				
53歳	2		1		1			
54歳	1			1				
55歳								
56歳								
57歳								
58歳	3		3					
59歳	2	1	1					
60歳								
61歳	1				1			
62歳	1				1			
63歳	1					1		
64歳								

# 消防職員年齢構成図

(令和7年4月1日現在)



# 学校等教育状況

(過去10年)

種 別		年度 (H:平成 R:令和)										計	
		R6	R5	R4	R3	R2	R1	H30	H29	H28	H27		
宮 城 県 消 防 学 校	初 任 総 合 教 育		1		2	2	4	2	3	3	9	11	37
	専 科 教 育	警 防 科		2		2		2	2		2		10
		火 災 調 査 科		2		2		2	2	2	2	2	14
		予 防 査 察 科		2		2	2	2	2	2		2	14
		危 険 物 科	2		2		2		2		2		10
		特 殊 災 害 科	2		2			2		2		2	10
		救 助 科											
	幹 部 教 育	初 級 幹 部 科	2		2		2		2		2	2	12
		中 級 幹 部 科		2		2		2		2		2	10
		上 級 幹 部 科			1			1		1			3
	特 別 教 育	はしご自動車操作									1		1
		薬 剤 投 与 講 習											
		救 急 救 命 士 再 教 育	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	20
		救 急 救 命 士 処 置 拡 大			2	20	8	3	8	8	8	4	61
		指 揮 隊 長 教 育			2			1		1	1	1	6
		救 助 隊 長 教 育									1		1
		救 急 隊 員 再 教 育	2	2				2					6
		救 助 隊 員 再 教 育	2	2	2	2		2	2	2			14
		通 信 指 令 員 教 育 講 習		2		2							4
女 性 消 防 吏 員 教 育		1	1									2	
小 計		14	17	17	36	20	23	25	26	29	28	235	
消 防 大 学 校	総 合 教 育	幹 部 科	1	1	1	2	1				1	1	8
	専 科 教 育	警 防 科		1				1					2
		救 助 科											
		救 急 科										1	1
		予 防 科						1					1
		危 険 物 科			1								1
		火 災 調 査 科							1				1
実 務 講 習	女 性 活 躍 推 進 コー ス						1					1	
小 計		1	2	2	2	2	2	1		1	2	15	
救 急 救 命 東 京 研 修 所		2	2	2	2	2	2	2	1	1	2	18	
合 計		17	21	21	40	24	27	28	27	31	32	268	

# 職員資格取得状況

(令和7年4月1日現在)

階 級		総 数	消防司令長 以上	消防司令	消 防 司 令 補	消防士長	消 防 士	
種 別	消防吏員数							
		187	11	27	58	54	37	
大 型 免 許	2 種	12		5	5	2		
	1 種	128	7	18	49	41	13	
	特 殊	12	1		7	3	1	
	けん引	4			1	2	1	
中 型 免 許	2 種	7	1		6			
	1 種	118	11	27	49	21	10	
準中型免許	1 種	61			9	31	21	
普 通 免 許	2 種	12		2	9	1		
	1 種	31			2	12	17	
自 動 2 輪	普 通	64	4	6	29	16	9	
	大 型	28	3	3	15	6	1	
整 備 管 理 者		3	1	2				
救 急 救 命 士		57	5	7	17	19	9	
	気管挿管認定	45	5	7	17	14	2	
	ビデオ喉頭鏡認定	35		7	15	11	2	
	薬剤投与認定	57	5	7	17	19	9	
	ブドウ糖投与等認定	51	1	7	15	19	9	
潜 水 士		51	1	13	22	11	4	
小 型 船 舶 操 縦 士	1 級	12		3	8	1		
	2 級	33	2	12	13	4	2	
無 線	陸 上 特 殊	1 級	5		2	1	2	
		2 級	103	2	5	20	44	32
		3 級	71	4	23	35	8	1
		国内電信級	1				1	
	海 上 特 殊	1 級	6			1	2	3
		2 級	13	1	4	8		
ア マ チュア	4 級							
	電話級							
小 型 移 動 式 ク レ ーン		67	7	19	28	9	4	
玉 掛 技 能		67	7	19	30	8	3	
特定化学物質等作業主任者		2	2					
特別管理産業廃棄物管理責任者		16	2	7	7			
アセチレンガス溶接士		25	1	1	14	6	3	
電 気 工 事 士	1 種	1					1	
	2 種	7		1	4		2	
衛 生 管 理 者	第 1 種	1			1			
	第 2 種	7	3	3		1		
危 険 物 取 扱 者	甲 種	3		1	2			
	乙 種	179	8	27	57	53	34	
消 防 設 備 士	甲 種	1		1				
	乙 種	19	1	3	9	4	2	
予 防 技 術 資 格 者	予 防 査 察	99	1	11	40	32	15	
	消防用設備等	34	1	6	18	7	2	
	危 険 物	48	2	6	25	10	5	

# 予 防



「令和6年秋の火災予防運動ポスター」  
第13回 消防絵画コンクール 最優秀賞  
気仙沼市立九条小学校 前田莉結 さん

# 防 火 対 象 物

消防法第17条対象物数

(令和7年3月31日現在)

署 所 別 用 途 別			合 計	気 仙 沼 市					南 三 陸 町	
				気 仙 沼 消 防 署	本 吉 分 署	唐 桑 出 張 所	古 町 出 張 所	大 島 出 張 所	南 三 陸 消 防 署	歌 津 出 張 所
1	イ	劇場・映画館・演芸場等	5	1	1		1		1	1
	ロ	公会堂・集会場	137	32	31	15	14	4	29	12
2	イ	キャバレー・カフェー・ナイトクラブ等								
	ロ	遊技場・ダンスホール	9	5			4			
	ハ	性風俗関連特殊営業店舗等								
3	ニ	カラオケボックス等	3	3						
	イ	待合・料理店等								
4	ロ	飲食店	56	19	6	1	21	2	5	2
	百貨店・マーケット・店舗等		148	73	9	3	42		19	2
5	イ	旅館・ホテル・宿泊所等	67	10	3	8	6	16	15	9
	ロ	寄宿舎・下宿・共同住宅	294	150	5	1	94		36	8
6	イ	(1) 病院等								
		(2) 診療所等								
		(3) 助産所等(入所施設有)	9	2			7			
		(4) 助産所等(入所施設無)	25	14	3	1	5	1	1	
	ロ	(1) 養護老人ホーム等	36	7	6	4	11	2	4	2
		(2) 救護施設								
		(3) 乳児院								
		(4) 障害児入所施設								
		(5) 障害者支援施設等	9		3	5	1			
	ハ	(1) 老人デイサービスセンター等	19	5	5		6		1	2
		(2) 更生施設								
		(3) 助産施設・保育所等	24	6	2	1	11	1	1	2
		(4) 児童発達支援センター等	2	1			1			
(5) 身体障害者福祉センター等		17	7	1	6	1			2	
ニ	幼稚園・特別支援学校	14	3	3	2	4		2		
7	学 校 ・ 各 種 学 校 等		91	31	15	4	21	1	13	6
8	図 書 館 ・ 博 物 館 ・ 美 術 館 等		6	2		2			1	1
9	イ	蒸気浴場・熱気浴場等								
	ロ	イに掲げる以外の公衆浴場								
10	車 両 の 停 車 場 等		1				1			
11	神 社 ・ 寺 院 ・ 教 会 等		63	12	11	7	16	4	10	3
12	イ	工 場 ・ 作 業 場	444	181	43	26	88	5	69	32
	ロ	映画スタジオ・テレビスタジオ	1				1			
13	イ	自動車車庫・駐車場	22	8	1		9		1	3
	ロ	飛行機などの格納庫								
14	倉 庫		342	157	30	16	68	7	50	14
15	前各項に該当しない事業場		352	155	31	21	86	5	42	12
16	イ	特定部分を含む複合用途防火対象物	196	92	7	8	56	7	22	4
	ロ	イ以外の複合用途防火対象物	106	64	4	5	23		6	4
16の2	地 下 街									
16の3	準 地 下 街									
17	文 化 財 等		8				6		2	
合 計			2,506	1,040	220	136	604	55	330	121

用途別消防用設備等の設置状況

(令和7年3月31日現在)

消防用設備等 用途別			消 火 設 備			警 報 設 備			避 難 設 備	
			消 火 器	屋 内 消 火 栓	ク ス プ ラ リ ン	報 自 知 動 設 火 備 災	警 漏 報 電 報 火 器 災	警 非 報 設 備 常	避 難 器 具	誘 導 灯
1	イ	劇場・映画館・演芸場等	5	2	1	3		3		5
	ロ	公会堂・集会場	75	6		29	1	58	1	65
2	イ	キャバレー・カフェー・ナイトクラブ等								
	ロ	遊技場・ダンスホール	10			9		6	1	9
	ハ	性風俗関連特殊営業店舗等								
3	イ	待合・料理店等								
	ロ	飲食店	155			18	1	26	7	107
4		百貨店・マーケット・店舗等	150	17	2	80		45		153
5	イ	旅館・ホテル・宿泊所等	69	16	3	102	16	10	8	88
	ロ	寄宿舎・下宿・共同住宅	297	1		99		1	56	11
6	イ	(1) 病院等								
		(2) 診療所等								
		(3) 助産所等（入所施設有）	9	1	3	12	2	4	1	7
		(4) 助産所等（入所施設無）	27			12		3	2	26
	ロ	(1) 養護老人ホーム等	37	2	37	36			2	36
		(2) 救護施設								
		(3) 乳児院								
		(4) 障害児入所施設								
		(5) 障害者支援施設等	9		7	9				7
	ハ	(1) 老人デイサービスセンター等	18	2		8		2	1	20
		(2) 更生施設								
		(3) 助産施設・保育所等	22	4		18	2	1		14
		(4) 児童発達支援センター等	2			1				5
		(5) 身体障害者福祉センター等	17			14		1	1	18
	ニ	幼稚園・特別支援学校	14	2		10	3	1		11
7		学校・各種学校等	86	57		74		4	16	13
8		図書館・博物館・美術館等	5	2		2		3	1	3
9	イ	蒸気浴場・熱気浴場等								1
	ロ	イに掲げる以外の公衆浴場								2
10		車両の停車場等								
11		神社・寺院・教会等	51	2		4	2	27		7
12	イ	工場・作業場	438	70		191	2	3	1	81
	ロ	映画スタジオ・テレビスタジオ								1
13	イ	自動車車庫・駐車場	43			8				31
	ロ	飛行機などの格納庫								
14		倉庫	344	31		96	1	1		63
15		前各項に該当しない事業場	257	24		77	1	47	12	146
16	イ	特定部分を含む複合用途防火対象物	180	6	8	107	1	24	14	147
	ロ	イ以外の複合用途防火対象物	75	8		23	2	6	1	22
16の2		地下街								
16の3		準地下街								
17		文化財等	6			7	3		1	3
合 計			2,404	253	61	1,052	37	277	127	1,105

用途別予防査察状況

(令和6年度中)

用途別 署所別			合計	気仙沼市					南三陸町	
				気仙沼消防署	本吉分署	唐桑出張所	古町出張所	大島出張所	南三陸消防署	歌津出張所
1	イ	劇場・映画館・演芸場等	1							1
	ロ	公会堂・集会場	58	7	13	8	3	10	10	7
2	イ	キャバレー・カフェー・ナイトクラブ等								
	ロ	遊技場・ダンスホール								
	ハ	性風俗関連特殊営業店舗等								
	ニ	カラオケボックス等								
3	イ	待合・料理店等								
	ロ	飲食店	40	5	5	2	5	11	8	4
4		百貨店・マーケット・店舗等	41	5	7	4	13	1	8	3
5	イ	旅館・ホテル・宿泊所等	42		2	4		15	13	8
	ロ	寄宿舎・下宿・共同住宅	14			1	1		10	2
6	イ	(1) 病院等								
		(2) 診療所等								
		(3) 助産所等(入所施設有)	2				2			
		(4) 助産所等(入所施設無)	12	2	3	1	4	2		
	ロ	(1) 養護老人ホーム等	19	1	6	4	1	3	3	1
		(2) 救護施設								
		(3) 乳児院								
		(4) 障害児入所施設								
		(5) 障害者支援施設等	8		3	5				
	ハ	(1) 老人デイサービスセンター等	8	1	4		1			2
		(2) 更生施設								
		(3) 助産施設・保育所等	6		2	2		1		1
		(4) 児童発達支援センター等								
		(5) 身体障害者福祉センター等	8		3	5				
	ニ	幼稚園・特別支援学校	5		2	2			1	
7		学校・各種学校等	33	6	7	4		1	9	6
8		図書館・博物館・美術館等	1							1
9	イ	蒸気浴場・熱気浴場等	1			1				
	ロ	イに掲げる以外の公衆浴場								
10		車両の停車場等								
11		神社・寺院・教会等	27	2	4	5	5	5	4	2
12	イ	工場・作業場	86	46	11	3	6	5	13	2
	ロ	映画スタジオ・テレビスタジオ								
13	イ	自動車車庫・駐車場	13		8		1	3		1
	ロ	飛行機などの格納庫								
14		倉庫	67	21	19	6	5	7	7	2
15		前各項に該当しない事業場	60	13	9	7	10	5	13	3
16	イ	特定部分を含む複合用途防火対象物	35	11	4	2	3	10	4	1
	ロ	イ以外の複合用途防火対象物	20	13	1	2	2		1	1
16の2		地下街								
16の3		準地下街								
17		文化財等	5				3		2	
合計			612	133	113	68	65	79	106	48

用途別	区分		対法第17条対象物数	法第8条対象物数		中高層建築物					
				甲種	乙種	3階	4階	5階	6階	7階	8階以上
1	イ	劇場・映画館・演芸場等	5	3	1	1					
	ロ	公会堂・集会場	137	31	145	2					
2	イ	キャバレー・カフェー・ナイトクラブ等									
	ロ	遊技場・ダンスホール	9	9							
	ハ	性風俗関連特殊営業店舗等									
	ニ	カラオケボックス等	3	2	1						
3	イ	待合・料理店等									
	ロ	飲食店	56	16	39	1					
4	百貨店・マーケット・店舗等		148	79	43	4					
5	イ	旅館・ホテル・宿泊所等	67	42	6	5		2	4		3
	ロ	寄宿舎・下宿・共同住宅	294	25		80	21	16	3	1	5
6	イ	(1) 病院等									
		(2) 診療所等									
		(3) 助産所等（入所施設有）	9	3		2	1	2			
		(4) 助産所等（入所施設無）	25	6		2					
	ロ	(1) 養護老人ホーム等	36	30		2	2				
		(2) 救護施設									
		(3) 乳児院									
		(4) 障害児入所施設									
		(5) 障害者支援施設等	9	3							
	ハ	(1) 老人デイサービスセンター等	19	5	5	1	2				
		(2) 更生施設									
		(3) 助産施設・保育所等	24	14	3	1					
		(4) 児童発達支援センター等	2	1							
		(5) 身体障害者福祉センター等	17	3	2						
ニ	幼稚園・特別支援学校	14	8	2	1						
7	学校・各種学校等		91	33		25	5	1			
8	図書館・博物館・美術館等		6	2	1	1	1				
9	イ	蒸気浴場・熱気浴場等									
	ロ	イに掲げる以外の公衆浴場									
10	車両の停車場等		1								
11	神社・寺院・教会等		63	23	5		1				
12	イ	工場・作業場	444	18		17	3	2			
	ロ	映画スタジオ・テレビスタジオ	1								
13	イ	自動車車庫・駐車場	22			2					
	ロ	飛行機などの格納庫									
14	倉庫		342			9	1				
15	前各項に該当しない事業場		352	48	13	39	5	7	2		
16	イ	特定部分を含む複合用途防火対象物	196	107	26	45	6	4	1	2	1
	ロ	イ以外の複合用途防火対象物	106	13		13	2				
16の2	地下街										
16の3	準地下街										
17	文化財等		8		2	1					
合 計			2,506	524	294	254	50	34	10	3	9

防火管理者を要する対象物

(令和7年3月31日現在)

署所別 用途別			合計		気仙沼市										南三陸町			
					気仙沼消防署		本吉分署		唐桑出張所		古町出張所		大島出張所		南三陸消防署		歌津出張所	
					甲	乙	甲	乙	甲	乙	甲	乙	甲	乙	甲	乙	甲	乙
1	イ	劇場・映画館・演芸場等	3	1	1		1					1						
	ロ	公会堂・集会場	31	145	8	31	6	27	1	15	7	21	1	9	5	31	3	11
2	イ	キャバレー・カフェー・ナイトクラブ等																
	ロ	遊技場・ダンスホール	9		5					4								
	ハ	性風俗関連特殊営業店舗等																
3	イ	待合・料理店等																
	ロ	飲食店	16	39	7	16	2	1		1	6	13		3	1	5		
4		百貨店・マーケット・店舗等	79	43	43	21	4	2	1	1	23	12			8	6		1
5	イ	旅館・ホテル・宿泊所等	42	6	9		2	1	3	4	4		10	1	10		4	
	ロ	寄宿舎・下宿・共同住宅	25		10						11				3		1	
6	イ	(1) 病院等																
		(2) 診療所等																
		(3) 助産所等(入所施設有)	3		1						2							
		(4) 助産所等(入所施設無)	6		3	1		1		1								
	ロ	(1) 養護老人ホーム等	30		7	4		3		9		2			3		2	
		(2) 救護施設																
		(3) 乳児院																
		(4) 障害児入所施設																
		(5) 障害者支援施設等	3			2		1										
	ハ	(1) 老人デイサービスセンター等	5	5	1	2	3	1			2							1
		(2) 更生施設																
		(3) 助産施設・保育所等	14	3	4	1	1		1		4	2	1		1		2	
		(4) 児童発達支援センター等	1		1													
		(5) 身体障害者福祉センター等	3	2	2	1				1								1
	ニ	幼稚園・特別支援学校	8	2	2		3				2	1			1	1		
7		学校・各種学校等	33		10		5		2		8				5		3	
8		図書館・博物館・美術館等	2	1	1				1						1			
9	イ	蒸気浴場・熱気浴場等																
	ロ	イに掲げる以外の公衆浴場																
10		車両の停車場等																
11		神社・寺院・教会等	23	5	4	3	5		3		6	2	3		1		1	
12	イ	工場・作業場	18		11		3				2				2			
	ロ	映画スタジオ・テレビスタジオ																
13	イ	自動車車庫・駐車場																
	ロ	飛行機などの格納庫																
14		倉庫																
15		前各項に該当しない事業場	48	13	16	3	3	3	5	3	19	1		1	5	2		
16	イ	特定部分を含む複合用途防火対象物	107	26	39	17	6		9	1	28	5	4	1	15	2	6	
	ロ	イ以外の複合用途防火対象物	13		7		1		1		2				1		1	
16の2		地下街																
16の3		準地下街																
17		文化財等		2							1				1			
合計			524	294	194	96	52	35	32	26	138	61	21	15	62	49	25	12

# 建 築 同 意 事 務

(令和6年度中)

用 途 別		署 所 別	合 計	気 仙 沼 市				南 三 陸 町	
				気仙沼消防署	本吉分署	唐桑出張所	大島出張所	南三陸消防署	歌津出張所
1	イ	劇場・映画館・演芸場等	2						
	ロ	公会堂・集会場		1		1			
2	イ	キャバレー・カフェー・ナイトクラブ等	2						
	ロ	遊技場・ダンスホール			2				
	ハ	性風俗関連特殊営業店舗等							
	ニ	カラオケボックス等							
3	イ	待合・料理店等	6						
	ロ	飲食店		2	2		2		
4		百貨店・マーケット・店舗等	6	4				2	
5	イ	旅館・ホテル・宿泊所等	3					2	1
	ロ	寄宿舎・下宿・共同住宅	5	4		1			
6	イ	(1) 病院等	1						
		(2) 診療所等							
		(3) 助産所等（入所施設有）							
		(4) 助産所等（入所施設無）		1	1				
	(5) 養護老人ホーム等								
	ロ	(1) 救護施設	2						
		(2) 乳児院							
		(3) 障害児入所施設							
		(4) 障害者支援施設等		2		2			
		(5) 老人デイサービスセンター等							
	ハ	(1) 更生施設	1						
		(2) 助産施設・保育所等		1	1				
		(3) 児童発達支援センター等							
		(4) 身体障害者福祉センター等							
		(5) 幼稚園・特別支援学校							
7		学 校 ・ 各 種 学 校 等							
8		図 書 館 ・ 博 物 館 ・ 美 術 館 等							
9	イ	蒸気浴場・熱気浴場等							
	ロ	イに掲げる以外の公衆浴場							
10		車 両 の 停 車 場 等	1				1		
11		神 社 ・ 寺 院 ・ 教 会 等							
12	イ	工 場 ・ 作 業 場	5	3				1	1
	ロ	映画スタジオ・テレビスタジオ							
13	イ	自動車車庫・駐車場	5	3				1	1
	ロ	飛行機などの格納庫							
14		倉 庫	11	10		1			
15		前各項に該当しない事業場	9	5	1			3	
16	イ	特定部分を含む複合用途防火対象物	1	1					
	ロ	イ以外の複合用途防火対象物							
16の2		地 下 街							
16の3		準 地 下 街							
		専 用 住 宅	18	18					
		併 用 住 宅							
		そ の 他	8	8					
合 計			86	61	5	5	3	9	3

※古町出張所管内分については、気仙沼消防署で審査している。

# 危 険 物

危険物施設

(令和7年3月31日現在)

署 所 別  製造所等別		合 計	気 仙 沼 市					南 三 陸 町	
			気 仙 沼 消 防 署	本 吉 分 署	唐 桑 出 張 所	古 町 出 張 所	大 島 出 張 所	南 三 陸 消 防 署	歌 津 出 張 所
合 計		277	140	29	9	30	11	44	14
製 造 所									
貯  蔵  所	小 計	179	97	14	5	17	9	30	7
	屋 内	23	10	3		5	2	2	1
	屋 外 タ ン ク	22	15	1		1		5	
	屋 内 タ ン ク	5	4			1			
	地 下 タ ン ク	52	20	4	3	10	1	12	2
	簡 易 タ ン ク								
	移 動 タ ン ク	65	41	5	1		3	11	4
	屋 外	12	7	1	1		3		
取  扱  所	小 計	98	43	15	4	13	2	14	7
	給 油	44	17	6	3	6	2	5	5
	第 一 種 販 売								
	第 二 種 販 売								
	一 般	53	25	9	1	7		9	2
	移 送	1	1						

危険物施設の予防査察実施状況

(令和6年度中)

署所別 製造所等別		合計	気仙沼市					南三陸町	
			気仙沼消防署	本吉分署	唐桑出張所	古町出張所	大島出張所	南三陸消防署	歌津出張所
合計		168	83	18	9	9	11	25	13
製造所									
貯蔵所	小計	119	66	14	5	4	9	15	6
	屋内	13	6	3		1	2		1
	屋外タンク	7	5	1				1	
	屋内タンク	3	3						
	地下タンク	31	12	4	3	3	1	6	2
	簡易タンク								
	移動タンク	56	36	5	1		3	8	3
	屋外	9	4	1	1		3		
取扱所	小計	49	17	4	4	5	2	10	7
	給油	25	6	2	3	3	2	4	5
	第一種販売								
	第二種販売								
	一般	24	11	2	1	2		6	2
	移送								

危険物事務処理件数

(令和6年度中)

区分 製造所等別		許可		完成		完成検査前検査 (タンク検査)	仮 使 用	種 類 ・ 数 量 変 更	譲 渡 引 渡	廃 止 届	合 計
		設置	変更	設置	変更						
合計		1	13	1	10		8	3	2	6	44
製造所											
貯 蔵 所	小計	1	5	1	5		2	2	2	5	23
	屋内	1	1	1	1		1	1			6
	屋外タンク		1		1		1			1	4
	屋内タンク										
	地下タンク										
	簡易タンク										
	移動タンク		3		3			1	2	4	13
	屋外										
取 扱 所	小計		8		5		6	1		1	21
	給油		4		2		5				11
	第一種販売										
	第二種販売										
	一般		4		3		1	1		1	10
	移送										

# 民間防火組織

## 危険物安全協会結成状況

(令和7年4月1日現在)

名 称		結成年月日	会 員 数	摘 要
気仙沼本吉地区危険物安全協会		S48. 4. 24	91	
構成組織	気仙沼支部	S48. 4. 24	72	
	南三陸支部	S48. 4. 16	19	

## 女性防火クラブ結成状況

(令和7年4月1日現在)

ク ラ ブ 連 合 会 名	結成年月日	単位クラブ数	会員数	事 務 局 所 在 地
1 気 仙 沼 市	S56. 5. 28	7	905	気仙沼市赤岩五駄鱈43-2
2 唐 桑 町	S45. 6. 17	1	130	気仙沼市唐桑町只越346-13
3 本 吉 町	S50. 4. 9	38	3,411	気仙沼市本吉町津谷松尾1-1
4 南 三 陸 町	H21. 4. 1	27	2,025	南三陸町入谷字桜沢116-15
5 気仙沼本吉地区 女性防火クラブ連合会	S56. 8. 11	73	6,471	気仙沼市赤岩五駄鱈43-2

## 防火管理者協会結成状況

(令和7年4月1日現在)

名 称		結成年月日	会 員 数	摘 要
1	気 仙 沼 市	S42. 9. 28	137	
2	気 仙 沼 市 唐 桑 町	S52. 11. 21	35	
3	気 仙 沼 市 本 吉 町	S51. 8. 20	46	
4	南 三 陸 町	H26. 4. 22	89	
合 計			307	

幼年消防クラブ結成状況

(令和7年4月1日現在)

市 町 名		結成年月日	ク ラ ブ 数	ク ラ ブ 員 数	摘 要
1	気 仙 沼 市	S57. 6. 10	11	723	
2	気仙沼市唐桑町	H元. 12. 25	1	67	
3	気仙沼市本吉町	S59. 12. 4	4	31	
4	南三陸町志津川	S58. 3. 9	4	158	
5	南三陸町歌津	S56. 6 .4	2	61	
合 計			22	1,040	

少年消防クラブ結成状況

(令和7年4月1日現在)

市 町 名		結成年月日	ク ラ ブ 数	ク ラ ブ 員 数	摘 要
1	気 仙 沼 市	S63. 6. 4	12	299	
2	気仙沼市唐桑町	S55. 7. 17	1	17	
3	気仙沼市本吉町	H29. 4. 25	2	55	
4	南三陸町志津川	H29. 5. 19	5	396	
5	南三陸町歌津	H23. 2. 18	3	259	
合 計			23	1,026	

# 警 防



第50回広域消防技術大会(総合訓練, 署所対抗警防技術競技)

# 消 防 車 両

消防車両等の配置状況

(令和7年4月1日現在)

所 属 車 両	合 計	消 防 本 部	気 仙 沼 消 防 署	本 吉 分 署	唐 桑 出 張 所	古 町 出 張 所	大 島 出 張 所	南 三 陸 消 防 署	歌 津 出 張 所
合 計	38	8	9	4	3	3	3	5	3
消 防 ポ ン プ 自 動 車	8	1 <small>(非常用)</small>	1	1	1	1	1	1	1
水 槽 付 ポ ン プ 自 動 車	3	1 <small>(非常用)</small>		1				1	
化 学 車	1		1						
小 型 動 力 ポ ン プ 付 水 槽 車	1		1						
は し ご 車 ( 30m 級 )	1		1						
救 助 工 作 車	1		1						
水 難 救 助 車	1		1						
高 規 格 救 急 自 動 車	8	1 <small>(非常用)</small>	1	1	1	1	1	1	1
指 揮 車	4	2 <small>(非常用1)</small>	1					1	
広 報 車	6	1		1	1	1	1		1
資 機 材 搬 送 車	2		1					1	
事 務 連 絡 車	1	1							
人 員 輸 送 車	1	1							

消防車両等の配置現況

(令和7年4月1日現在)

所 属	名 称	車 名	登録年月	経過年数	無 線 呼 称
消 防 本 部	消防ポンプ車(非常用)	日 野	H18.01	19	本 部 ポンプ1
	水槽付ポンプ自動車 (非常用)	日 野	H14.12	22	〃 タンク1
	高規格救急車(非常用)	ト ヨ タ	H25.02	12	〃 救急1
	指 揮 車	三 菱	H19.03	18	〃 指揮1
	指揮車 (非常用)	ト ヨ タ	H15.02	22	〃 指揮2
	広 報 車	日 産	H25.03	12	〃 広報1
	事務連絡車	ト ヨ タ	R02.10	4	
人員輸送車	ト ヨ タ	R02.01	5		
気仙沼消防署	消防ポンプ自動車	日 野	H29.03	8	気仙沼 ポンプ1
	化 学 車	日 野	H22.12	14	〃 化学1
	小型動力ポンプ付水槽車	日 野	H10.03	27	〃 水槽1
	は し ご 車	日 野	H18.02	19	〃 梯子1
	救 助 工 作 車	日 野	H26.03	11	〃 救助1
	水 難 救 助 車	ト ヨ タ	H23.09	13	〃 救助2
	高規格救急自動車	ト ヨ タ	R02.10	4	〃 救急1
	指 揮 車	三 菱	H19.02	18	〃 指揮1
資 機 材 搬 送 車	日 野	H20.07	15	〃 搬送1	
本 吉 分 署	消防ポンプ自動車	日 野	H19.01	18	本 吉 ポンプ1
	水槽付ポンプ自動車	日 野	H31.03	6	〃 タンク1
	高規格救急自動車	ト ヨ タ	R05.10	2	〃 救急1
	広 報 車	三 菱	H20.07	16	〃 広報1
唐 桑 出 張 所	消防ポンプ自動車	日 野	H30.03	7	唐 桑 ポンプ1
	高規格救急自動車	ト ヨ タ	H28.12	8	〃 救急1
	広 報 車	三 菱	H26.11	10	〃 広報1
古 町 出 張 所	消防ポンプ自動車	日 野	H25.03	12	古 町 ポンプ1
	高規格救急自動車	ト ヨ タ	R01.08	5	〃 救急1
	広 報 車	ダ イ ハ ツ	R03.11	3	〃 広報1
大 島 出 張 所	消防ポンプ自動車	日 野	H24.02	13	大 島 ポンプ1
	高規格救急自動車	ト ヨ タ	H27.09	8	〃 救急1
	広 報 車	日 産	H24.03	13	〃 広報1
南三陸消防署	消防ポンプ自動車	日 野	H24.02	13	南三陸 ポンプ1
	水槽付ポンプ自動車	日 野	R02.03	5	〃 タンク1
	高規格救急自動車	ト ヨ タ	R02.10	4	〃 救急1
	指 揮 車	日 産	H24.03	13	〃 指揮1
	資 機 材 搬 送 車	日 野	H24.03	13	〃 搬送1
歌 津 出 張 所	消防ポンプ自動車	三 菱	R03.02	4	歌 津 ポンプ1
	高規格救急自動車	ト ヨ タ	H30.02	7	〃 救急1
	広 報 車	三 菱	H26.11	10	〃 広報1

# 消防力の整備指針と現有

## 消防本部・署所の人員

(算定人員は、消防施設整備計画実態調査：令和4年4月1日現在)

(現有人員数は令和7年4月1日現在)

区 分	整 備 台 数 (台)	搭 乗 人 員	搭乗人員 に対する 整備台数 (台)	算 定 人 員 (人)		現 有 人員数 (人)		
				整備台数に対する 算定人員				
整備台数に対する人員 (消防隊員・救急隊員・救助隊員・指揮隊員・指揮員)	消防ポンプ自動車	5人搭乗	1	15	111	177	143	
		4人搭乗	8	96				
		乗換運用	1	0				
	はしご自動車	5人搭乗	—	—	0			
		4人搭乗	—	—				
		乗換運用	1	0				
	化学消防車	5人搭乗	1	15	15			
		4人搭乗	—	—				
		乗換運用	—	—				
	大型化学車等 (三点セット)	0	—	—	—			
	消 防 艇	0	—	—	—			
	救 急 自 動 車	7	3人搭乗	2	18			18
			兼務運用	5	0			
	救 助 工 作 車	1	5人搭乗	1	15			15
	指 揮 車	2	3人搭乗	2	18			18
特殊車等	小型動力ポンプ付 水 槽 付 車	1	乗換運用	1	0	0		
	水 難 救 助 車	1	乗換運用	1	0			
	消 防 救 急 艇	1	乗換運用	—	0			
	資 機 材 搬 送 車	2	乗換運用	1	0			
	広 報 車	5	乗換運用	2	0			
非常用車両等	非常用ポンプ車	1						
	非常用救急車	1						
	指 揮 車	2						
通 信 員						9	10	
予 防 要 員						21	15	
専任の予防要員						15	9	
警防要員をもって充てる予防要員の数						6	6	
総務事務等の執行のために必要な人員						30	25	
消防本部及び署所の消防職員の総数						231	187	

- ※ 大型化学車等の三点セットとは、「大型化学消防車」、「大型高所放水車」、「泡原液搬送車」をいう。
- ※ 「消防救急艇」は、固定の消防ポンプを装備していないため特殊車等に計上。
- ※ 「人員輸送車」「連絡車」「バイク」は含めず。
- ※ 消防職員の総数に予防要員の「警防要員をもって充てる予防要員の数」は含めず。

署所及び動力消防ポンプの基準と現有

(消防施設整備計画実態調査：令和4年4月1日現在)

市町名	地域名	署所				動力消防ポンプ数												
		人口(人)	算定数	整備数	不足数	比率	署所管理分				消防団管理分							
							算定数	整備数	不足数	比率	算定数		整備数		不足数		比率	
											消防ポンプ自動車	小型引動力ポンプ	消防ポンプ自動車	小型引動力ポンプ	消防ポンプ自動車	小型引動力ポンプ	消防ポンプ自動車	小型引動力ポンプ
											(台)	(%)	(台)	(口)	(台)	(口)	(%)	(%)
①	ア	①-ア	ア/①×100	②	イ	②-イ	イ/②×100	③	④	ウ	エ	③-ウ	④-エ	ウ/③×100	エ/④×100			
気仙沼市	市街地	24,366	2	2	0	100	3	3	0	100	8	6	8	6	0	0	100	100
	準市街地	21,162	3	3	0	100	4	4	0	100	7	31	7	31	0	0	100	100
	その他	14,623				—				—	3	34	3	34	0	0	100	100
	計	60,151	5	5	0	100	7	7	0	100	18	71	18	71	0	0	100	100
南三陸町	市街地	—				—				—							—	—
	準市街地	5,424	2	2	0	100	3	3	0	100	1	14	1	14	0	0	100	100
	その他	6,794				—				—	1	25	1	25	0	0	100	100
	計	12,218	2	2	0	100	3	3	0	100	2	39	2	39	0	0	100	100
広域	市街地	24,366	2	2	0	100	3	3	0	100	8	6	8	6	0	0	100	100
	準市街地	26,586	5	5	0	100	7	7	0	100	8	45	8	45	0	0	100	100
	その他	21,417				—				—	4	59	4	59	0	0	100	100
	計	72,369	7	7	0	100	10	10	0	100	20	110	20	110	0	0	100	100

# 消 防 水 利

## 管内水利状況

(令和7年4月1日現在)

署 所 種 別		気仙沼消防署		大島出張所		唐桑出張所		本吉分署		南三陸消防署		歌津出張所		合 計		
合 計 (A) + (B) + (C)		1,209		104		138		387		304		164		2,306		
消 火 栓	小 計 (A)	地 上	495	50	81	166	25	29	846	970	68	86	201	176	71	1,572
		地 下	475	18	5	35	151	42	726							
	公 設	地 上	460	50	81	164	24	29	808							
		地 下	454	18	5	34	151	42	704							
	私 設	地 上	35			2	1		38							
		地 下	21			1			22							
	防 火 水 槽	小 計 (B)		225	35	49	183	122	91	705						
		40m <sup>3</sup> 以上		188	30	40	116	111	88	573						
40m <sup>3</sup> 未満		37	5	9	67	11	3	132								
プ ール (C)		14	1	3	3	6	2	29								

※ 古町出張所管轄の消防水利は気仙沼消防署に含まれる。

# 通信



消防救急デジタル無線

消防指令センター 指令台



# 通 信

通信施設の現況

(令和7年4月1日現在)

所 属 区 分		合 計	消 防 本 部	消 防 署 内					南 三 陸 消 防 署 内					
				気 管 氦 仙 沼	本 吉 分 署	唐 桑 出 張 所	古 町 出 張 所	大 島 出 張 所	小 計	南 三 陸 消 防 署	歌 津 出 張 所	小 計		
有 線	火 災 報 知 専 用 電 話	14	14											
	加 入	一 般 回 線	21	13		2	1	1	1	5	2	1	3	
		テ レ フ ォ ン サ ー ビ ス	1	1										
		F A X	7	1		1	1	1	1	4	1	1	2	
	I T 回 線	順 次 指 令 メ ー ル	1	1										
		N e t 119	1	1										
	指 令 ・ 無 線 専 用 回 線	13	5	1	1	1	1	1	5	2	1	3		
	直 通 電 話	3	2		1				1					
衛 星 携 帯 電 話		8	1	1	1	1	1	1	5	1	1	2		
自 動 車 ・ 携 帯 用 電 話		10	1	2	1	1	1	1	6	2	1	3		
デ ジ タ ル 無 線	消	固 定 局	5	5										
		基 地 局	3	3										
		中 継 局	1	1										
	防	陸 上 移 動 局	卓 上	6		1	1	1	1	4	1	1	2	
			可 搬	4	1	1				1	2		2	
			車 載	36	6	9	4	3	3	3	22	5	3	8
			携 帯	31	3	8	3	3	3	3	20	5	3	8
	車 両 運 用 端 末 装 置		35	5	9	4	3	3	3	22	5	3	8	
署 活 動 用 無 線 機		39	3	10	5	3	4	3	25	8	3	11		
IPハ イ ブ リ ッ ド 型		20	3	3	3	2	2	2	12	3	2	5		
IP無 線		1	1											

# 119番受信件数

(令和6年)

種別	月別												合計
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
火災	16	1	12	2	1	6	2	1	1			2	44
	(10)		(7)	(1)	(1)	(2)	(2)		(1)			(1)	(25)
救急	353	338	352	301	300	305	343	353	332	313	317	413	4,020
	携帯電話	(169)	(161)	(160)	(153)	(136)	(151)	(182)	(178)	(162)	(153)	(155)	(213)
救助	1	2	1	1	1	1	4	1	1	4	1		18
	(1)	(2)	(1)	(1)	(1)	(1)	(2)	(1)		(4)	(1)		(15)
その他災害	2	2		1	1	1	10	5	3	4	1	2	32
	(2)			(1)	(1)		(8)	(2)	(2)	(3)	(1)	(2)	(22)
誤り	14	8	6	12	11	12	10	15	11	11	15	13	138
	(9)	(7)	(4)	(3)	(8)	(11)	(8)	(12)	(8)	(9)	(13)	(10)	(102)
いたづら等	1			1		1	3				1		7
						(1)							(1)
訓練・演習	5		3	2	3	1			2	4	3	3	26
	(1)		(1)	(2)						(3)	(3)	(2)	(12)
試験	3	6	15	5	22	17	7	1	4	18	2	1	101
	(2)	(1)	(9)	(3)	(3)	(2)	(4)			(10)		(1)	(35)
その他	22	27	38	33	34	45	30	34	28	36	19	32	378
	(12)	(15)	(16)	(22)	(19)	(21)	(17)	(21)	(8)	(15)	(13)	(22)	(201)
119転送				2		2		1	2				7
				(2)		(2)		(1)	(2)				(7)
合計	417	384	427	360	373	391	409	411	384	390	359	466	4,771
	携帯電話	(206)	(186)	(198)	(188)	(169)	(191)	(223)	(215)	(183)	(197)	(186)	(251)

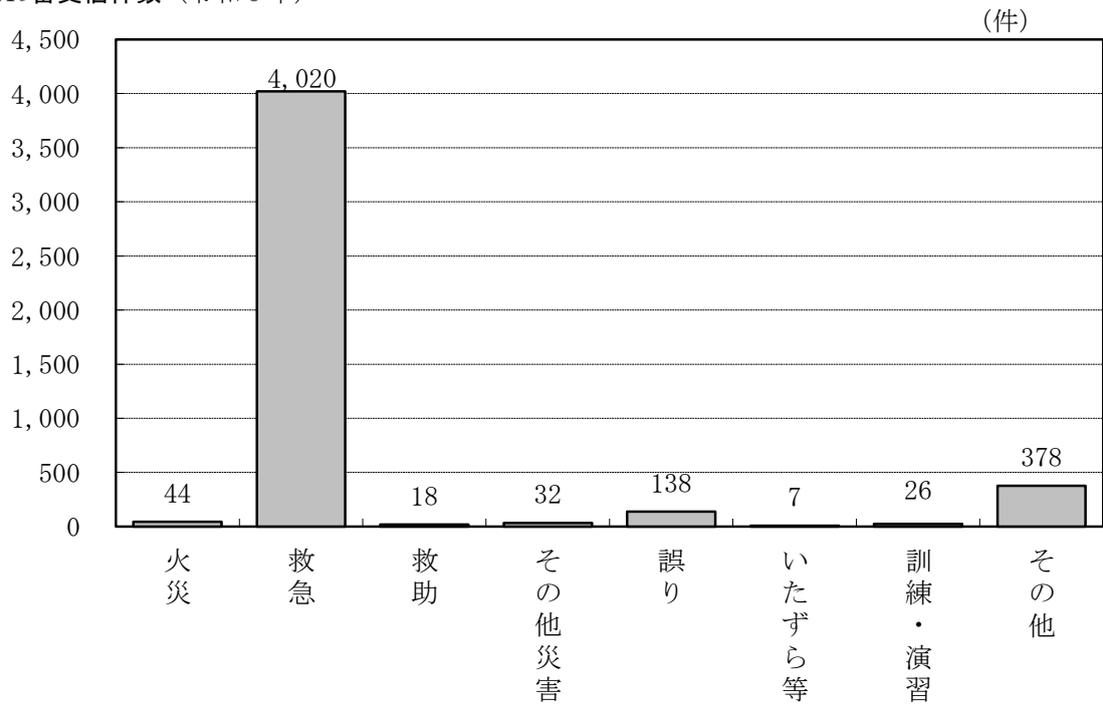
※( )は受信件数のうち、携帯電話からの入電件数。

※火災・救急・救助には第2報、第3報も含む。

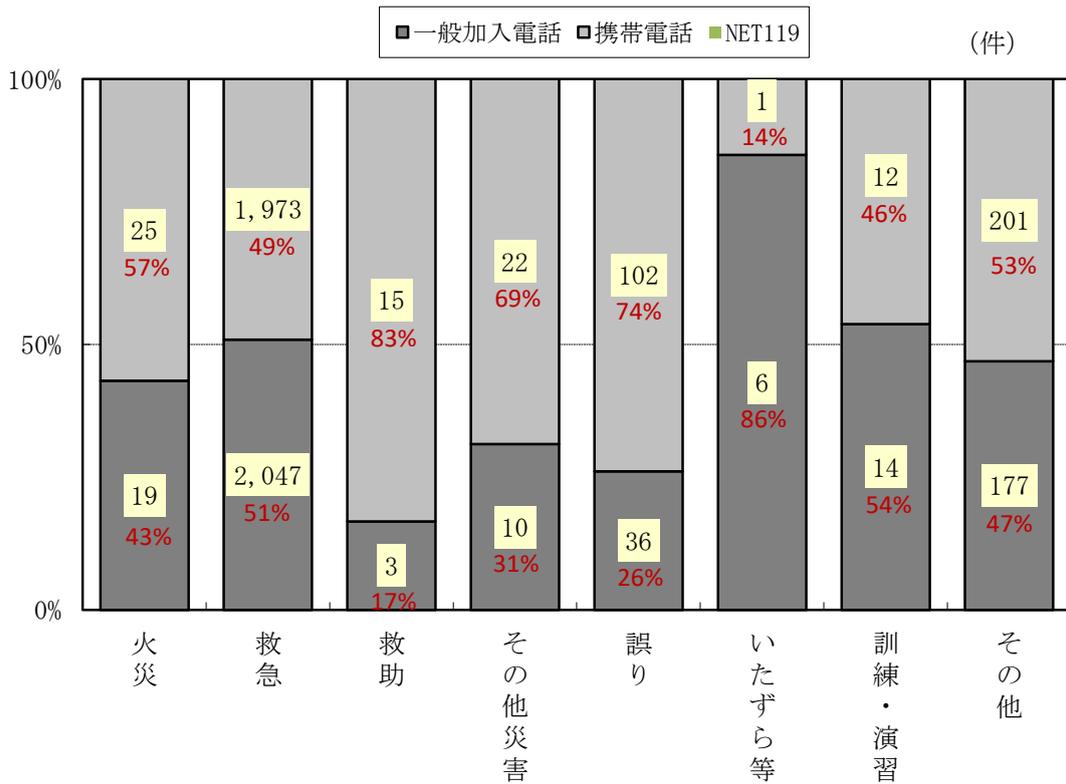
※「119転送」は、管轄外で発生している災害の119番通報(携帯電話や又聞き通報等)を管轄する消防本部へ転送した件数

※Net119, FAX119, メール119は災害のみ計上。

119番受信件数（令和6年）



119番通報 一般加入電話・携帯電話・NET119比率（令和6年）



※ 「NET119」による通報は無し。

**119番通報全体に占める携帯電話比率・・・50%**

※ 「試験」「携帯119転送」は除く。

# 通信系統図

(令和7年4月1日現在)



# 気 象 統 計

(令和6年)

気仙沼市(観測地:防災センター)																	
月	平均		最大瞬間		気温			湿度				気圧		雨量			
	風速	風向	風速	風向	平均	最高	最低	平均	最高	最低	実効	現地	海面	10分最大	時間最大	日最大	月積算
	(m/s)		(m/s)		(°C)			(%)				(hPa)		(mm)			
1月	2.0	北西	20.7	西北西	3.0	12.2	-5.9	71.3	96.9	35.2	71.3	1012.3	1015.5	3.0	10.0	75.0	110.0
2月	1.7	北西	17.5	西北西	3.4	18.5	-4.4	67.7	97.4	33.6	67.7	1016.8	1020.1	1.0	2.0	14.0	25.0
3月	2.1	北北西	22.4	西北西	4.9	17.7	-3.3	68.6	96.1	24.1	68.6	1009.7	1012.9	2.0	8.0	58.5	101.0
4月	1.7	北西	19.1	北西	13.4	27.8	1.9	73.7	97.5	17.7	72.6	1011.5	1014.6	3.0	12.0	69.0	98.0
5月	1.5	南東	18.6	西南西	16.1	26.8	6.8	74.0	97.4	17.7	73.6	1009.7	1012.8	3.5	13.5	44.5	76.0
6月	1.3	南東	9.8	西北西	19.7	30.5	10.4	83.9	97.5	34.4	83.4	1006.4	1009.5	6.5	13.0	31.0	84.0
7月	1.0	南東	14.9	西	24.4	35.3	17.3	83.9	97.5	22.7	83.8	1004.4	1007.3	5.0	15.0	32.5	180.5
8月	1.1	南東	17.7	西	25.7	33.0	21.2	90.8	97.7	56.6	89.8	1005.3	1008.2	4.0	13.0	81.0	177.0
9月	1.1	北北西	11.1	北東	22.1	31.5	10.9	89.4	97.7	46.6	89.8	1011.1	1014.1	3.0	12.5	48.0	161.5
10月	1.3	北北西	20.3	北西	16.7	29.0	4.8	84.1	97.7	36.6	84.7	1016.2	1019.3	2.5	6.0	14.5	52.0
11月	1.5	北北西	13.5	西	9.4	23.1	-0.8	78.5	97.5	35.2	78.4	1014.8	1018.0	2.5	8.5	20.5	45.0
12月	1.9	西北西	17.0	西北西	2.8	15.0	-4.2	74.1	97.5	35.2	74.3	1008.9	1012.2	1.5	2.0	2.0	3.5
平均値	1.5	北北西			13.5			78.3			78.2	1010.6	1013.7				
最高値	9.0	西北西	22.4	西北西		35.3			97.7		95.5	1032.1	1035.4	6.5	15.0	81.0	180.5
起時	3月18日		3月18日			7月23日			8月12日		8月31日	10月21日	10月21日	6月25日	7月8日	8月12日	7
最低値									-5.9		17.7	54.2	986.3	989.2			
起時						1月16日			4月2日	3月19日	8月12日	8月12日					
風向頻	北	北北東	北東	東北東	東	東南東	南東	南南東	南	南南西	南西	西南西	西	西北西	北西	北北西	静穏
%	5.8	0.0	2.3	1.0	1.2	2.3	17.1	3.3	2.0	0.0	0.2	0.7	3.0	12.3	22.5	25.6	0.7

南三陸町(観測地:南三陸消防署)																	
月	平均		最大瞬間		気温			湿度				気圧		雨量			
	風速	風向	風速	風向	平均	最高	最低	平均	最高	最低	実効	現地	海面	10分最大	時間最大	日最大	月積算
	(m/s)		(m/s)		(°C)			(%)				(hPa)		(mm)			
1月	1.4	西	21.3	西北西	2.9	12.2	-4.5	77.5	97.5	43.8	77.4	1013.6	1020.8	2.5	6.5	66.5	95.0
2月	1.3	西北西	20.1	西北西	3.4	18.9	-4.5	73.3	97.5	32.2	73.4	1018.2	1025.3	0.5	2.0	16.5	29.0
3月	1.6	西北西	18.6	西北西	4.8	17.6	-3.7	74.8	97.5	22.7	75.0	1011.0	1018.1	2.0	9.5	53.0	127.5
4月	1.3	東北東	16.7	西北西	13.4	32.4	0.2	76.7	97.7	21.9	75.9	1012.7	1019.6	2.5	11.0	58.5	70.0
5月	1.4	南南西	17.3	西	16.5	31.6	1.5	76.0	97.7	13.3	75.6	1010.9	1017.7	6.0	23.5	52.5	87.5
6月	1.2	東北東	11.9	東	20.1	32.8	4.5	85.5	98.3	36.3	85.0	1007.6	1014.3	3.0	13.5	28.0	81.5
7月	1.0	西	13.8	西	24.6	35.6	11.4	88.3	98.3	30.0	87.9	1005.7	1012.2	9.0	17.0	49.0	202.0
8月	1.0	東北東	16.8	南南西	25.9	34.1	21.1	93.9	98.6	53.0	93.1	1006.4	1012.9	6.5	23.0	60.0	137.0
9月	0.9	東北東	12.5	東北東	22.2	33.7	11.0	93.5	98.6	54.9	93.6	1012.3	1018.9	4.5	12.0	40.0	143.0
10月	0.8	北西	16.7	西北西	16.6	30.0	4.1	89.6	98.6	41.1	89.8	1017.5	1024.3	2.5	10.0	17.5	63.5
11月	0.9	西北西	13.9	西	9.1	22.7	-1.6	86.0	98.0	40.5	86.1	1016.2	1023.2	2.5	8.0	17.5	42.5
12月	1.3	西	15.8	西	2.5	19.8	-9.0	82.7	98.0	38.0	82.8	1010.4	1017.6	0.5	1.0	1.5	3.5
平均値	1.2	東北東			13.5			83.2			83.0	1011.9	1018.7				
最高値	8.1	西	21.3	西北西		35.6			98.6		96.9	1033.5	1040.7	9.0	23.5	66.5	202.0
起時	1月15日		1月15日			7月23日			8月12日		9月1日	10月21日	10月21日	7月8日	5月13日	1月21日	7
最低値									-9.0		13.3	58.4	990.1	996.5			
起時						12月23日			5月3日	4月2日	8月12日	8月12日					
風向頻	北	北北東	北東	東北東	東	東南東	南東	南南東	南	南南西	南西	西南西	西	西北西	北西	北北西	静穏
%	3.4	1.4	4.9	11.6	6.9	3.9	3.6	1.8	2.9	3.4	1.2	2.6	13.9	16.2	13.1	8.5	0.7

気象情報等の受信件数

(令和6年)

種 別		月 別												合計
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
警 報	波 浪	2	1	2					2					7
	大 雨													0
	洪 水													0
	暴 風	2	2	5		2			2					13
	大 雪													0
	暴 風 雪	1	1	1										3
	津 波													0
	大 津 波													0
	高 潮													0
警 報 計		5	4	8	0	2	0	0	4	0	0	0	0	23
注 意 報	乾 燥	7	4	9	3	5						1	4	33
	強 風	10	11	19	5	12	2	1	5	2	9	7	15	98
	波 浪	4	6	9	3	5	3		5	4	8	3	1	51
	大 雨								1	1				2
	洪 水	1			1				2					4
	雷			4	1	3	10	10	13	10	3	2	1	57
	濃 霧		1	1	7	5	8	4	7	8	8	9	2	60
	大 雪	1	1	1				1						4
	風 雪	3	1	2									4	10
	着 雪	1	1	1										3
	低 温	1												1
	霜			10	5	3					3	5		26
	高 潮													0
	津 波													0
注 意 報 計		28	25	56	25	33	23	16	33	25	31	27	27	349
警報・注意報計		33	29	64	25	35	23	16	37	25	31	27	27	372

# 管内消防団



消防団員講習会(気仙沼市消防団)

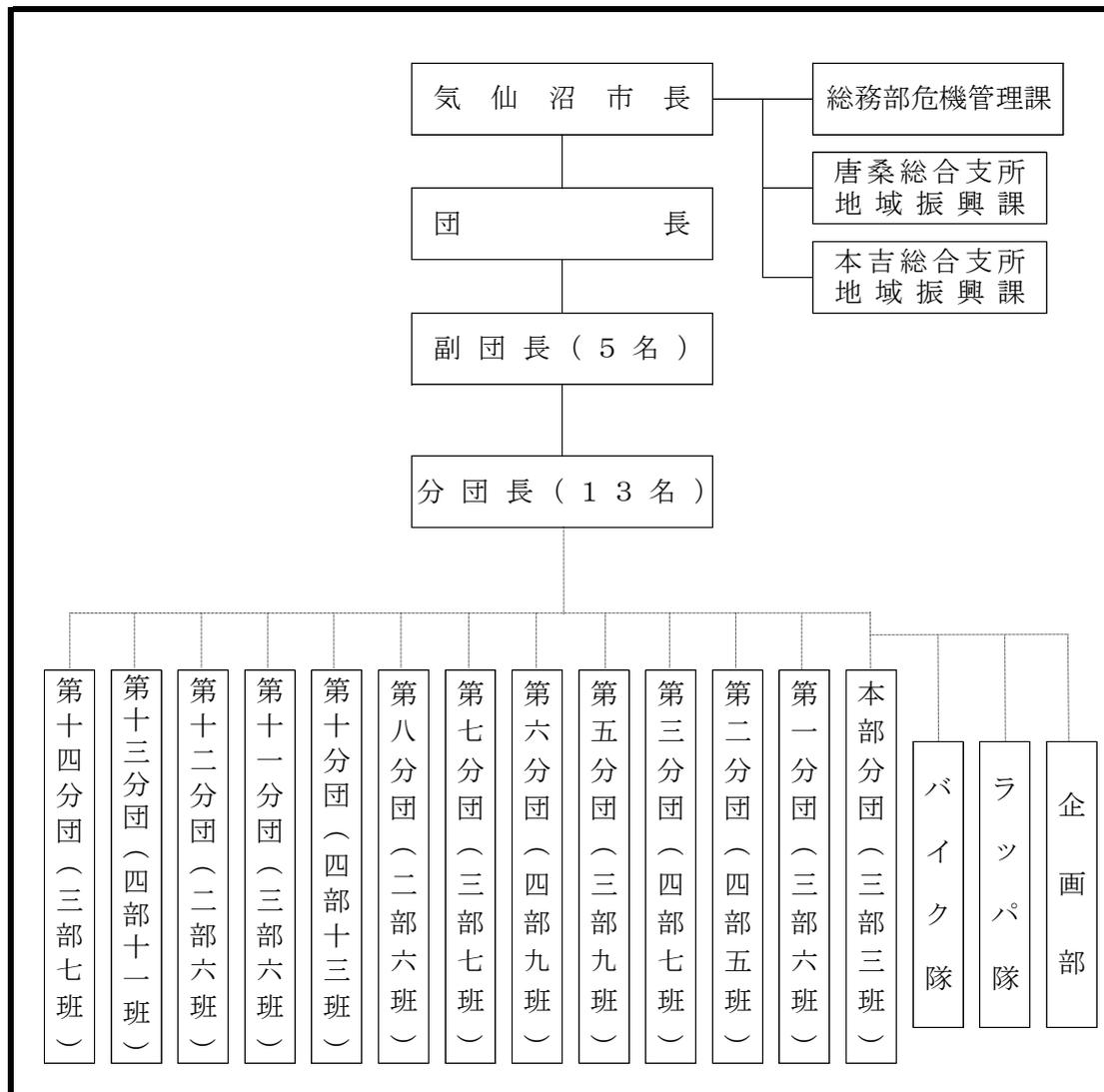


小型ポンプ操法(南三陸町消防団)

# 管内消防団

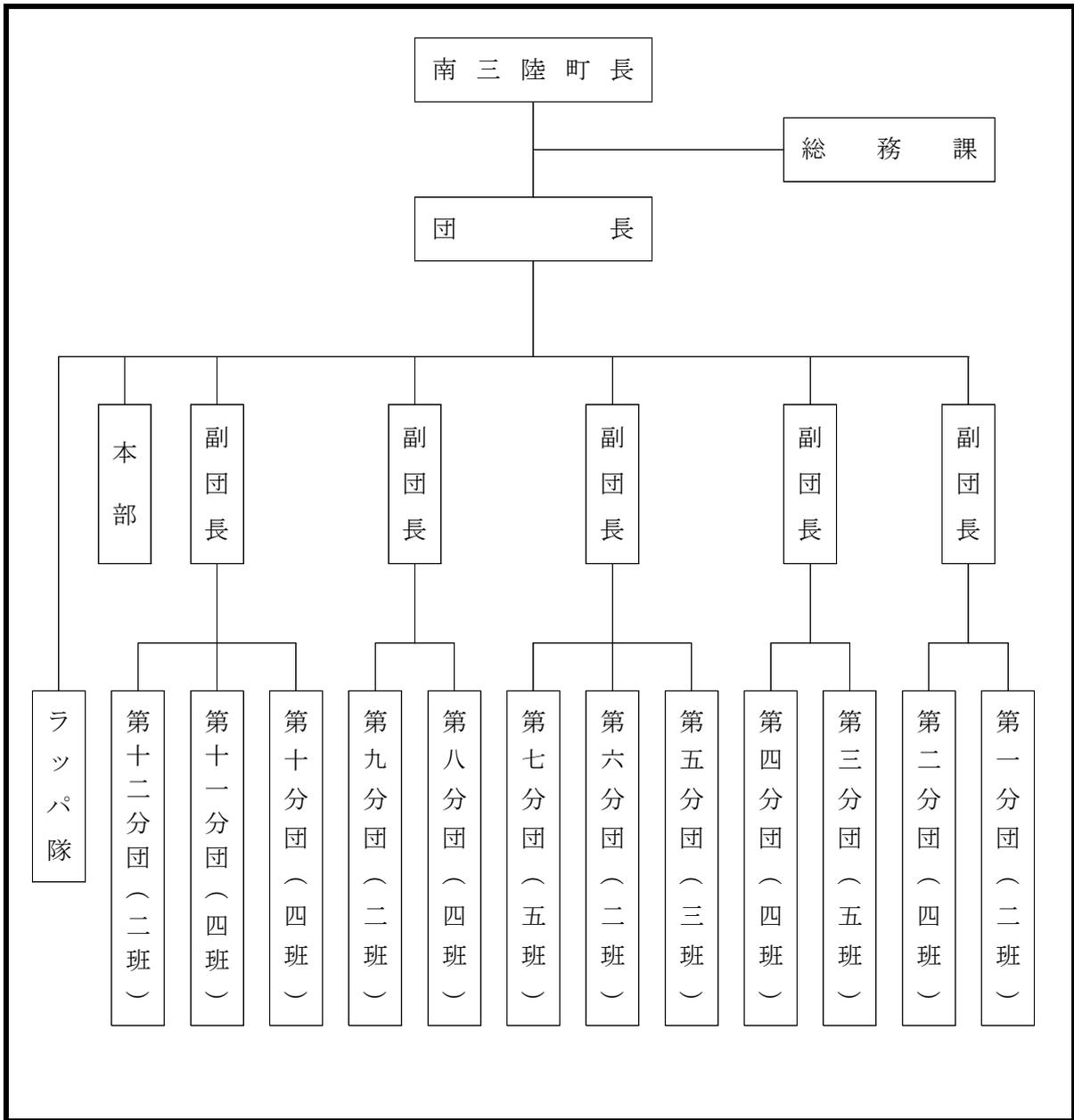
組織機構図：気仙沼市消防団

(令和7年4月1日現在)



組織機構図：南三陸町消防団

(令和7年4月1日現在)



組 織 (令和7年4月1日現在)

区 分	団 数	分 団 数	部 数	班 数	条例定員数	実 員 数
市 町						
気 仙 沼 市	1	13	43	100	800	644
南 三 陸 町	1	12		41	450	384
合 計	2	25	43	141	1,250	1,028

階級別消防団員数 (令和7年4月1日現在)

階 級	団 長	副 団 長	分 団 長	副 分 団 長	部 長	班 長	団 員	合 計
市 町								
気 仙 沼 市	1	5	13	26	41	97	461	644
南 三 陸 町	1	5	12	12		41	313	384
合 計	2	10	25	38	41	138	774	1,028

年齢別消防団員数 (令和7年4月1日現在)

年 齢	20歳未満	20～29	30～39	40～49	50～59	60歳以上	合 計
市 町							
気 仙 沼 市	1	24	96	187	197	139	644
南 三 陸 町	0	18	85	133	117	31	384
合 計	1	42	181	320	314	170	1,028

在職年数別消防団員数

(令和7年4月1日現在)

年 数	年 数							合 計
	5年未満	5年以上 10年未満	10年以上 15年未満	15年以上 20年未満	20年以上 25年未満	25年以上 30年未満	30年以上	
市 町								
気 仙 沼 市	81	111	89	104	76	57	126	644
南 三 陸 町	54	86	55	63	59	25	42	384
合 計	135	197	144	167	135	82	168	1,028

消防団員報酬

(令和7年4月1日現在) (単位：円)

報 酬	年 報 酬							出動報酬
	団 長	副団長	分団長	副分団長	部 長	班 長	団 員	
市 町								
気 仙 沼 市	94,900	77,300	59,200	50,200	42,000	39,000	36,500	5,400 (4時間以内の場合)
南 三 陸 町	162,600	118,800	89,700	80,400		71,400	36,600	4時間未満： 4000 4時間以上： 8000

消防施設の現況

(令和7年4月1日現在)

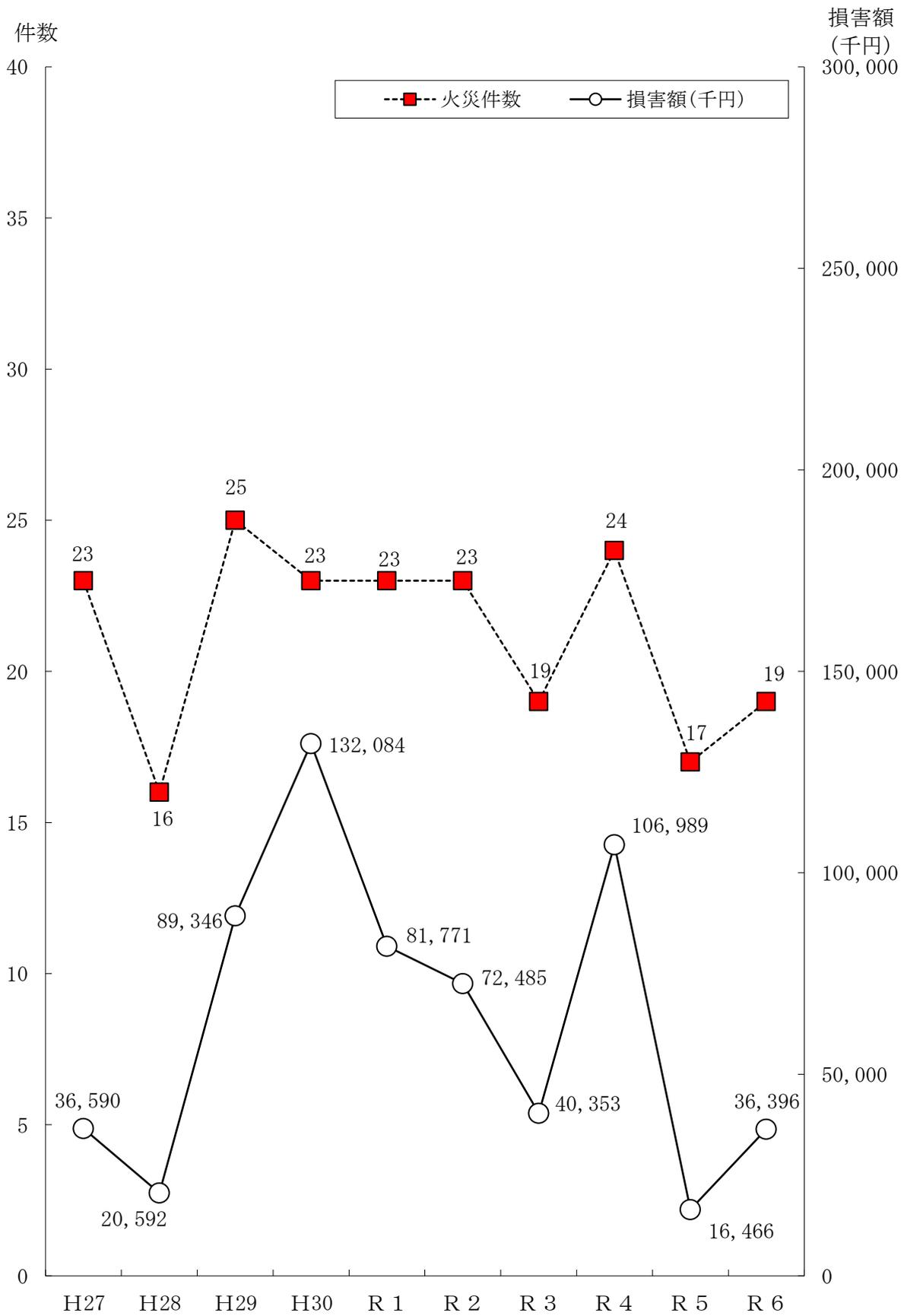
施 設	施 設					
	消防ポンプ 自 動 車	積 載 車	小型動力 ポ ン プ	消 火 栓	防火水槽	プール等
市 町						
気 仙 沼 市	17	68	2	1,213	449	19
南 三 陸 町	2	41	3	241	199	9
合 計	19	109	5	1,454	648	28

# 火災・救急・救助統計



令和6年度宮城県9.1総合防災訓練(中洲救助, 土砂災害救助)

# 火災件数及び損害額の推移

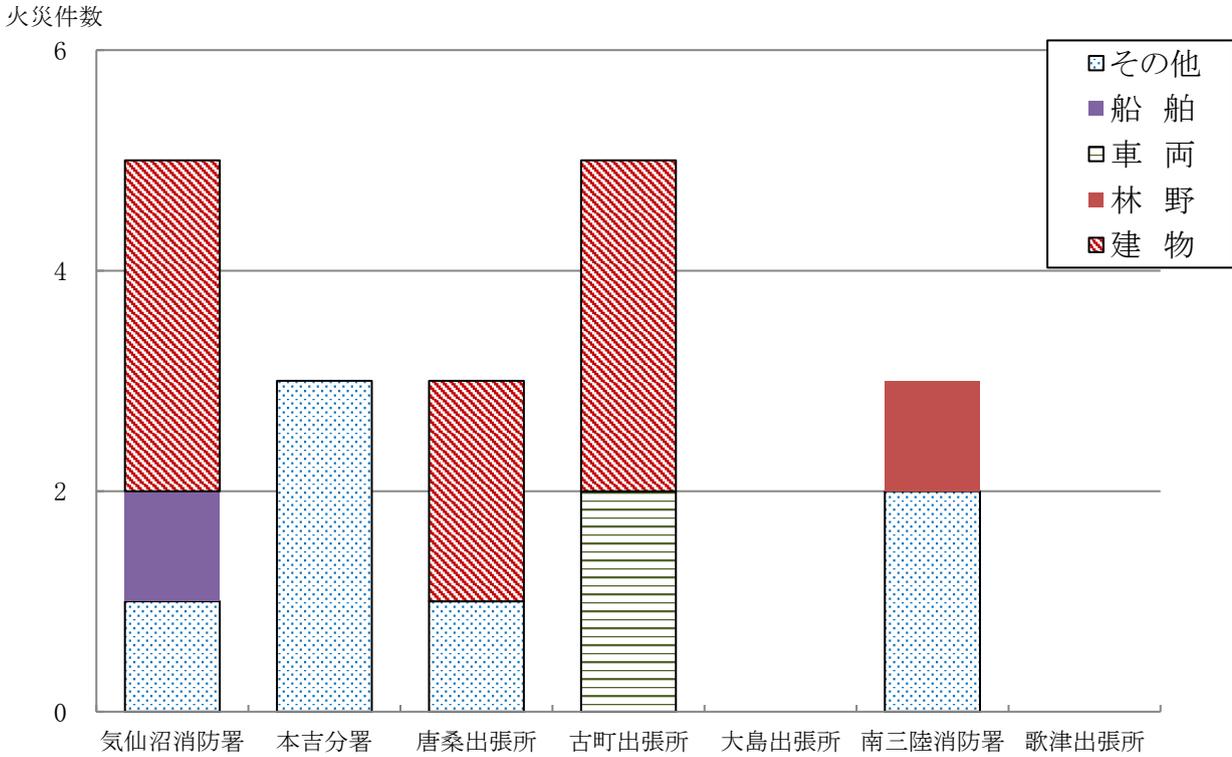


# 署所別火災発生状況

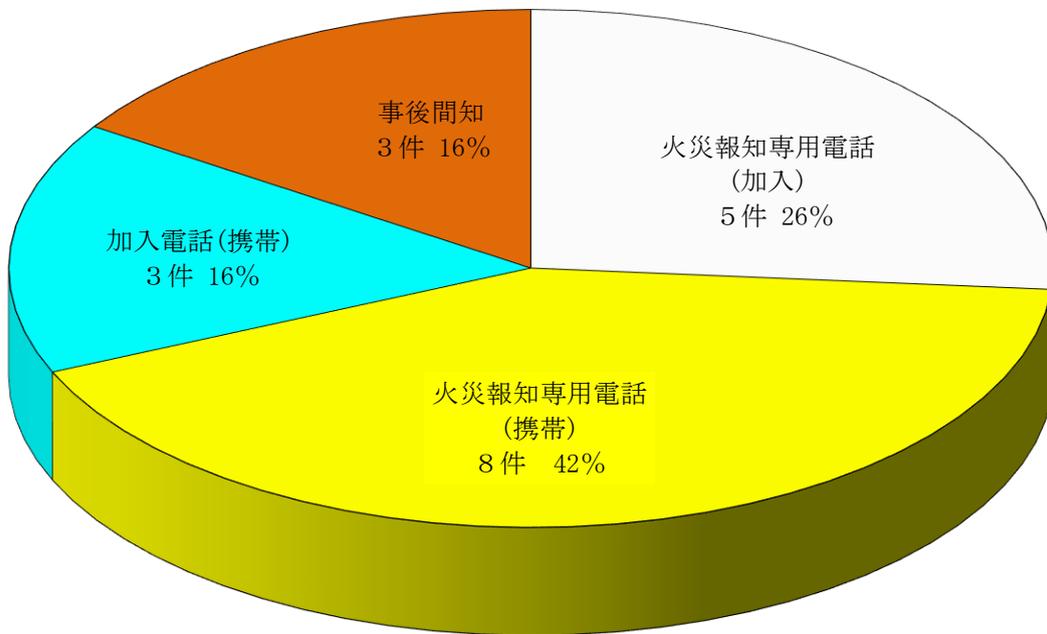
(令和6年)

区分		署所別							総計
		気仙沼消防署	本吉分署	唐桑出張所	古町出張所	大島出張所	南三陸消防署	歌津出張所	
火災件数	建物	3		2	3				8
	林野						1		1
	車両				2				2
	船舶	1							1
	その他	1	3	1			2		7
	合計	5	3	3	5		3		19
り災棟数	全焼	5							5
	半焼			1					1
	部分焼	4		1					5
	ぼや	2			3				5
	合計	11		2	3				16
建物焼損床面積(m <sup>2</sup> )		365		26					391
内類焼									
建物焼損表面積(m <sup>2</sup> )		12		2	1				15
内類焼									
林野焼損面積(a)							1		1
内類焼									
り災世帯数		5		1	1				7
り災人員		11		1	4				16
損害額 (千円)	建物	32,097		1,512	1,407				35,016
	内類焼								
	林野						16		16
	内類焼								
	車両	219			873				1,092
	内類焼	219							219
	船舶	198							198
	内類焼								
その他	1	48				25		74	
内類焼	1							1	
合計	32,515	48	1,512	2,280		41		36,396	
内類焼	220							220	
死者									
負傷者		1		1					2
放水火災件数		3	1	3	1		2		10

## 署所別火災発生状況



## 覚知別火災発生状況



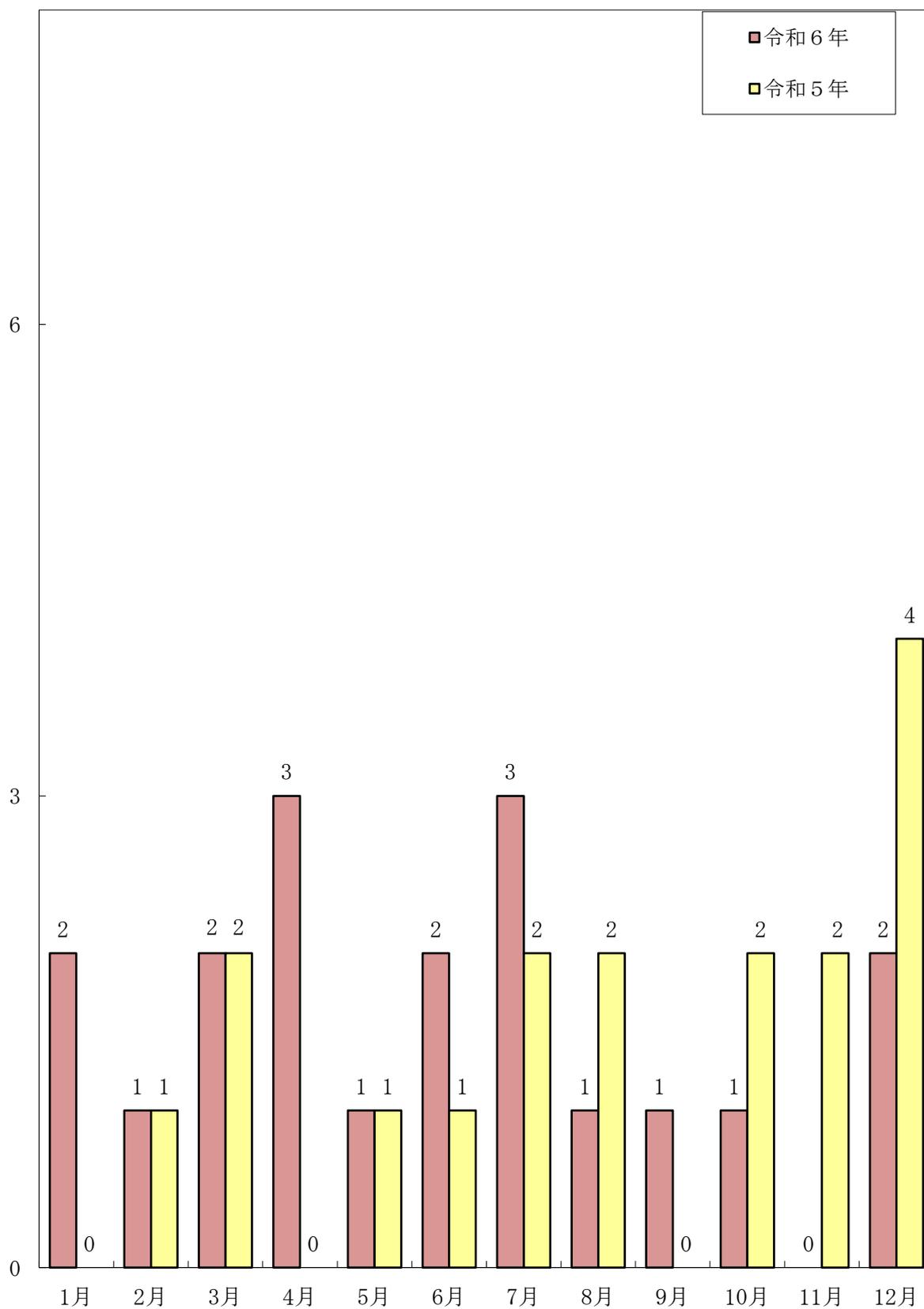
# 月別火災発生状況

区分		月別		1月		2月		3月		4月		5月		6月	
		全	内	全	内	全	内	全	内	全	内	全	内	全	内
火災 件数	建物	全焼	2					1							
		半焼		2		1		1						1	2
		部分焼													
		ぼや			2	1	1		2		3		1	1	2
	林野 車両 船舶 その他	全焼									1				
		半焼									1				
		部分焼													
		ぼや													
り 棟 数	棟数	全焼	3					2							
		半焼		8		1		3						1	
		部分焼	3					1							
		ぼや	2			1								1	
世帯 数	世帯数	全損	1												
		半損		4				1							
		小損	3				1							1	
建物	焼損床面積(m <sup>2</sup> )		162				203						26		
	内類焼														
建物	焼損表面積(m <sup>2</sup> )		8				4								
	内類焼														
林野焼損面積(a)										1					
内類焼															
損害 額 (千円)	建物	建物	25,879	1,133	4,868									621	
		内類焼													
	物	収容物	1,211	95	139									379	
		内類焼													
	林野	林野							16						
		内類焼													
	車両	車両	190		29		323								
		内類焼	190		29										
	船舶	船舶													
		内類焼													
その他	その他			1											
	内類焼			1											
合計		27,280	1,228	5,037	339								1,000		
内類焼		190		30											
死者															
負傷者				1											
放水火災件数		2		1	3								1		
放水ポンプ台数		8		8	8								1		
出動延べ人員(吏員)		50		46	60								21		
出動延べ人員(団員)		141		80	105								29		

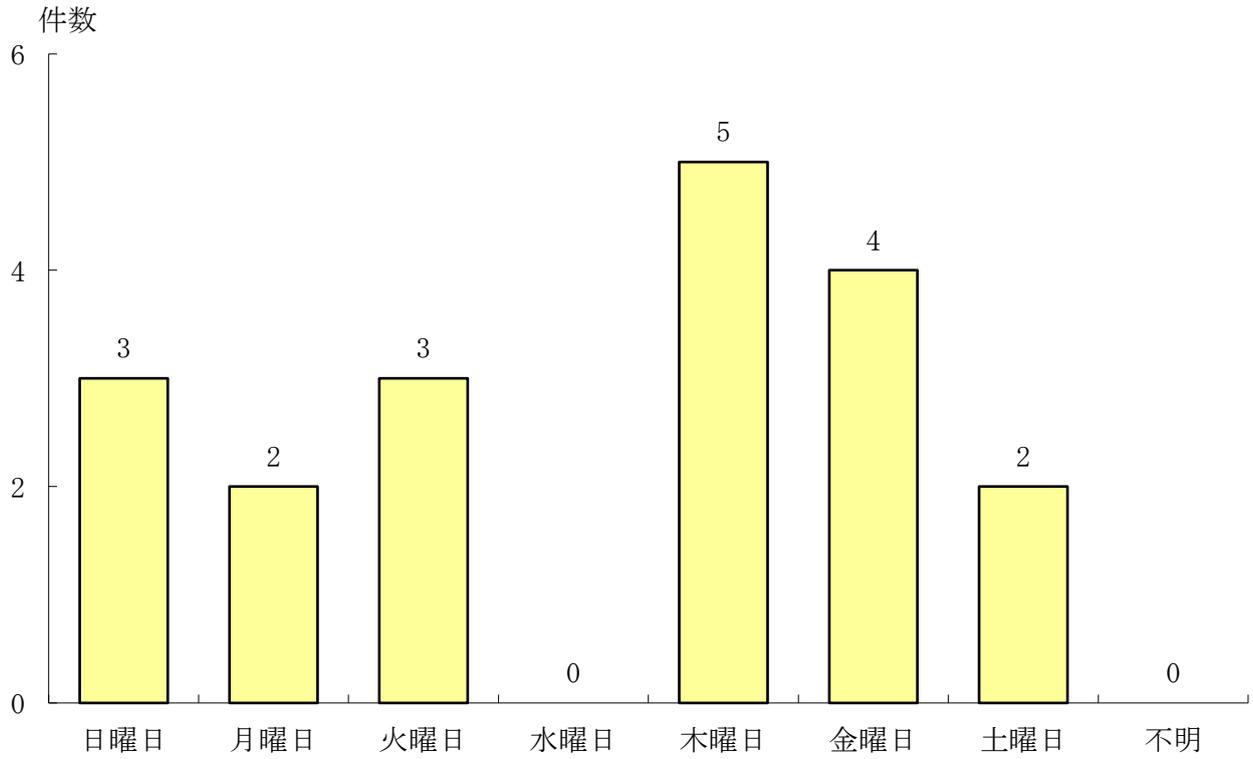
7 月			8 月			9 月			10 月			11 月			12 月			合 計		
																		3		
	1															1		1		8
															1			1		
1																		3		
		3			1			1			1						2			19
																				1
						1														2
	1																			1
	1			1							1						1			7
																				5
																				1
		1													1		1			5
	1																			5
																				1
															1		1			7
															1		1			6
																				391
	1																2			15
																				1
	6																610			33,117
	35																40			1,899
																				16
								550												1,092
																				219
	198																			198
											48						25			74
																				1
	239							550			48						675			36,396
																				220
																	1			2
	1																2			10
	1																2			28
	70			19			33			3						46				348
	68			20			43									59				545

# 月別火災発生状況

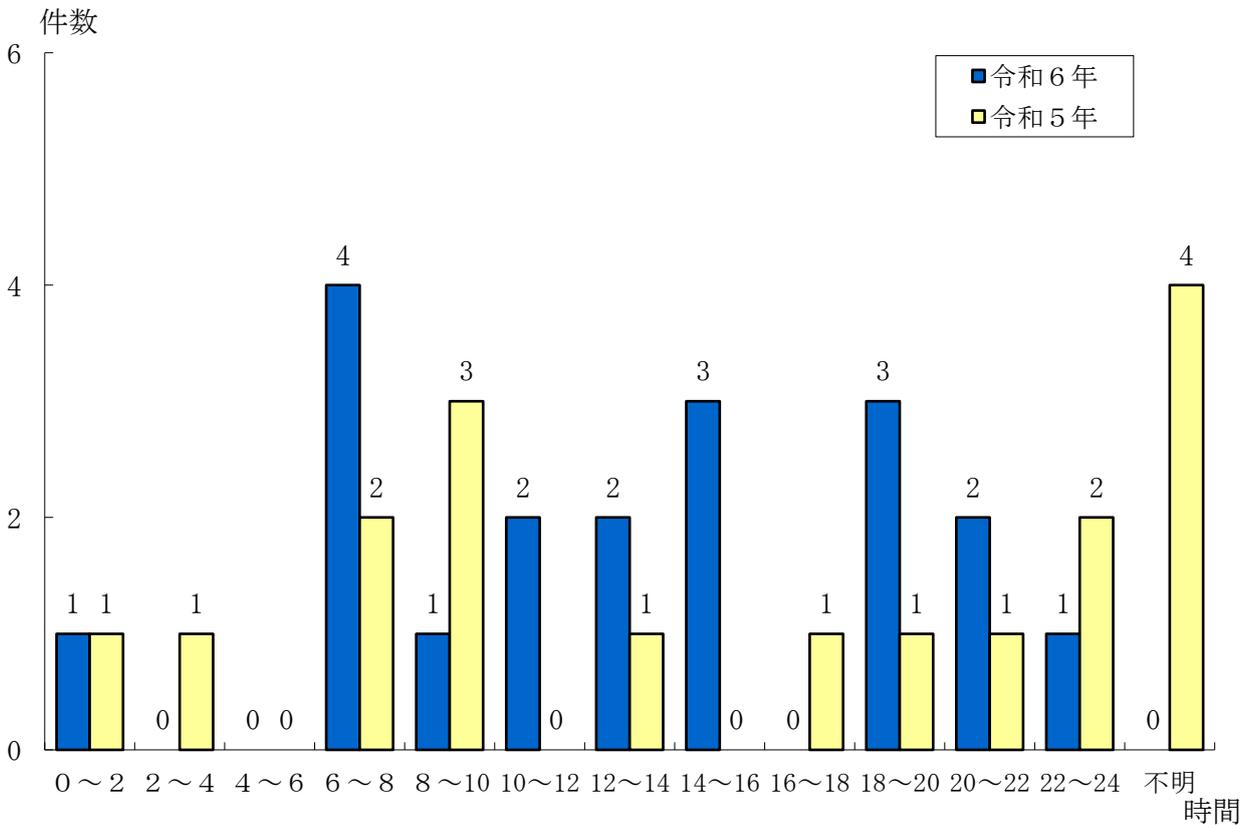
件数



## 曜日別火災発生状況



## 時間別火災発生状況



## 原因別火災発生状況・損害額

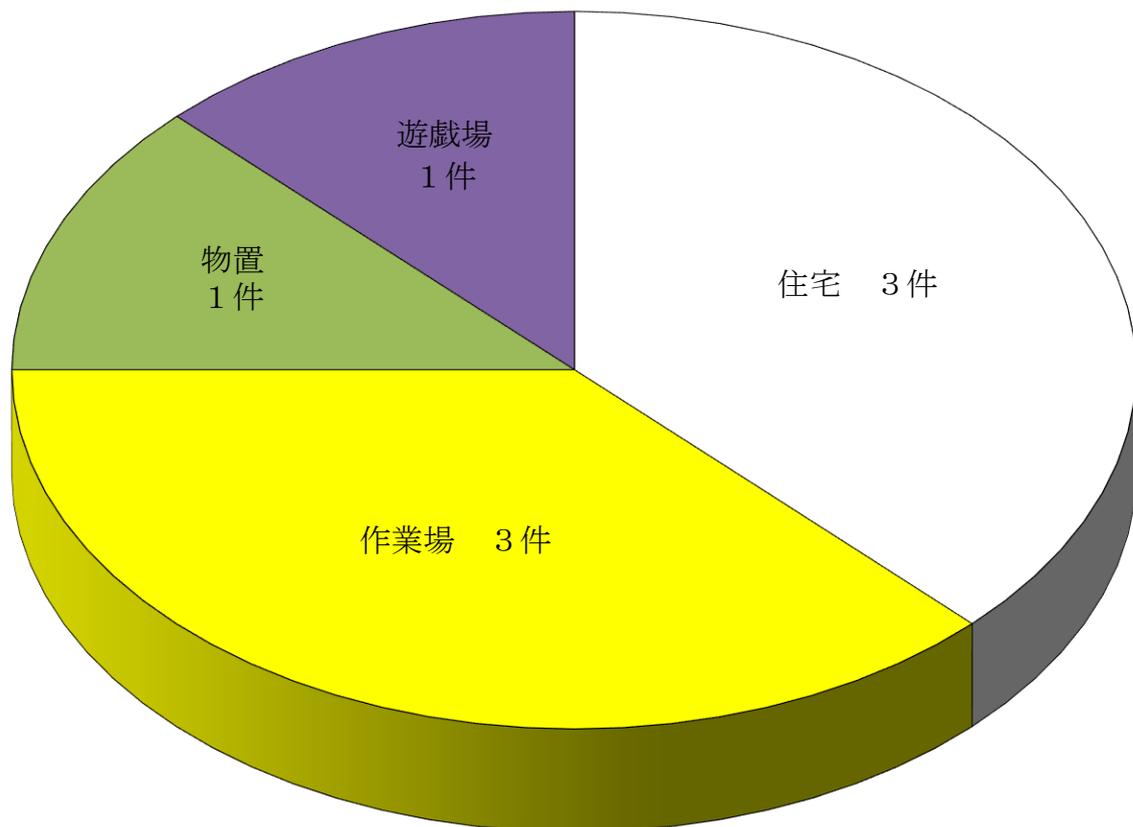
原 因	年 別		令 和 6 年		令 和 5 年	
	件数・	損害額	件数	損害額 (千円)	件数	損害額 (千円)
放 火 ・ 放 火 の 疑 い	3	5,899	3	0		
電 気 機 器	3	2,742	1	15		
電 灯 ・ 電 話 等 の 配 線	3	239	1	0		
ス ト ー ブ	1	650	3	550		
内 燃 機 関 ( 車 両 )	1	550				
風 呂 か ま ど	1	138				
電 力 量 計	1	48				
石 油 給 湯 機	1	25				
た ば こ	1	16	1	40		
バ ー ナ ー	1	0				
火 の つ い た 紙	1	0				
取 灰 ・ 消 し 炭			2	98		
た き 火 ・ ゴ ミ 焼 き			2	87		
交 通 機 関 内 配 線 ( 車 両 )			1	220		
配 線 器 具			1	4		
不 明	2	26,089	2	15,452		
合 計	19	36,396	17	16,466		

## 建物用途別火災発生状況（火元）

（令和6年）

用途別	区分	出火件数					焼損面積 (㎡)	損害額 (千円)
		合計	全焼	半焼	部分焼	ぼや		
住	宅	3	1		1	1	203	5,796
作	業 場	3	1	1		1	58	2,094
物	置	1	1				130	26,089
遊	戯 場	1				1		1,228
合	計	8	3	1	1	3	391	35,207

※件数及び用途別については火元用途による。



## 令和6年の救急概況

### (1) 出動件数と搬送人員

令和6年における出動件数は4,152件、搬送人員は3,843人となり、東日本大震災の平成23年を含めて、過去最多となる。

前年の令和5年と比較すると、出動件数は223件増加し、搬送人員も281人増加となっている。

管内では1日平均約11件の割合で救急隊が出動し、管内人口67,210人（宮城県推計人口月報2024.12.1現在より）のうち約17人に1人が、救急隊によって搬送されたことになる。

### (2) 署所別出動及び搬送状況

署所別出動件数では、古町出張所が1,162件で最も多く、出動件数全体の28.0%を占めており、次いで気仙沼消防署が1,096件、南三陸消防署490件、本吉分署483件、唐桑出張所413件、歌津出張所287件、大島出張所221件の順となっている。

搬送人員では、気仙沼消防署が1,035人で最も多く、搬送人員全体の26.9%を占めており、次いで古町出張所が1,034人、南三陸消防署475人、本吉分署450人、唐桑出張所385人、歌津出張所275人、大島出張所189人の順となっている。

### (3) 事故種別出動及び搬送状況

事故種別では、出動件数及び搬送人員の最も多いのは、急病の2,866件・2,645人で出動件数全体の69.0%となっており、次いで一般負傷642件・603人、その他（転院搬送等）394件・391人、交通事故102件・97人となっている。

この4種で出動件数全体の96.4%、搬送人員は97.2%を占めている。

### (4) 月別、時間別出動及び曜日別搬送状況

月別出動件数では、12月が430件で最も多く、次いで3月と8月が366件、1月363件の順となっている。

時間別出動件数は、8時～10時が596件と最も多く、次いで10時～12時541件、12時～14時485件となっている。

曜日別搬送状況は、火曜日が626人で最も多く、次いで月曜日581人、木曜日574人で最も少ないのが土曜日の483人となっている。

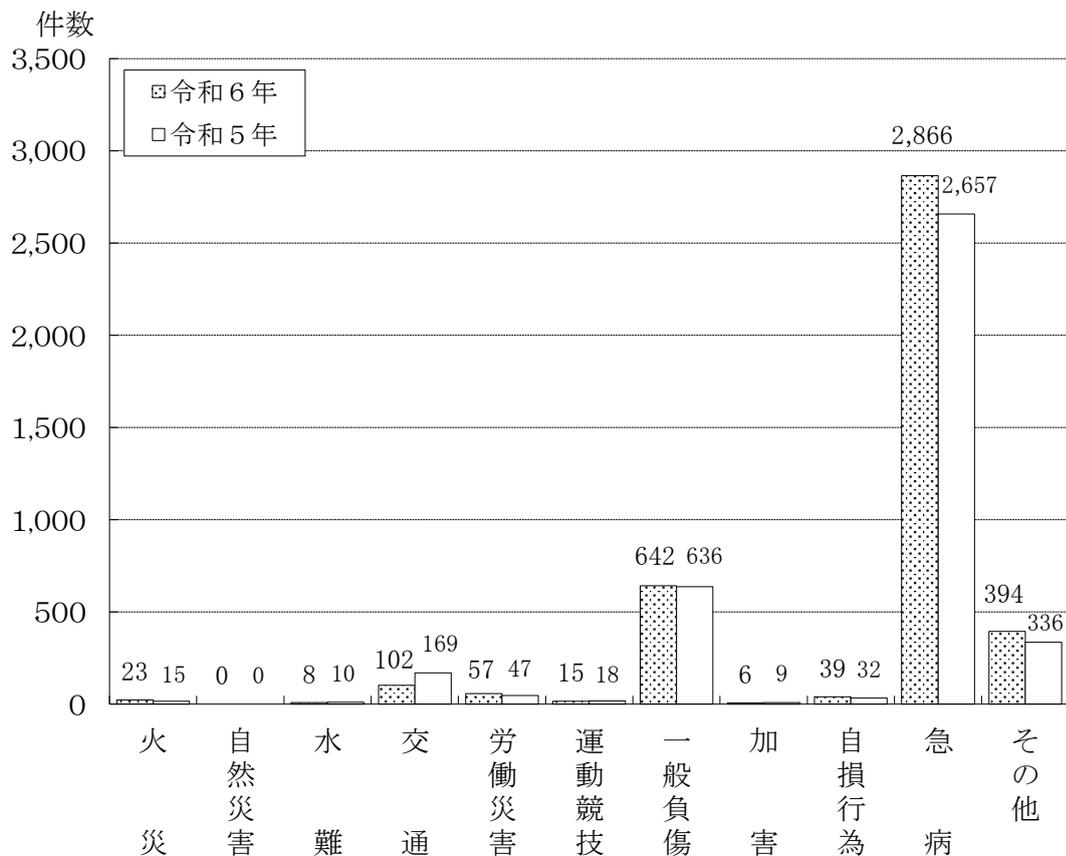
### (5) 年齢別、傷病程度別搬送状況

年齢別搬送人員では、65歳以上の高齢者が2,959人（77.0%）と全体に占める割合が高く、この中で急病搬送が71.3%を占めている。

傷病程度別搬送状況は、中等症が2,044人（53.2%）で全体に占める割合が最も高く、次いで入院加療を必要としない軽症が1,218人（30.5%）となっている。

## 事故種別救急活動状況

事故種別 区分		火	自然	水	交	労	運	一	加	自	急	そ	計
		災	災	難	通	災	動	般	害	損	病	他	
令和 6年	出動件数	23		8	102	57	15	642	6	39	2,866	394	4,152
	搬送人員	1		3	97	58	13	603	5	27	2,645	391	3,843
令和 5年	出動件数	15		10	169	47	18	636	9	32	2,657	336	3,929
	搬送人員	1		5	150	44	17	579	5	16	2,414	331	3,562



## 署 所 別 事 故 別 活 動 状 況

署所別		事故種別	火	自然	水	交	労	運	一	加	自	急	そ	合
			災	災	難	通	働	動	般	害	損	病	の	計
気 仙 沼	6年	出動件数	2		3	32	23	6	166	2	11	758	93	1,096
		搬送人員			1	32	24	5	155	1	8	717	92	1,035
	5年	出動件数			3	47	13	6	181	1	10	745	107	1,113
		搬送人員			2	51	13	6	164	1	5	680	107	1,029
古 町	6年	出動件数	1		1	25	8	3	189	2	9	848	76	1,162
		搬送人員			1	23	8	3	173	2	4	745	75	1,034
	5年	出動件数	1		4	59	10	5	180	6	11	752	50	1,078
		搬送人員			1	49	10	5	161	4	7	662	50	949
大 島	6年	出動件数	16		1	5	3	3	40	1	2	140	10	221
		搬送人員			1	4	3	2	38	1	2	128	10	189
	5年	出動件数	10			9	1	1	42		2	140	10	215
		搬送人員	1			5	1	1	37		1	126	8	180
唐 桑	6年	出動件数	1			11	3		81		5	300	12	413
		搬送人員	1			11	3		76		3	280	11	385
	5年	出動件数	1			18	3		66		1	258	12	359
		搬送人員				12	3		59			239	12	325
本 吉	6年	出動件数	3		1	11	9		69	1	7	299	83	483
		搬送人員				10	9		67	1	6	274	83	450
	5年	出動件数	2		2	15	4	2	63	1	4	269	53	415
		搬送人員			1	13	4	2	59			246	51	376
南 三 陸	6年	出動件数			1	12	7	3	55		4	308	100	490
		搬送人員				10	7	3	54		3	297	101	475
	5年	出動件数	1		1	12	12	1	64	1	3	301	86	482
		搬送人員			1	11	9	1	62		2	282	85	453
歌 津	6年	出動件数			1	6	4		42		1	213	20	287
		搬送人員				7	4		40		1	204	19	275
	5年	出動件数				9	4	3	40		1	192	18	267
		搬送人員				9	4	2	37		1	179	18	250
合 計	6年	出動件数	23		8	102	57	15	642	6	39	2,866	394	4,152
		搬送人員	1		3	97	58	13	603	5	27	2,645	391	3,843
	5年	出動件数	15		10	169	47	18	636	9	32	2,657	336	3,929
		搬送人員	1		5	150	44	17	579	5	16	2,414	331	3,562

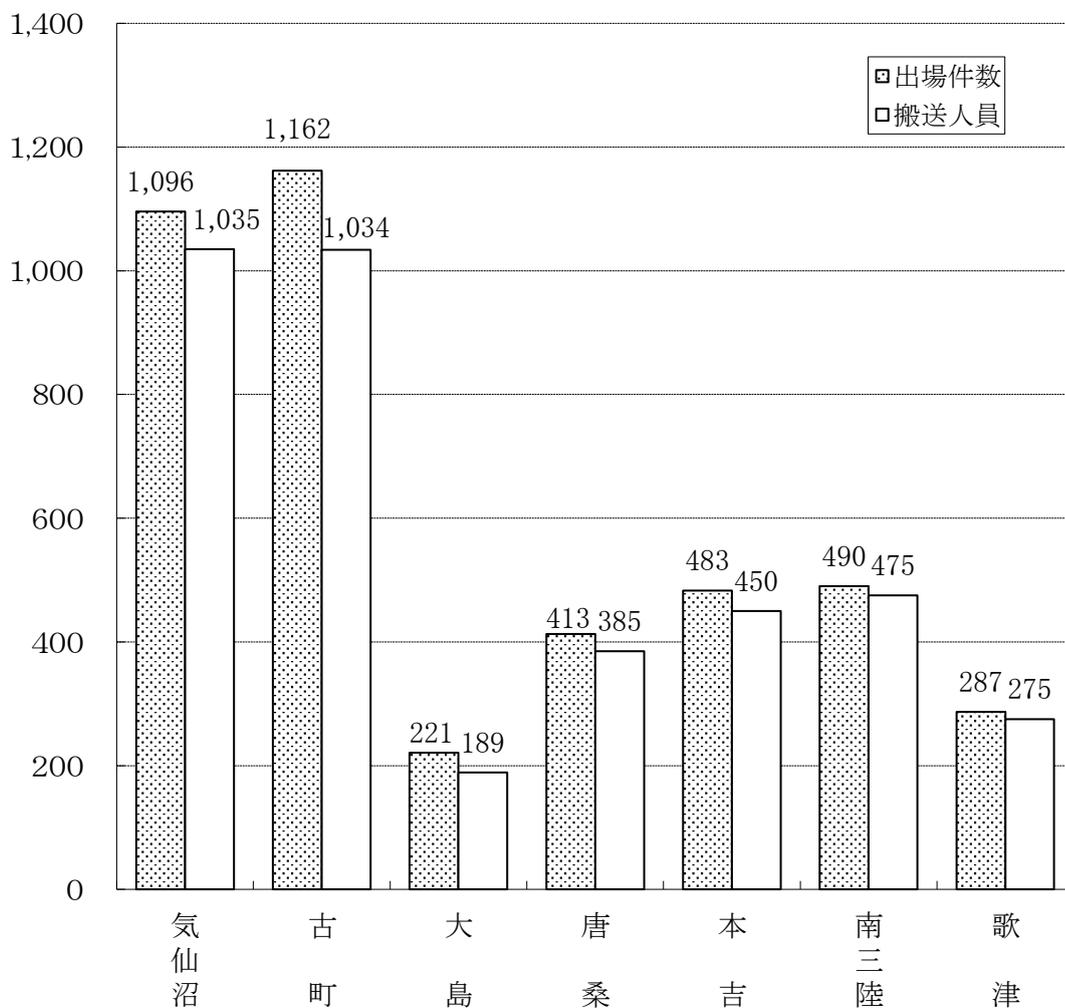
## 署 所 別 救 急 活 動 状 況

出動件数 4, 152件, 搬送人員 3, 843人に占める各署所の割合は,

気仙沼	1, 096件	26. 4%	1, 035人	26. 9%
古町	1, 162件	28. 0%	1, 034人	26. 9%
大島	221件	5. 3%	189人	4. 9%
唐桑	413件	9. 9%	385人	10. 0%
本吉	483件	11. 7%	450人	11. 7%
南三陸	490件	11. 8%	475人	12. 4%
歌津	287件	6. 9%	275人	7. 2%

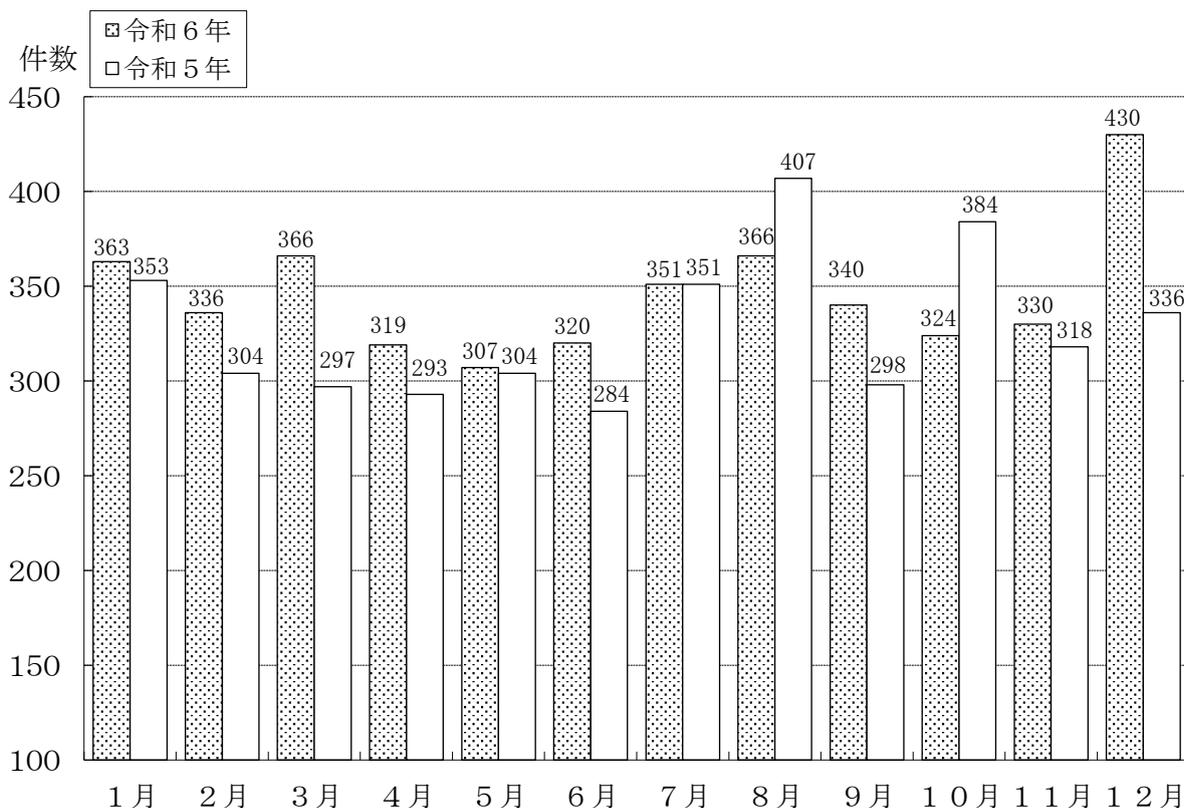
となっている。

件 : 人



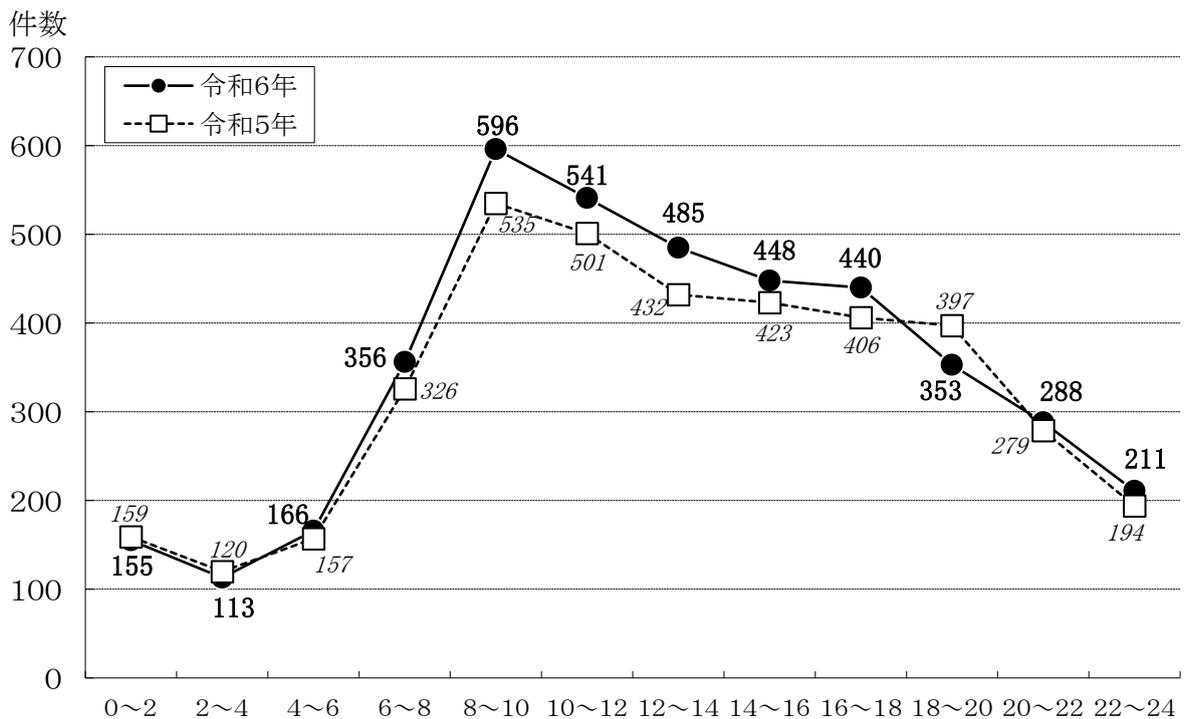
## 月 別 出 動 件 数

事故種別 月 別	火 災	自 然 災 害	水 難	交 通	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他	合 計
1月	2		2	11	3	3	53			261	28	363
2月	1			15	2		45		2	249	22	336
3月	1		1	6	9		60		3	246	40	366
4月	3			8	1		49		7	230	21	319
5月	1		1	4	7	1	40	1	1	227	24	307
6月	4		1	8	4		53	1	6	201	42	320
7月	4		1	8	5	1	48		4	248	32	351
8月	1			7	8	5	70	1	5	232	37	366
9月	1			7	8		50	1	3	230	40	340
10月			1	10	4		57		1	213	38	324
11月			1	12	2	5	54		4	219	33	330
12月	5			6	4		63	2	3	310	37	430
合計	23		8	102	57	15	642	6	39	2,866	394	4,152



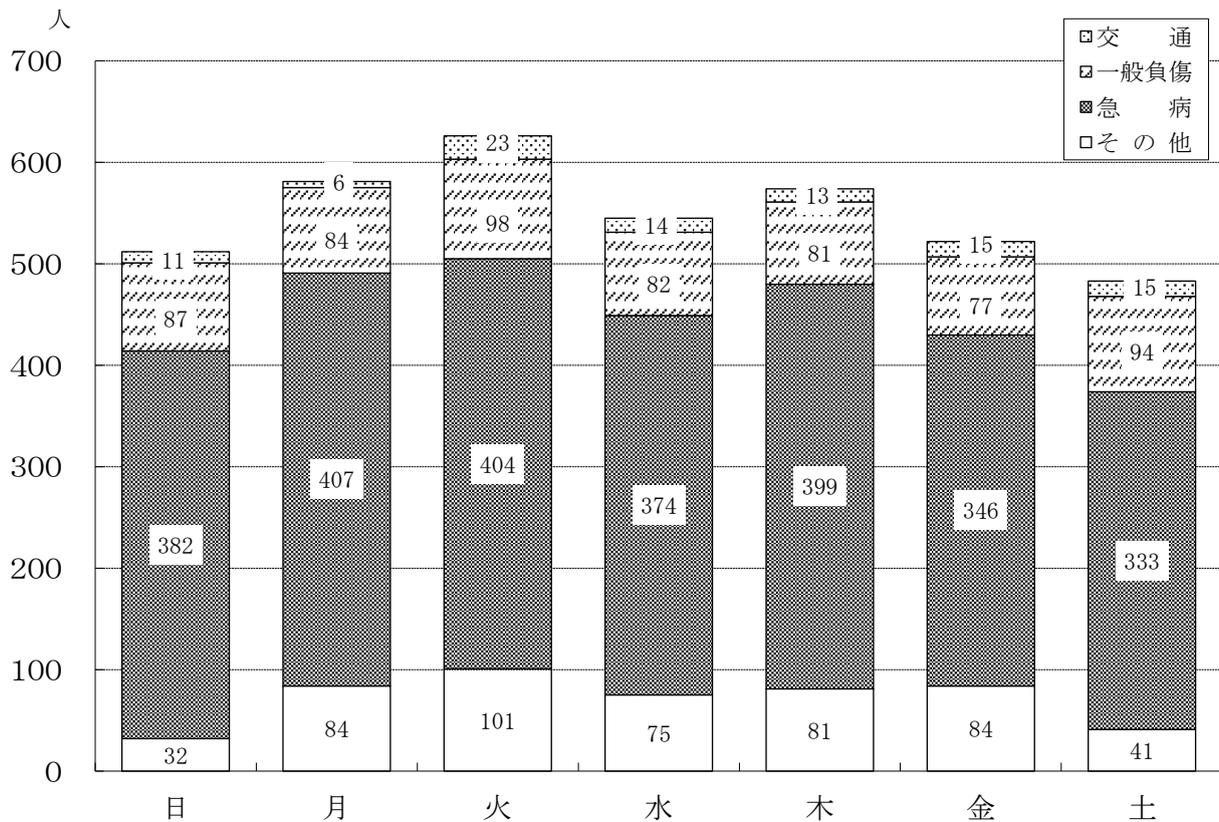
## 時間別出動件数

事故種別 時間別	火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	合計
0～2				3			18			125	9	155
2～4				1	1		8	1	1	98	3	113
4～6	1						26	2	3	128	6	166
6～8	3		1	8	3		54		3	276	8	356
8～10	2		2	24	8	2	103		5	408	42	596
10～12	2		1	10	16	4	81		2	335	90	541
12～14	2		1	16	11	3	80		4	301	67	485
14～16	4		1	16	10	2	71		1	282	61	448
16～18	2			14	5	3	84	1	10	257	64	440
18～20	4		2	7	2		51		7	259	21	353
20～22	2			1	1	1	40	2	2	226	13	288
22～24	1			2			26		1	171	10	211
合計	23		8	102	57	15	642	6	39	2,866	394	4,152



## 曜 日 別 搬 送 人 員

事故種別	曜 日							計
	日	月	火	水	木	金	土	
火 災	1							1
自 然 災 害								
水 難	1				1		1	3
交 通	11	6	23	14	13	15	15	97
労 働 災 害	2	15	8	4	7	13	9	58
運 動 競 技	2	2	3	1	1	3	1	13
一 般 負 傷	87	84	98	82	81	77	94	603
加 害	2		2				1	5
自 損 行 為	1	1	4	5	6	6	4	27
急 病	382	407	404	374	399	346	333	2,645
そ の 他	23	66	84	65	66	62	25	391
合 計	512	581	626	545	574	522	483	3,843



# 事 故 種 別 年 齢 区 分 傷 病 程 度 別 搬 送 人 員 状 況

事故種別 区分		火	自然	水	交	労	運	一	加	自	急	そ	合計
		災	災	難	通	災	動	般	害	損	病	の	
新 生 児	死 亡												
	重 症											2	2
	中等症											7	7
	軽 症												
	その他												
	計												9
乳 幼 児	死 亡												
	重 症												
	中等症							4			22	6	32
	軽 症							10			26		36
	その他												
	計							14			48	6	68
少 年	死 亡												
	重 症										1	1	2
	中等症						4	2			9	3	18
	軽 症				5	1	5	11			23		45
	その他												
	計				5	1	9	13			33	4	65
成 人	死 亡				1	1				2	5		9
	重 症				4	4		11		1	36	6	62
	中等症			1	20	19	1	39	1	7	226	62	376
	軽 症			1	25	21	2	37	2	9	188	10	295
	その他												
	計			2	50	45	3	87	3	19	455	78	742
高 齢 者	死 亡				1	1		9		3	90		104
	重 症			1	2	2	1	46		1	276	73	402
	中等症	1			16	4		243	1	3	1,143	200	1,611
	軽 症				23	5		191	1	1	600	21	842
	その他												
	計	1		1	42	12	1	489	2	8	2,109	294	2,959
合 計	死 亡				2	2		9		5	95		113
	重 症			1	6	6	1	57		2	313	82	468
	中等症	1		1	36	23	5	288	2	10	1,400	278	2,044
	軽 症			1	53	27	7	249	3	10	837	31	1,218
	その他												
	計	1		3	97	58	13	603	5	27	2,645	391	3,843

※ 傷病程度の区分で「その他」とは、医師の診断のないもの及びその他の場所へ搬送したものをいう。

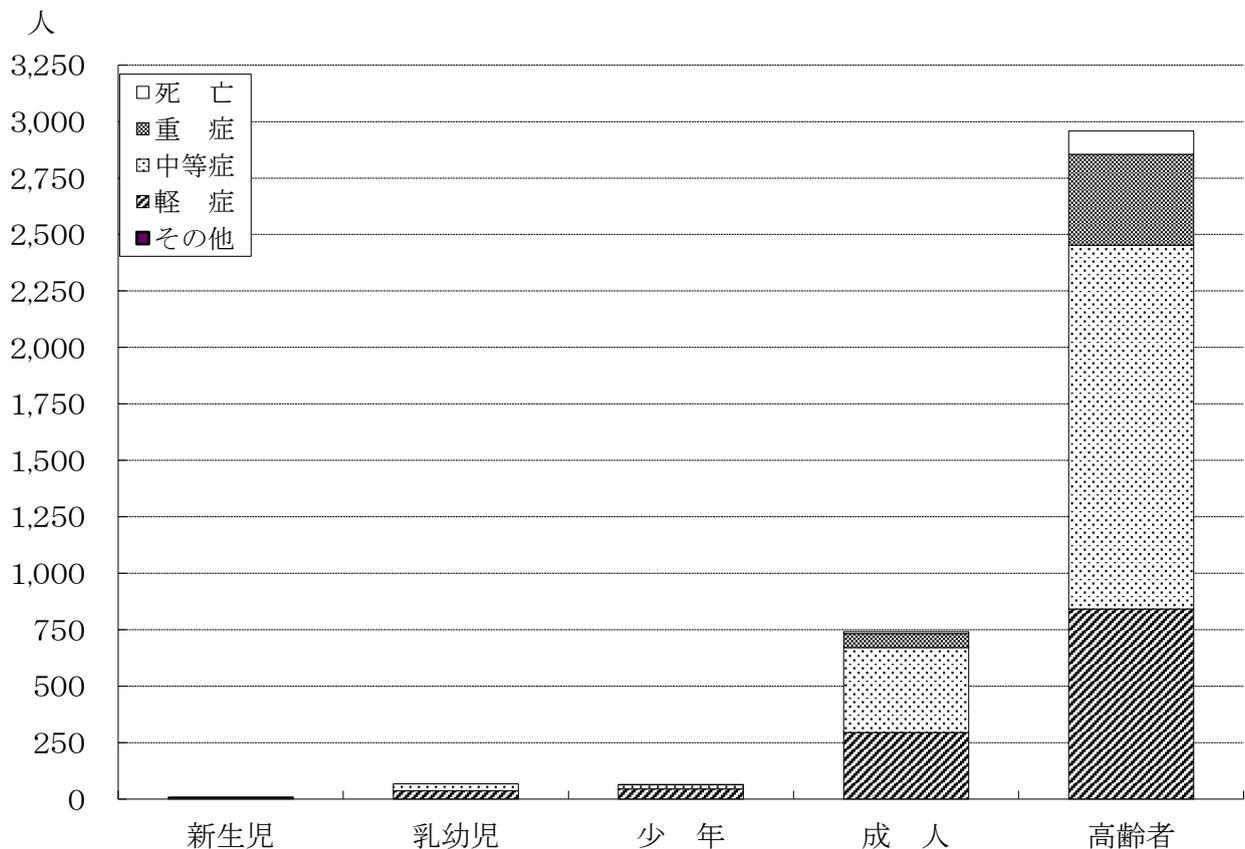
## 年 齢 区 分 別 搬 送 人 員

搬送人員 3,843人のうち

・ 新生児	[生後28日未満]	9人	0.2%
・ 乳幼児	[生後28日～7歳未満]	68人	1.8%
・ 少年	[7歳～18歳未満]	65人	1.7%
・ 成人	[18歳～65歳未満]	742人	19.3%
・ 高齢者	[65歳以上]	2,959人	77.0%

をそれぞれ搬送している。

年齢区分ごとの傷病程度は下記グラフのとおりとなっている。



# 医療機関別搬送人員

告示別	事故種別		急病		交通		一般負傷		その他		計	
	開設者別		うち 管外									
救急告示医療機関	国立		5	5	3	3	5	5	20	20	33	33
	公立		2,456	30	88	1	567	17	346	12	3,457	60
	公的		86	86	4	4	14	14	108	108	212	212
	私 的	病院	4	4					14	14	18	18
		診療所										
計		2,551	125	95	8	586	36	488	154	3,720	323	
その他の医療機関	国立											
	公立		47	1	2		8		6	1	63	2
	公的											
	私 的	病院	20				3		2	1	25	1
		診療所	27				6		2		35	
計		94	1	2		17		10	2	123	3	
計	国立		5	5	3	3	5	5	20	20	33	33
	公立		2,503	31	90	1	575	17	352	13	3,520	62
	公的		86	86	4	4	14	14	108	108	212	212
	私 的	病院	24	4			3		16	15	43	19
		診療所	27				6		2		35	
計		2,645	126	97	8	603	36	498	156	3,843	326	
その他の場所	接骨院他											
	その他											
	計											
合計		2,645	126	97	8	603	36	498	156	3,843	326	

## その他の救急活動状況

### 覚知別出動状況

覚知別	出動件数
計	4,152
119番	4,000
警察電話	16
加入電話	98
駆け付け	32
自己覚知	3
その他	3

### 不搬送理由

不搬送理由	出動件数
計	320
辞退（到着前）	6
辞退（到着後）	121
拒否	35
死亡	92
他車（隊）搬送	6
傷病者なし	21
誤報・いたずら	15
その他	24

### 診療科目別搬送状況

診療科目別	搬送人員
計	3,843
外科	118
内科	1,055
脳神経外科	690
循環器科	436
呼吸器科	319
消化器科	256
整形外科	573
小児科	81
泌尿器科	79
産婦人科	21
精神神経科	14
耳鼻咽喉科	102
眼科	4
皮膚科	38
救命センター	11
その他の科	46

### その他の統計

種別	出動件数
転院搬送	392
医師・資機材搬送	
その他	2
転送	17
ドクターヘリ	27
初動要請	15
現場要請	12

※ 転院搬送：医療機関からの要請に応じて当該医療機関の管理下にある傷病者を他の医療機関へ搬送すること。

※ 転送：医療機関に搬送し医師に引き継いだものの、当該医療機関の事情等により他の医療機関に同一の救急隊が搬送すること。

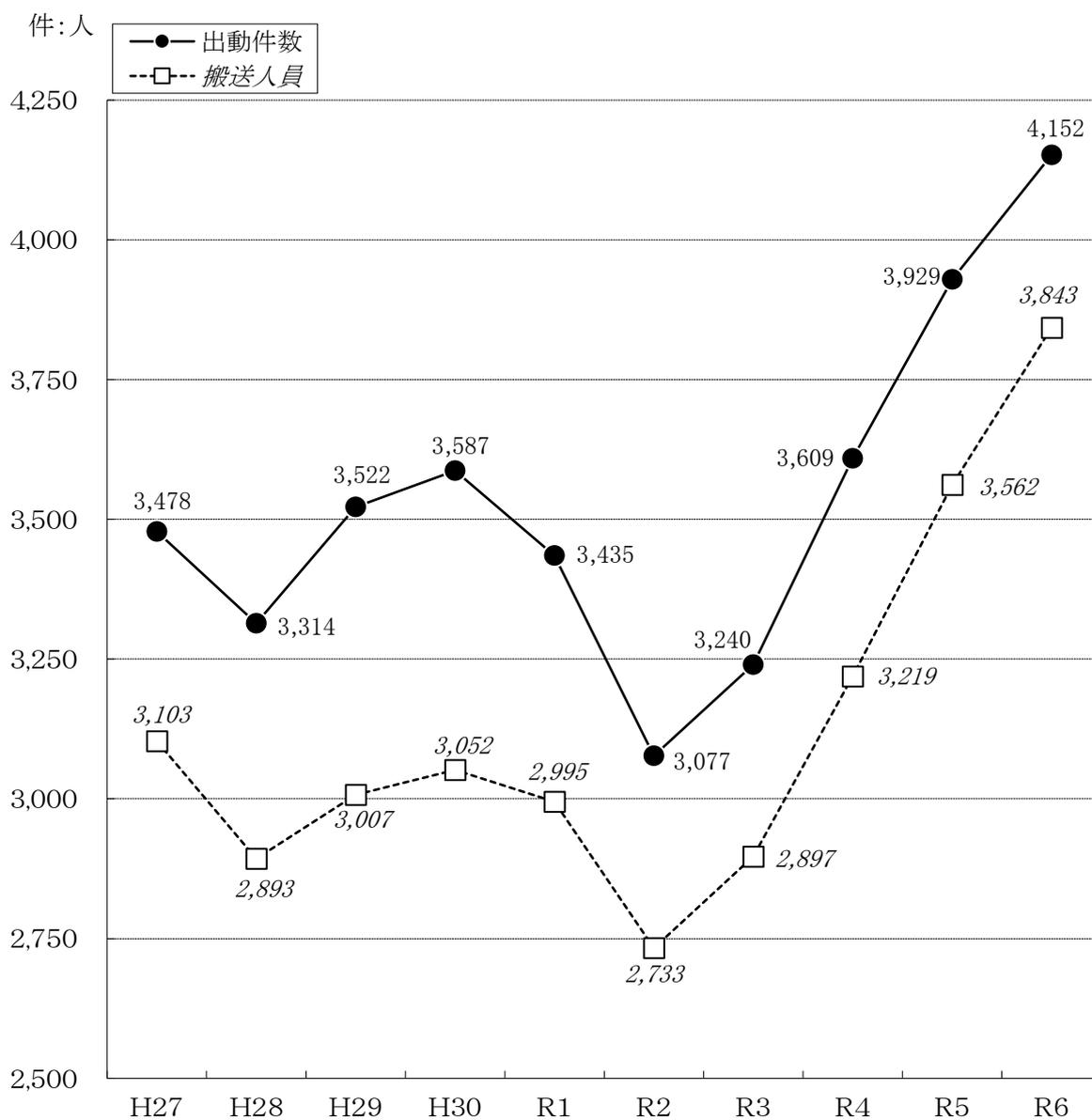
※ ドクターヘリ：平成28年10月28日より運航開始。  
通報時要請したものを「初動要請」、救急現場から要請したものを「現場要請」という。

## 過去10年間の救急活動の推移

令和6年の救急活動は、出動件数・搬送人員ともに急激に増加し、過去10年で最多の記録となった。

過去10年において最低であった令和2年と比較すると、出動件数・搬送人員共に1,000件・1,000人を超えて増加している。

増加の要因として、高齢化における社会的環境や、熱中症・新型コロナウイルス感染症などの自然環境等様々考えられる。

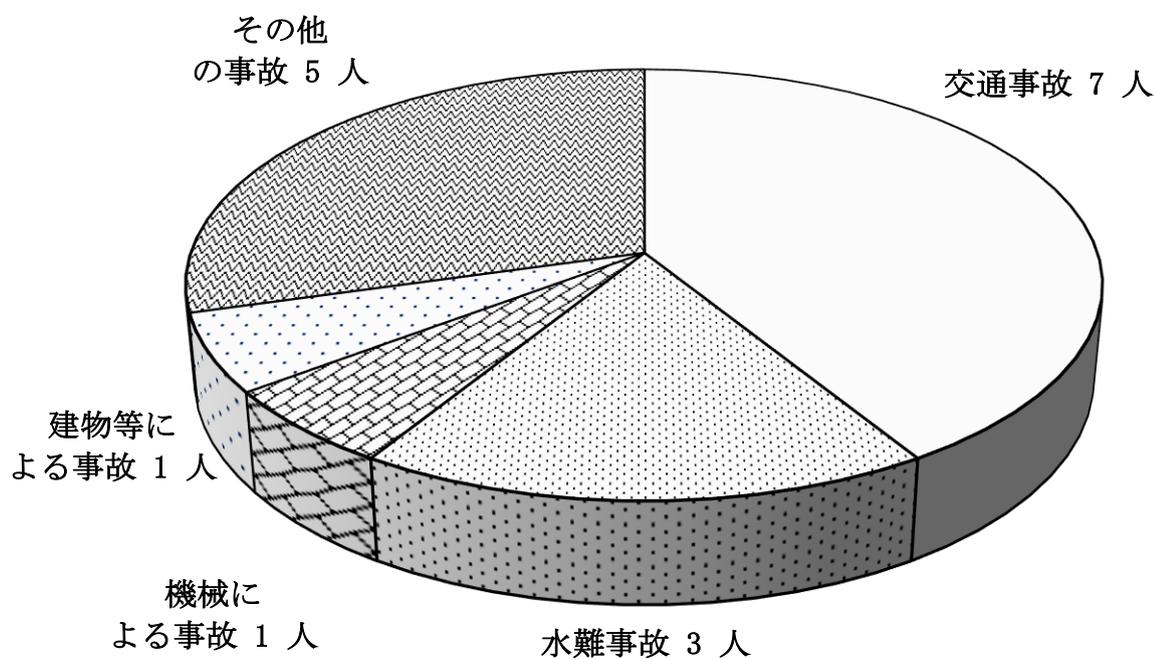


## 事故種別救助活動状況

事故種別 件数区分		火 災		交 通 事 故	水 難 事 故	風自 水然 害災 等害	機よ る 械 事 に故	建よ 物る 等事 に故	ガ酸 ス欠 及事 び故	破 裂 事 故	そ の 他 の 事 故	計
		建 物	建 物 以 外									
令和 6年	出動件数			14	6		1	2			8	31
	活動件数			7	3		1	1			4	16
	救助人員			7	3		1	1			5	17
令和 5年	出動件数			24	9		2	3			4	42
	活動件数			8	8		2	3			2	23
	救助人員			9	7		2	3			2	23

※ 水難事故6件のうち5件に、「水難救助隊」が出動している。

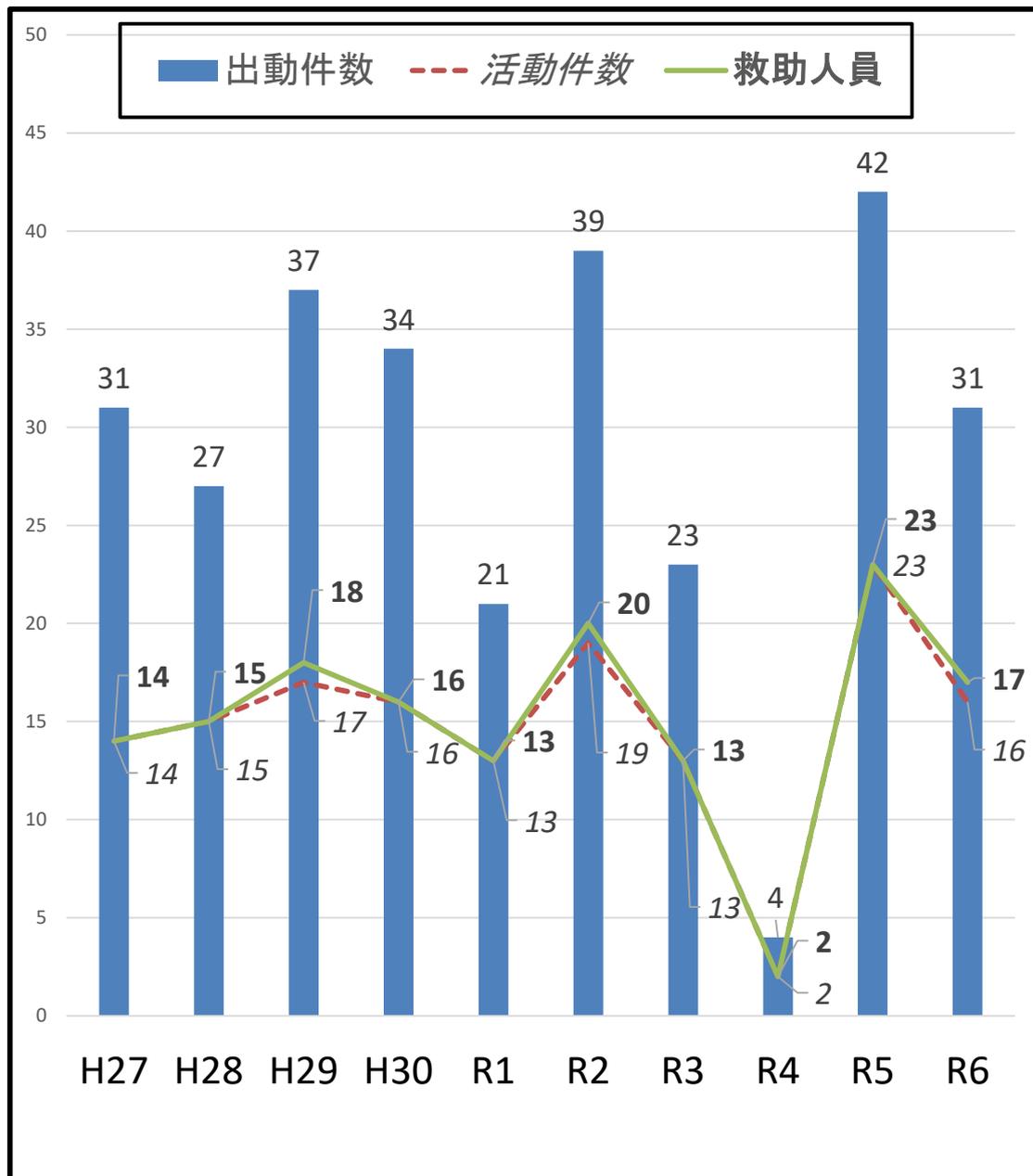
### 事故種別救助人員



## 過去10年間の救助活動の推移

過去10年間は、若干の増減を繰り返しながら推移している。

令和6年の救助活動は、過去10年間に於いて出動件数、活動件数、救助人員は平均的な値となっている。



# 防災センター



消火器取扱い訓練



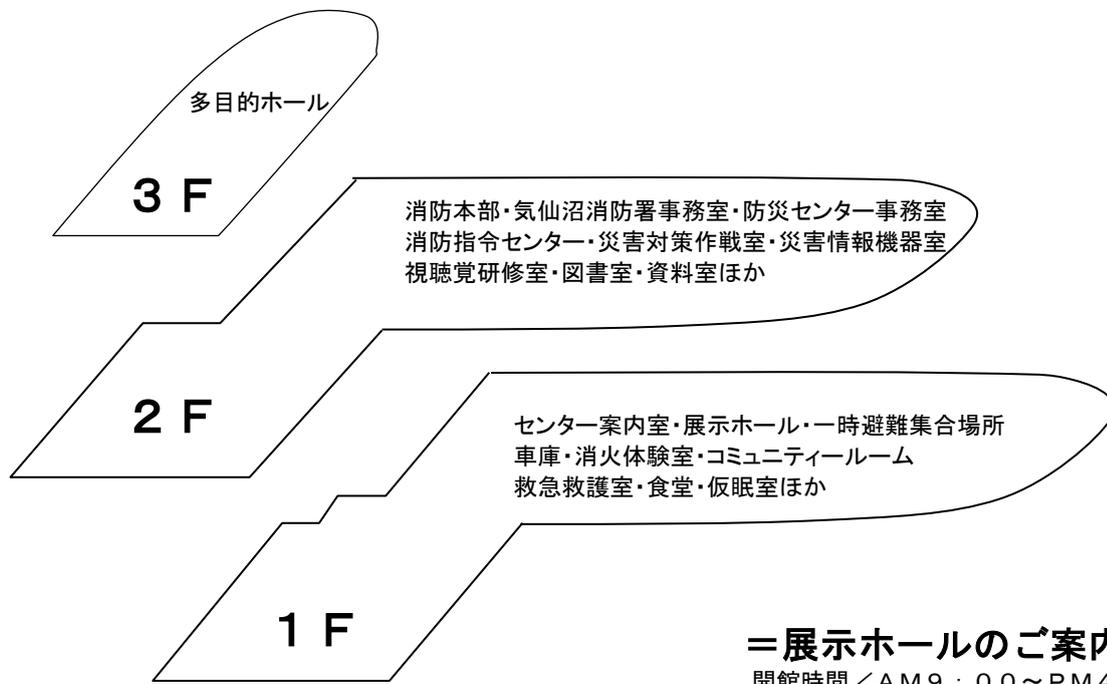
地震体験コーナー

# 防災センターの概要

「気仙沼・本吉広域防災センター」は、消防本部・消防署との合築の施設で国土庁と宮城県の補助を受け、平成6年4月1日にオープンしました。

平常時は、地震・煙・消火等の体験学習や各種展示を通じて防災行動力・防災知識等の向上を図ります。

また、災害時には、災害対策活動の拠点として1市1町や関係機関等への情報提供や連絡調整等を行います。



その他、敷地内には災害時に備えた備蓄倉庫，訓練塔があります。

## ＝展示ホールのご案内＝

開館時間／AM9：00～PM4：00

休館日／月曜日・年末年始(12/28～1/7)



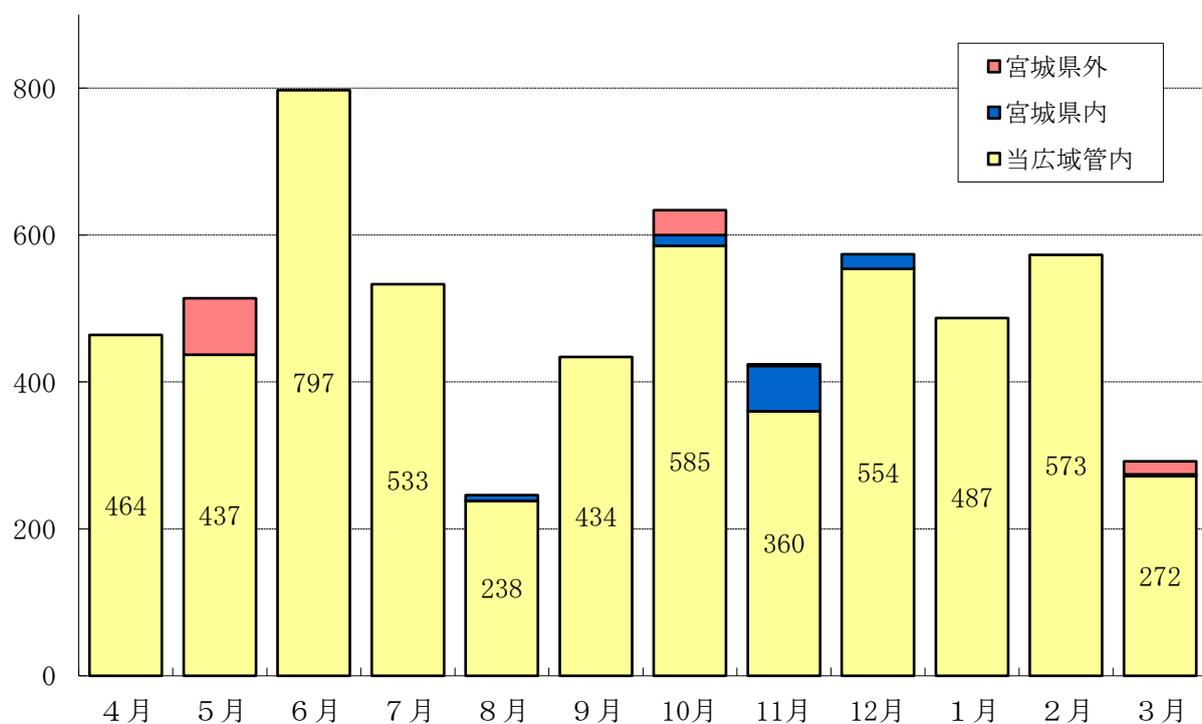
### ■センター概要

- 敷地面積／5,225.02㎡ 延べ床面積／2,981.4㎡ (他に、備蓄倉庫／299.95㎡，訓練塔／299.75㎡)

## 月別・地域別利用状況

(令和6年度) (単位:人)

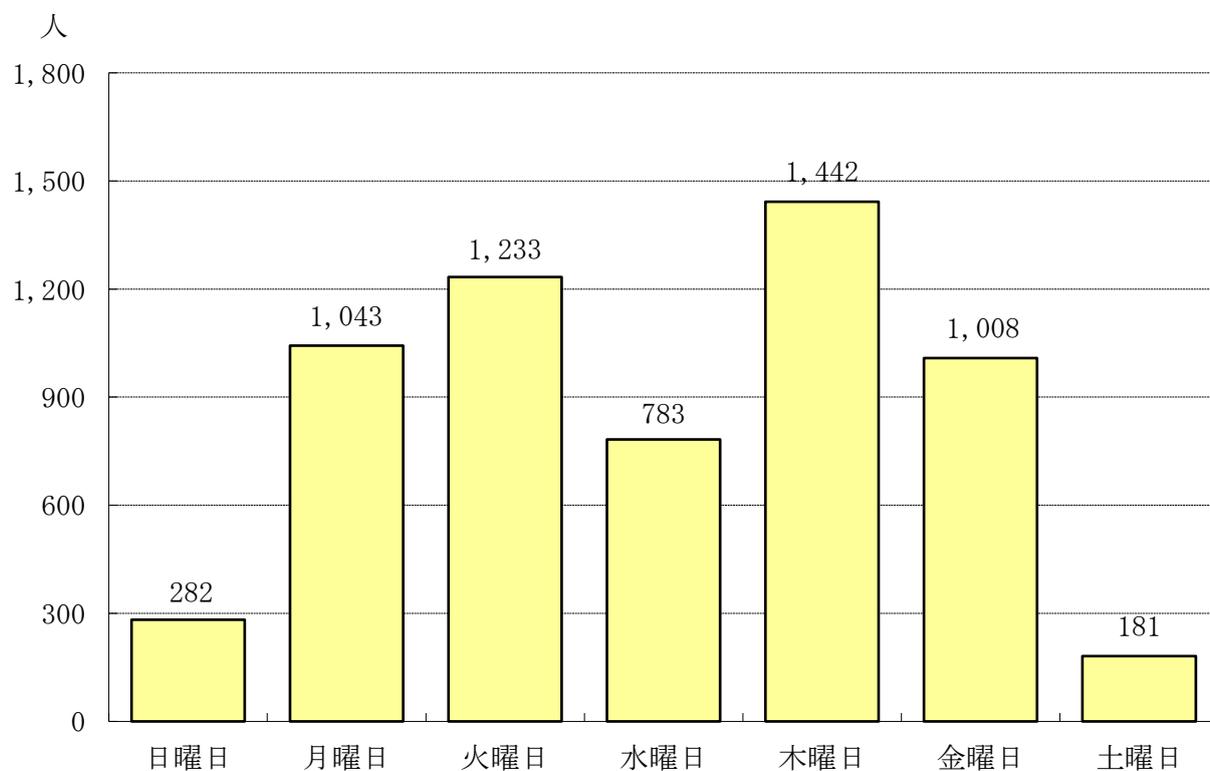
	当広域管内	宮城県内	宮城県外	合計
4月	464	0	0	464
5月	437	0	77	514
6月	797	0	0	797
7月	533	0	0	533
8月	238	8	0	246
9月	434	0	0	434
10月	585	15	34	634
11月	360	62	2	424
12月	554	20	0	574
1月	487	0	0	487
2月	573	0	0	573
3月	272	2	18	292
合計	5,734	107	131	5,972
令和5年度計	5,471	121	87	5,679
前年度比較	263	△ 14	44	293
開館以来累計	193,585	11,733	16,609	221,927



## 月別・曜日別利用状況

(令和6年度) (単位:人)

	日	月	火	水	木	金	土	合計
4月	4	50	82	56	208	64	0	464
5月	2	12	82	123	233	60	2	514
6月	14	319	194	47	158	57	8	797
7月	45	120	49	103	129	52	35	533
8月	8	22	42	41	86	47	0	246
9月	70	20	121	44	52	113	14	434
10月	68	70	171	131	79	102	13	634
11月	8	67	112	24	82	116	15	424
12月	30	154	135	27	126	102	0	574
1月	19	121	113	36	103	75	20	487
2月	8	66	84	118	118	160	19	573
3月	6	22	48	33	68	60	55	292
合計	282	1,043	1,233	783	1,442	1,008	181	5,972
令和5年度計	250	763	1,085	1,076	1,325	1,108	72	5,679
前年度比較	32	280	148	△ 293	117	△ 100	109	293
開館以来累計	27,204	23,657	36,790	39,269	42,077	39,587	13,343	221,927



# 利用者別状況

(令和6年度)

団体名等	団体数	人数
幼年消防クラブ	3	115
少年消防クラブ	17	367
婦人防火クラブ	10	185
危険物安全協会・防火管理者協会	8	200
消防団	52	799
行政機関	160	3,653
各種団体等	4	86
救急救命指導講習	34	407
上記以外（見学・体験等）	—	160
合計	288	5,972

# 主な備蓄品

(令和7年3月31日現在)

品名	数量	備考
毛布	210枚	
非常食	820食	アルファ米(700), ビスケット(120)
飲料水	720本	500ml
担架	20台	折りたたみ
防災トイレ	1基	
ブルーシート	10枚	
メガホン	7個	サイレン付き
防災リヤカー	4台	ワンタッチ(2), 折りたたみ(1) 救護者担架付(1)
飲料水用ポリ缶	12缶	
ポリバケツ	7個	
津波用救命胴衣	5着	

※備蓄品については、年次計画により購入。



気仙沼・本吉消防本部の女性消防職員推進キャラクター「かなえちゃん・みなみちゃん」キャラクターデザインも当消防本部の女性消防吏員が担当して作成しており、LINEスタンプへの登録を行っております。

## 気仙沼・本吉地域広域行政事務組合消防本部

〒988-0104 宮城県気仙沼市赤岩五駄鱈43番地2

TEL 0226-22-6689

FAX 0226-22-0119